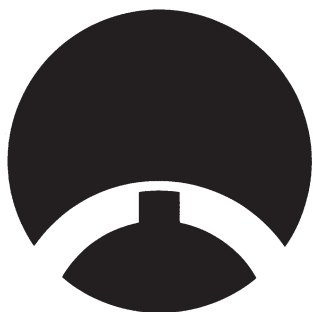




令和2年度 滋賀県立陶芸の森年報

The Shigaraki Ceramic Cultural Park
Annual Report 2020



公益財団法人 滋賀県陶芸の森

目 次

県民に親しまれる施設運営に関する事業

公園機能の充実	陶芸作品の野外設置	1
	陶芸の森ボランティアの活動	1
地域の観光拠点としての集客促進事業		
	しがらき学ノススメ！	1
イベントの開催・誘致		
	第14回 信楽作家市in陶芸の森の誘致	3
	野外音楽イベント「SIVEL WARS」の誘致	3
	第25回 信楽セラミック・アート・マーケットin陶芸の森の開催	3
	しがらき森のクラフトフェスタの誘致	3
	2020わくわくウォーキングin陶芸の森の開催	3
	「信楽インスタグラムキャンペーン スカーレットのレガシーを記憶に」の実施	4
財団所有作品の貸し出し		4
利用者拡大に向けた情報の発信		4
地域拠点活用事業		5
施設の管理		5
陶芸の森やきもの振興基金		5

陶芸文化の発信事業

展覧会開催事業	特別展「リサ・ラーソンー創作と出会いをめぐる旅」	6
	特別企画「湖国・滋賀の陶芸ー風土と伝統そして交流の中で」展	19
	特別展「奇跡の土ー信楽焼をめぐる三つの景色」	25
	特別展「神業ニッポン 明治のやきものー幻の横浜焼・東京焼」	32
	陶芸館ギャラリー企画展	39
	陶芸の森「バーチャルミュージアム」	40
	博物館実習	44
	陶磁ネットワーク会議への参加	44
	調査研究活動	45
創作事業	アーティスト・イン・レジデンス事業	
	スタジオ・アーティストの受け入れ	46
	ゲスト・アーティストの招聘	51
	オープン・スタジオ、講演会等の開催	52
	スタジオ・アーティスト、ゲスト・アーティストによる展覧会活動等	52
	国内外のレジデンス機関との連携	54
	国別・年度別アーティスト滞在回数	55
	種別・年度別アーティスト滞在回数	56
つちっこプログラムー子どもやきもの交流事業ー		
	本物と出会うー総合学習プログラム	57
	世界にひとつの宝物づくり	58

産業の振興に関する事業

人材育成事業	59
「がちゃがちゃ デザインコンペ」の実施	60

信楽産業展示館

信楽産業展示館運営事業

展覧会の開催	61
企画展 ギャラリー展示	61

その他の事業

滋賀県立陶芸の森開設30周年記念事業	62
陶芸の森ミュージアムショップ6センス	63
職員の出向	64

資 料

収蔵品収集事業	滋賀県立陶芸の森陶芸館 収蔵品収集実績	65
	令和2年度 陶芸館収蔵作品一覧	66
施設利用実績	陶芸の森 年度別・月別入園者数	68
	陶芸館 年度別・月別観覧者数	68
	陶芸館展覧会別観覧者数	69
	信楽産業展示館 年度別・月別観覧者数	72
	信楽ホール・会議室利用件数	72
沿革	沿革と記録	73
組織・名	組織・名簿	76
	公益財団法人滋賀県陶芸の森役員	76
	滋賀県立陶芸の森収蔵品収集審査会委員	77
	滋賀県立陶芸の森収蔵品価格評価委員	77
	滋賀県立陶芸の森ゲスト・アーティスト選考委員	77
	滋賀県立陶芸の森スタジオ・アーティスト選考委員	77
	公益財団法人滋賀県陶芸の森職員	78

県民に親しまれる 施設運営に関する事業

公園機能の充実

太陽の広場や星の広場などで人々が自由に憩い楽しめるよう公園機能の充実を図り、また施設を安全かつ清潔に保ち、植栽の維持管理に努め、入園者に快適な空間とサービスを提供しました。また、滋賀県南部の観光拠点として陶芸の森を広くアピールし、誘客促進に努めましたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴う臨時休園の影響もあり、令和2年度の入園者数は339,892人（令和元年度：448,557人）でした。

陶芸作品の野外設置

作品の保全に努め、誰もが緑豊かな自然の中に点在する作品の魅力を再認識できるよう取り組みました。

陶芸の森ボランティアの活動

来園者に対するサービス向上と陶芸文化の普及のため、展覧会監視補助、子どもやきもの交流事業補助、園内園芸作業などボランティアによる活動をより積極的に推進し、利用者へのきめ細かなサービスを提供しました。

令和3年度登録者

34人（令和3年3月31日現在）

内容と活動実績

・園芸活動	8人	
・ボランティアミーティング	3人	延べ11人

地域の観光拠点としての集客促進事業

陶芸の森は滋賀県南部地域の観光拠点として、地域資源を活かしながら新規来園者やリピーターをつくることを目的とし、やきものファンに信楽をより知ってもらうために、各種体験講座や陶器市、様々なレクリエーションイベントを計画するとともに、甲賀市やびわこビジターズビューロー、観光協会等と連携し陶芸の森の魅力発信をおこない、誘客促進に努めましたが、一部事業については、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止の観点から中止としました。

しがらき学ノススメ！

初心者から経験者まで、多くの方々に陶芸の魅力を体感していただくことを目的にした事業です。地元信楽の陶芸家を講師に迎え、個別技法を専門的に学ぶ「技法別講座」や、薪窯の魅力に触れる「穴窯・登り窯講座」を開講しました。

①技法別講座

やきものについて広く学ぶことができるよう絵付けや、ミニ窯づくりなど、初心者向けの講座から、一歩踏み込んだ高度な技術を伴う講座まで開催しました。

開催日	テーマ	講師	参加者数
12月5日(土)	ミニ窯をつくる	越沼 信介	11人
2月28日(日)	練り込みのうつわをつくる	村田 彩	13人
3月7日(日)	野焼きでうつわをつくる	細川 政巳	15人
3月21日(日)	ラク焼の茶碗をつくる	奥田 英山	17人



②穴窯講座

中世古窯信楽の伝統技術・穴窯焼成を学ぶ講座。参加者の習熟度に合わせて、初級・中級・上級・焼成の4クラスに分けて実施しました。

開催日	講座種別	テーマ	講師	参加者数
10月18日(日)	初級	信楽酒器をつくる	五代 高橋 楽斎	13人
11月1日(日)	中級	信楽水指、茶碗をつくる	六代 上田 直方	13人
11月21日(土)、22日(日)	上級	信楽大壺をつくる	藤本 秀	11人
11月29日(日)	初級	信楽焼の干支をつくる	八幡 満	12人



焼成クラス

参加者：14人

焼成日：3月17日(水)～3月21日(日)

③登り窯講座

近世から近代における信楽焼の伝統技術のひとつ、登り窯焼成を学ぶ講座。火袋や一の間を用いた焼成を体験します。習熟度に合わせて、初級・中級・上級の3クラスに分けて実施しました。

開催日	講座種別	テーマ	講師	参加者数
9月6日(日)	初級	自由制作	大西 左朗	14人
9月12日(土)、13日(日)	上級	信楽大壺をつくる	神崎 継春	6人
10月4日(日)	中級	信楽壺、蹲をつくる	小牧 鉄平	5人

④トレインキルン築窯講座

アメリカでポピュラーなトレインキルンを窯の構造、方法を学びながら築窯しました。

11月7日(土)、8日(日) 講師 篠原 希 参加者14人

焼成予定：令和3年度



⑤団体受入

・京都造形大学通信学部（参加者：12人）

リモートで作品を制作し、穴窯講座の作品とともに焼成しました。

イベントの開催・誘致

やきものをテーマにした展示即売会を開催・誘致し、県内各地で活躍する陶芸家の個性豊かな陶芸作品を広く県内外の人々に紹介するとともに、来園者と陶芸作家・窯元の交流や消費を結びつける機会を創出することにより、作家活動を支援しました。

第14回 信楽作家市in陶芸の森の誘致

※新型コロナウイルス感染症流行のため主催者の判断で中止

野外音楽イベント「SIVEL WARS」の誘致

※新型コロナウイルス感染症流行のため主催者の判断で中止

第25回 信楽セラミック・アート・マーケットin 陶芸の森の開催

内 容

「作品に触れ作家に触れる」をテーマに滋賀県内の陶芸を中心とする工芸家が自ら制作した作品を販売する場を、新型コロナウイルス感染症対策を十分にとったうえで提供しました。

開催日時

9月20日(日)～22日(火・祝)＜3日間＞ 9時～17時（最終日は16時30分）

出展者、来園者数

ブース数	128ブース
飲食ブース	13ブース
出展者数	約140人
来園者数	30,238人



第2回しがらき森のクラフトフェスタの誘致

※新型コロナウイルス感染症流行のため主催者の判断で中止

2020わくわくウォーキングin陶芸の森の開催

※新型コロナウイルス感染症流行のため中止

「信楽Instagramキャンペーン スカーレットのレガシーを記憶に」の実施

内 容

NHK朝の連続テレビ小説スカーレットの舞台となった自然豊かな信楽町を素材とした、「インスタ映え」する写真を一般募集しました。

募集期間 令和2年5月1日(金)～令和3年1月31日(日)

投稿数 154件

審査結果



金賞



銀賞



銅賞

財団所有作品の貸し出し

県民に気軽に陶芸に親しんでもらえるよう、創作研修館で制作されたスタジオ・アーティストの研修作品やゲスト・アーティストの作品（財団所蔵作品）を、公共施設等に貸出しを行い、陶芸文化の普及向上に努めました。

貸出実績 6箇所 計 25作品

利用者拡大に向けた情報の発信

新聞広告をはじめとした有料媒体のみならず、WEBを中心とした無料媒体への情報提供や読者プレゼントの提供、パブリシティ、ホームページを通して、積極的な情報発信を行いました。

また、SNS（Facebookページ、Twitter）では、桜の開花や紅葉といった四季折々の情報や、薪窯の焼成風景など、陶芸の森ならではのトピックスを頻繁にアップロードすることで、陶芸の森に親しみを深めていただけるよう情報発信を行い来園者の拡大に努めました。

【主な掲載・放送実績】

TV・ラジオ 『おうみ発630』（NHK） 他

新聞 『京都新聞』

『中日新聞』

『産経新聞』 他

- 雑誌 『月刊GALLERY7』（株）ギャラリーステーション）
『なごみ』（株）淡交社）
『東海ウォーカー』（株）KADOKKAWA）
『じゃらん』（株）リクルート）
『ことりっぷマガジン秋号』（株）昭文社）
『Leaf』（株）リーフ・パブリケーションズ）
『和樂』（株）小学館） 他

地域拠点活用事業

まちなかギャラリー FUJIKI（旧陶喜陶苑）の運営を「FUJIKI運営委員会」に委託し、地域に根差した施設運営に努めました。

販 売 会

- ・甲賀市地酒と信楽焼 酒器と食器

開催日：令和2年9月20日(日)～22日(月)

内 容：信楽焼器での食事提供、甲賀市の地酒と信楽焼食器・酒器の展示販売

施設の管理

陶芸の森が、地域の産業振興や文化の創造、環境の拠点として、また来園者にくつろいでいただける場所となるよう、良好な状態を維持することに努めました。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、県および甲賀市との協議により、下記の通り休園および休館措置を取りました。

- ・産業展示館のみ休館：4月7日(火)～4月10日(金)
- ・公園施設のみ開園：4月11日(土)～4月22日(水)
- ・全施設休園：4月23日(木)～5月15日(金)
- ・公園施設のみ開園：5月16日(土)～6月1日(月)
- ・全施設開園：6月2日(火)～

花木の植栽管理

公益財団法人滋賀県緑化推進会の「ゴルファー緑化協力金事業」よりシダレザクラ1本とジンダイアケボノ（サクラの一種）5本の寄贈を受けました。シダレザクラは、陶芸館のシンボルツリーとして陶芸館前に、ジンダイアケボノは園内の道路沿いへ植樹し園内の景観維持に努めました。



施設の維持修繕

県の長期保全計画に基づく建物や設備の保全工事を県および事業者と調整して実施するとともに、園内および各建物にかかる所用の修繕を行い、長期的な機能確保に努めました。

陶芸の森やきもの振興基金

平成25年に創設した「陶芸の森やきもの振興基金」への寄付金をお願いするため、陶芸の森での様々な事業活動を行う中で、ご支援をいただけるよう周知活動を行いました。

陶芸文化の発信事業

展覧会開催事業

特別展

陶芸の森開設30周年記念 「リサ・ラーソンー創作と出会いをめぐる旅」

趣 旨 リサ・ラーソン（1931年スウェーデン生まれ）は、人物や動物、テーブルウェアなど、数多くの名作を生み出した、世界的に知られた陶芸家のひとりです。

当館では、2015年の開催から二度目となる今回の展覧会は、スウェーデンにあるリアン・デザイン・ミュージアム館長のルーヴェ・イオンソンとリサ・ラーソンの長男マティアス・ラーソンが企画し、旅と出会いから新たな魅力を浮き彫りにしました。

リサ・ラーソンは、北欧スウェーデンのグスタフスベリ社のデザイナーとして、なぜこれほどまでに多くの人々が惹かれるデザインを生み出すことができたのでしょうか。この展覧会は、誰もが微笑んでしまう愛らしい動物たちやテーブルウェアなどの、アイデアの源泉に迫りました。

リサの身近で感化しあったアーティストたちの作品や、世界各地で収集された品々を、選りすぐりのリサの作品とともに展覧しました。

展示構成 ①若き日のアーティスト ②形成期 ヨーテボリにて ③グスタフスベリ社の工房
④アメリカでの1年 ⑤テーブルデザイン ⑥グスタフスベリの工房を離れて ⑦レリーフ
⑧トリ ⑨イヌ ⑩人物像 ⑪人形とおもちゃ ⑫リサ・ラーソンと日本両思い

展覧会企画／キュレーター

- ・ルーヴェ・イオンソン（リアン・デザイン・ミュージアム館長、スウェーデン）
- ・マティアス・ラーソン（アーティスト）



会 期 令和2年4月1日(水)～6月28日(日)
(令和元年度から継続) 33日間
※4月11日(土)～5月31日(日)新型コロナウイルス感染症流行のため臨時休館
〔休館日〕月曜日

主 催 滋賀県立陶芸の森、京都新聞



後 援 スウェーデン大使館、滋賀県教育委員会、甲賀市、エフエム京都
 特別協力：リアン・デザイン・ミュージアム／協力：フィンエアー、
 フィンエアー カーゴ企画：アートインプレッション／企画協力：トンカチ

観 覧 料 一般／800円（640円）、高大生／600円（480円）
 ＊中学生以下無料（ ）内は、20人以上の団体料金

入場者数 9,414人（一日平均 285人）

関連行事 (1)ギャラリートーク 担当学芸員による展覧会解説
 ※新型コロナウイルス感染症流行のため中止



(2)ラッピング列車の運行：信楽高原鐵道 信楽駅-貴生川駅
 リサ・ラーソンの代表作である動物シリーズをはじめとした作品を車内外にデザインしたラッピング列車を運行しました。また、展覧会の観覧チケットと信楽高原鐵道信楽駅-貴生川駅間フリーパスが一緒になった共通チケットも販売しました。
 〔運行期間〕令和2年2月28日(金)～6月28日(日)

(3)展覧会解説動画配信
 ①YouTubeでの特別展「リサ・ラーソン」紹介動画
 ②リサ・ラーソン展バーチャルミュージアム解説



掲載記事・紹介番組等

(1)テレビ・ラジオ

あいこむ甲賀ケーブルテレビ
 FM京都局報
 関西テレビニュース
 びわ湖放送ニュース
 NHKニュース

(2)新聞

2月28日 京都新聞「ラッピング列車GO きょうから信楽高原鉄道」
 2月21日、3月11日 京都新聞社告
 1月4日 京都新聞「多彩に文化掘り下げ」
 3月25日 京都新聞特集「愛されネコの仲間たち 今日から滋賀県立陶芸の森 陶芸館」
 3月26日 京都新聞「北欧流の素朴さ愛らしく」
 4月18日 京都新聞 ミュージアム「普遍性と独自表現が共存」
 6月3日 京都新聞「会期延長 作品愛らしく」
 6月3日 中日新聞「北欧の作家ラーソンさん展 期間延長」
 6月14日 滋賀民報「特別展「リサ・ラーソン展—創作と出会いをめぐる旅」」
 6月21日 神戸新聞 文化欄「滋賀・信楽で「リサ・ラーソン展」」
 6月28日 バーチャル美術館開館「甲賀・陶芸の森HP内で疑似鑑賞」
 7月4日 産経新聞「自宅でVR美術鑑賞 その後本物を」
 7月7日 中日新聞「おうちでVR鑑賞、県立陶芸の森をスマホで廻ろう
 バーチャルミュージアム美術館開設」

(3)インターネット

Lマガジンjp、信楽観光協会、レイルラボ、WITH TEAブログ、信楽高原鉄道、TETSUDO.COM、ひと・ほん・たび、中日新聞、京都新聞、DUKEトレイン、滋賀マンマ、琵琶湖デジタルズ、滋賀県庁 公式サイト、インターネットミュージアム、滋賀ガイド、リサラーソンジャパン 公式サイト、アートインプレッション、チェキボン、トンカチ、アートアニュアル、ラッピング電車紹介、おにぎりフェイス.com（子供・子育て向け情報サイト）、中日新聞ウェブ（再開を紹介）沖縄タイムスプラス、毎日新聞ウェブ（再開を紹介）、六古窯公式ページ、47News 共同通信と地方紙、イノブ（雑貨ショップ）、レイルラボ（電車向けマニア／ラッピング電車）、ホテル21（栗東のホテル）、PRWIRE 共同通信系プレスリリース、鉄道ファン（ラッピング電車）、信楽高原鉄道サイト、ラッピング電車、山本園公式サイト（朝宮茶ショップ）、LEAF（京都・滋賀紹介雑誌）、サンスポ 産経スポーツ紙、日刊滋賀県公式サイト（地元情報サイト）、SNOW BLINK 展示紹介サイト（個人）Share Art、uedaaya.com ひと・ほん・たび紹介個人サイト、京都新聞 ことしるべ、信楽町観光協会、イベントスクランブル、カフェボヤージュ、のんびりアメリカンカールの気ままなBlog、いこーよ、Tetsudo.com（ラッピング電車）、Japan Design、じゃらん、ベティーブーフ ショップ公式ブログ、Imaga、北欧の暮らし（雑誌）、巡回展えん乗り、ラッピング電車、南国土佐と縁むすび、ぶらっと信楽、オリコンNews、やきものPlazal、鉄道プレスネット、ラッピング電車、イマガ、Hioli（地元コルギサロン）ブログ、Musca、滋賀報知新聞、ラッピング事業、日々のつぶやき（ブログ）、声に恋して（地元個人ブログ）、FM軽井沢、PR Wire経由、4Travel旅行サイト、甲賀湖南中小企業福利サービスセンター、烏丸かわら版、京都・個人ブログ、関西休日案内、京都信販クレジット、SawaAlaMode（個人ブログ）作家 青木寿美子さん紹介、Kunel Salon（マガジンハウスの雑誌公式サイト）

(4)雑誌

『Gallery』（2-6月号）、『大人のおしゃれ手帖』 3月号、『炎芸術』 141号、『湖南フリモ』 4月号、『甲賀フリモ』 3月号、4月号、『東海ウォーカー』、JAFPLUS 1月号、『陶遊』

■作品リスト

〈LIST OF WORKS EXHIBITION A journey through time〉*寸法はH(高さ)、W(幅)、D(奥行き)、φ(直径)mmで表記

新番号	Artist	Title	Technique	Date	Place	Collection	Size(mm)
①A YOUNG ARTISTS 若き日のアーティスト							
1	Lisa Larson	Lisa's painting of the house at age 14	Oil on plywood board	1945	Made by Lisa in her grandparents' home	LL private	H175×W685×D25 with frame
	リサ・ラーソン	リサ・ラーソンが14歳の時描いた祖父母の家の絵	オイル、ベニヤ板	1945年	リサ・ラーソンの祖父の家にて制作	リサ・ラーソン蔵	
2	Mattias Larson	Lisa's grandparents' house	Photography	1973	Unknown	LL private	H180×W210
	マティアス・ラーソン	リサの祖父母の家の写真	写真	1973年	不詳	リサ・ラーソン蔵	
3	Mattias Larson	Model of Lisa's grandparents' house by Mattias at an early age	Balsa wood	1973	Unknown	LL private	H163×W190×D160
	マティアス・ラーソン	息子マティアスによる祖父母の家の模型	バルサ材	1973年	不詳	リサ・ラーソン蔵	
4	Unknown artist	Lisa's childhood doll	Textile	1930s	Sweden	LL private	H320×W120
	作者不詳	リサ・ラーソンの幼少期の人形	布	1930年代	スウェーデン	リサ・ラーソン蔵	
5	Unknown artist	Lisa's childhood doll	Textile, paper maché	1920s	Sweden	LL private	H190×W75
	作者不詳	リサ・ラーソンの幼少期の人形	布、張り子	1920年代	スウェーデン	リサ・ラーソン蔵	
6	Unknown artist	Lisa's childhood doll	Plastic, textile	Early 1900s	Sweden	LL private	H350×W120
	作者不詳	リサ・ラーソンの幼少期の人形	プラスチック、布	1900年初期	スウェーデン	リサ・ラーソン蔵	

新番号	Artist	Title	Technique	Date	Place	Collection	Size (mm)
7 8 9 10 11 12 13 14 15	Lisa Larson	Wooden figures made by Lisa at an early age	Wood	1940th	Made by Lisa in her grandparents' home	LL private	1.H185×W60×D40 2.H125×W50×D45 3.H110×W55×D30 4.H107×W25×D35 5.H125×W30×D65 6.H123×W40×D35 7.H105×W60×D25 8.and 9.(one unit) H122×W60×D50
	リサ・ラーソン	幼少時代に作られた木製人形	木	1940年代	リサ・ラーソンの祖父の家にて制作	リサ・ラーソン蔵	
②FORMATIVE YEARS 形成期 ヨーテボリにて							
16	Lisa Larson	Cat (unique)	Hand modelled, earthenware	1952-1954	Made by Lisa during her studies in Gothenburg	LL private	H84×W114×D30
	リサ・ラーソン	ネコ (ユニークピース)	手びねり、陶器	1952-1954年	ヨーテボリの美術学校にて制作	リサ・ラーソン蔵	
17	Lisa Larson	Hedgehog candleholder (unique)	Earthenware	1952-1954	Made by Lisa during her studies in Gothenburg	LL private	H70×W73×D60
	リサ・ラーソン	ハリネズミのキャンドルホルダー (ユニークピース)	陶器	1952-1954年	ヨーテボリの美術学校にて制作	リサ・ラーソン蔵	
18	Lisa Larson	Hedgehog candleholder (unique)	Earthenware	1952-1954	Made by Lisa during her studies in Gothenburg	LL private	H68×W55×D55
	リサ・ラーソン	ハリネズミのキャンドルホルダー (ユニークピース)	陶器	1952-1954年	ヨーテボリの美術学校にて制作	リサ・ラーソン蔵	
19	Lisa Larson	Hedgehog candleholder (unique)	Earthenware	1952-1954	Made by Lisa during her studies in Gothenburg	LL private	H60×W60×D50
	リサ・ラーソン	ハリネズミのキャンドルホルダー (ユニークピース)	陶器	1952-1954年	ヨーテボリの美術学校にて制作	リサ・ラーソン蔵	
20	Lisa Larson	Bowl (unique)	Earthenware	1952-1954	Made by Lisa during her studies in Gothenburg	LL private	H35×φ149
	リサ・ラーソン	鉢 (ユニークピース)	陶器	1952-1954年	ヨーテボリの美術学校にて制作	リサ・ラーソン蔵	
21	Lisa Larson	Bowl (unique)	Earthenware	1952-1954	Made by Lisa during her studies in Gothenburg	LL private	H40×φ132
	リサ・ラーソン	鉢 (ユニークピース)	陶器	1952-1954年	ヨーテボリの美術学校にて制作	リサ・ラーソン蔵	
22	Lisa Larson	School work in decor class on existing Rörstrand design	Porcelain, glazed	1952-1954	Made by Lisa during her studies in Gothenburg	LL private	H300×W250×D20
	リサ・ラーソン	ロールストランド社のデザインが用いられた装飾クラスでの作品	磁器、釉薬	1952-1954年	ヨーテボリの美術学校にて制作	リサ・ラーソン蔵	
23	Lisa Larson	School work in decor class on existing Rörstrand design	Porcelain, glazed	1952-1954	Made by Lisa during her studies in Gothenburg	LL private	H100×W100
	リサ・ラーソン	ロールストランド社のデザインが用いられた装飾クラスでの作品	磁器、釉薬	1952-1954年	ヨーテボリの美術学校にて制作	リサ・ラーソン蔵	
24	Birger Kaipiainen	Relief	faience	1954-1958	Rörstrand Porcelain Factory	Collection of Love Jönsson	H410×W350
	ビリエル・カイピアイネン	レリーフ	ファイアンス	1954-1958年	ロールストランド磁器会社 (スウェーデン)	ルーヴェ・イオンソン蔵→図録では個人蔵と表記	
25	Kurt Ekholm	Vase	Stoneware, glazed	1930s	Arabia Porcelain Factory	Collection of Love Jönsson	φ150
	クット・エークホルム	花器	炆器、釉薬	1930年代	アラビア窯 (フィンランド)	ルーヴェ・イオンソン蔵	
26	Endre Nemes	The Bad Conscience	ink,tempera	1964	Sweden	LL private	H630×W725×D25 with frame
	エンドレ・ネメス	やましい心	インク、テンペラ	1964年	スウェーデン	リサ・ラーソン蔵	H630×W725×D25 額を含む
27	Gunnar Larson	Portrait of Lisa	Egg oil tempera	1952	Executed in Lisa's and Gunnar's studio apartment in Gothenburg	LL private	H1010×W735×D33 with frame
	グンナル・ラーソン	リサの肖像画	エッグオイル、テンペラ	1952年	ヨーテボリにあるリサとグンナルのスタジオアパートにて実行?制作?	リサ・ラーソン蔵	
28	Jörgen Zetterqvist	Original Landala Red Hot Stompers	Colour Lithograph	1954	Sweden	Collection of Olle and Nina Zetterqvist	H410×W540 with frame
	ヨルゲン・ゼッタークヴィスト	オリジナル・ランダラ・レッド・ホット・スタンパーズ	カラー・リトグラフ	1954年	スウェーデン	オルレ&ニーナ・ゼッタークヴィスト蔵	H410W540 額を含む

新番号	Artist	Title	Technique	Date	Place	Collection	Size (mm)
29	Unknown artist	Baule Kple Kple Goli mask, Ivory Coast	Wood carving	Bought in Paris in the early 1950th	Ivory Coast	LL private	H410×W190×D75
	作者不詳	バウレ族のプレブレゴリ仮面	木彫	1950年代 初期に パリにて購入	コートジボワール製	リサ・ラーソン蔵	
③AN ARTIST AT THE FACTORY グスタフスベリの工房							
30	Lisa Larson	Vase (unique)	Wheel-thrown stoneware, glazed	Around 1955-1956	Gustavsberg	LL private	H135×φ103
	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	ろくろ、炆器、釉薬	1955-1956 年頃	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
31	Lisa Larson	Bird (unique)	Stoneware, glazed	1950s	Gustavsberg	LL private	H90×W95×D77
	リサ・ラーソン	トリ (ユニークピース)	炆器、釉薬	1950年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
32	Lisa Larson	Bowl (unique)	Wheel-thrown stoneware, glazed	Around 1955-1956	Gustavsberg	LL private	H50×φ140
	リサ・ラーソン	鉢 (ユニークピース)	ろくろ、炆器、釉薬	1955-1956 年頃	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
33 34	Anders B.Liljefors	Two vases	Wheel-thrown stoneware, glazed	1952	Gustavsberg	Private collection (Love Jönsson)	H90 H105
	アンデシュ・B・リリエフォッシュ	2つの花器	ロクロ成形、炆器、釉薬	1952年	グスタフスベリ		
35	Lisa Larson	Prototype for Dove from the Paloma series	Stoneware, glazed	1954-1955	Gustavsberg	LL private	H110×W120×D130
	リサ・ラーソン	ハト/パロマシリーズ (原型作品)	炆器、釉薬	1954-1955年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
36	Lisa Larson	Dove from the Paloma Series	Stoneware, glazed	1955-1956	Gustavsberg	LL private	H110×W130×D150
	リサ・ラーソン	ハト/パロマシリーズ	炆器、釉薬	1955-1956年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
37	Lisa Larson	Bowl shaped as a bird (unique)	Stoneware, glazed	1950s	Gustavsberg	LL private	H110×W118×D100
	リサ・ラーソン	トリ形鉢 (ユニークピース)	炆器、釉薬	1950年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
38	Lisa Larson	Vase (unique)	Wheel-trown stoneware, partly glazed	Early 1960s	Gustavsberg	LL private	H95×φ120
	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	ろくろ、炆器、一部釉薬	1960年代 初期	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
39	Lisa Larson	Vase (unique)	Wheel-thrown stoneware, partly glazed	Around 1960	Gustavsberg	LL private	H132 (×W115)×φ115→図録ではWを掲載しない
	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器、一部釉薬	1960年頃	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
40	Lisa Larson	Bowl (unique)	Wheel-thrown stoneware, partly glazed	Around 1960	Gustavsberg	LL private	H98×φ300
	リサ・ラーソン	鉢 (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器、一部釉薬	1960年頃	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
41	Lisa Larson	Vases (unique)	wheel-thrown stoneware, partly glazed	1960s	Gustavsberg	LL private	H220×φ160
	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	炆器、ろくろ、一部釉薬	1960年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
42	Lisa Larson	Vase (unique)	wheel-thrown stoneware, partly glazed	Around 1955-1956	Gustavsberg	LL private	H245×φ110
	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	炆器、ろくろ、一部釉薬	B:1955-1956年頃	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
43	Stig Lindberg	Vase	Stoneware, glazed	1960s	Gustavsberg	LL private	H95×φ110
	スティグ・リンドベリ	花器	炆器、釉薬	1960年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
44	Stig Lindberg	Vase	Stoneware, glazed	1960s	Gustavsberg	LL private	H128×W90×D80
	スティグ・リンドベリ	花器	炆器、釉薬	1960年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
45	Wihelm Kåge	Vase	Stoneware	1950s	Gustavsberg	LL private	H306
	ヴィルヘルム・コーゲ	花器	炆器	1950年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
46	Lisa Larson	Cat, from the Small Zoo series	Slip-cast stoneware, partly glazed	Manufactured 1956-1978	Gustavsberg	LL private	H110×W120
	リサ・ラーソン	ネコ/小さな動物園シリーズ	泥漿 casting、一部釉薬、炆器	製造 1956-1978年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
47	Lisa Larson	Fox, from the Small Zoo series	Slip-cast stoneware, partly glazed	Manufactured 1956-1968	Gustavsberg	LL private	H70×W130×D60
	リサ・ラーソン	キツネ/小さな動物園シリーズ	泥漿 casting、炆器、一部釉薬	製造 1956-1968年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
48	Lisa Larson	Cat, from the Small Zoo series	Slip-cast stoneware, partly glazed	Manufactured 1956-78	Gustavsberg	LL private	H120×W80
	リサ・ラーソン	ネコ/小さな動物園シリーズ	泥漿 casting、一部釉薬、炆器	製造 1956-1978年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	

新番号	Artist	Title	Technique	Date	Place	Collection	Size (mm)
49	Lisa Larson	Cat, from the Big Zoo series	Slip-cast stoneware, partly glazed	Manufactured 1958-1979	Gustavsberg	LL private	H120×W330
	リサ・ラーソン	ネコ/大きな動物園シリーズ	泥漿鑄込、釉薬、 炆器	製造 1958-1979年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
50	Lisa Larson	Malin, prototype for the Larson Kids series	Stoneware, partly glazed	Manufactured 1962-1980	Gustavsberg	LL private	H183×W115×D70
	リサ・ラーソン	マリン/ラーソン家の子どもたち シリーズ(原型作品)	炆器、一部釉薬	製造 1962-1980年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
51	Lisa Larson	Johanna, from the Larson Kids series (test piece)	Slip-cast stoneware, partly glazed	Manufactured 1962-1980	Gustavsberg	LL private	H170×W100×D100
	リサ・ラーソン	ヨハンナ/ラーソン家の子どもたち シリーズ(テストピース)	泥漿鑄込、炆器、 一部釉薬	製造 1962-1980年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
52	Lisa Larson	Kalle, from the Larson Kids series	Slip-cast stoneware, partly glazed	Manufactured 1964-1980	Gustavsberg	LL private	H185×W130×D75
	リサ・ラーソン	カッレ/ラーソン家の子どもたち シリーズ	炆器、泥漿鑄込、 一部釉薬	製造 1964-1980年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
53	Lisa Larson	Lotta, from the Larson Kids series	Slip-cast stoneware, partly glazed	Manufactured 1962-1979	Gustavsberg	LL private	H171×W100×D90
	リサ・ラーソン	ロッタ/ラーソン家の子どもたち シリーズ	泥漿鑄込、炆器、 一部釉薬	製造 1962-1979年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
54	Lisa Larson	Pelle, from the Larson Kids series	Slip-cast stoneware, partly glazed	Manufactured 1964-1980	Gustavsberg	LL private	H200×W85×D75
	リサ・ラーソン	ペッレ/ラーソン家の子どもたち シリーズ	泥漿鑄込、炆器、 一部釉薬	製造 1964-1980年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
55	Lisa Larson	Lion Maxi from the Africa Series	Slip-cast Stoneware partly glazed	Manufactured from 1968	Gustavsberg	LL private	H390×W350×D370
	リサ・ラーソン	ライオン(マキシ)/アフリカシリーズ	泥漿鑄込、一部釉薬、 炆器、	製造 1968年-	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
56	Lisa Larson	Tiger, from the Africa series	Slip-cast stoneware, partly glazed	Manufactured 1965-1975	Gustavsberg	LL private	H83×W265×D75
	リサ・ラーソン	トラ/アフリカシリーズ	泥漿鑄込、炆器、 一部釉薬	製造 1965-1975年	グスタフスベリ		
57	Lisa Larson	Donkey, from the Big Zoo series	Slip-cast, stoneware, glazed	Manufactured 1960-1968	Gustavsberg	LL private	H100×W150×D85
	リサ・ラーソン	ロバ/大きな動物園シリーズ	泥漿鑄込、炆器、 釉薬	製造 1960-1968年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
58	Lisa Larson	Bear	Slip-cast stoneware, glazed	Manufactured 1970s	Gustavsberg	LL private	H100×W150×D85
	リサ・ラーソン	クマ	泥漿鑄込、炆器、 釉薬	製造 1970年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
59	Lisa Larson	Cat Maxi, prototype for the Big Zoo series (later renamed as Mia)	Wheel-thrown hand-modelled stoneware, glazed	1965	Gustavsberg	LL private	H345×W230
	リサ・ラーソン	ネコ(マキシ)/大きな動物園シリーズ (原型作品) 現在の愛称:ミア	ろくろ成形、手びねり、 炆器、釉薬	1965年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
60	Lisa Larson	Trull, prototype for the Tripp Trapp Trull series	Wheel-thrown hand-modelled stoneware, glazed	Around 1968	Gustavsberg	LL private	H260×W135
	リサ・ラーソン	ネコのトゥルル/トリップ・トラップ・ トゥルルシリーズ(原型作品)	ろくろ成形、手びねり、 炆器、釉薬	1968年頃	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
61	Lisa Larson	Cat (unique)	Wheel-thrown hand-modelled stoneware, glazed	Around 1970	Gustavsberg	LL private	H400×W180
	リサ・ラーソン	ネコ(ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器、釉薬	1970年頃	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
62	Lisa Larson	Candle tower (unique)	Wheel-thrown out cut windows stoneware, glazed	1960s	Gustavsberg Studio	LL private	H890×W270
	リサ・ラーソン	キャンドルタワー(ユニークピース)	ろくろ成形、透彫、 炆器、釉薬	1960年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
63	Lisa Larson	Scarecrow	Stoneware	1970-1971	Gustavsberg	LL private	H345×W230×D110
	リサ・ラーソン	かかし	炆器	1970-1971年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
64	Lisa Larson	Horse rider (unique)	Hand-modelled stoneware, glazed	1960s	Gustavsberg	LL private	H175×W185×D55
	リサ・ラーソン	ウマに乗る人(ユニークピース)	手びねり、炆器、釉薬	1960年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
65	Elis Eriksson	Abstract sculpture	Hand-modelled stoneware, partly glazed	Late 1950s	Made in Lisa's studio	LL private	H187×W215×D170
	エーリス・エリクソン	抽象彫刻	炆器、手びねり、 一部釉薬	1950年代 後期	リサの工房	リサ・ラーソン蔵	
66	Torsten Renqvist	Elephant	Ceramic	1980s	Sweden	LL private	H182×W147×D120
	トシュテン・ レーンクヴィスト	ゾウ	陶器	1980年代	スウェーデン	リサ・ラーソン蔵	

新番号	Artist	Title	Technique	Date	Place	Collection	Size (mm)
67	Anders B. Liljefors	Vase	Sandcast stoneware, glazed	Around 1955-1957	Gustavsberg	LL private	H215×φ65
	アンダース・ブルーノ・リリエフォルス	花器	炆器、砂型鑄造、釉薬	1955-1957年頃	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
68	Hertha Hillfon	Sculpture	Earthenware, unglazed	Possibly 1970s/1980s	Sweden	Collection of the Hertha Hillfon society	H280×W220×D220
	ハッタ・ヒルフォン	彫刻	陶器、無釉	1970年代-1980年代(推定)	スウェーデン	ヘルタ・ヒルフォン協会蔵	
69	Britt-Louise Sundell	Vase	stoneware, black slip	Mid1950s	Gustavsberg	Love Jönsson private collection	H115
	ブリット＝ルイズ・サnderル	花器	炆器、黒化粧	1950年代中期	グスタフスベリ		
70	Lisa Larson	Vase (unique)	Wheel-t hrown hand painted glazed stoneware,glazed	1960s	Gustavsberg Studio	LL private	H300×φ350
	リサ・ラーソン	花器(ユニークピース)	手描き、ろくろ成形、炆器、釉薬	1960年代	グスタフスベリ・スタジオ	リサ・ラーソン蔵	
71	Lisa Larson	Bulldog Maxi	Slip-cast stoneware, glazed	Manufactured 1972-1980s	Gustavsberg	LL private	H350×W300×D430
	リサ・ラーソン	ブルドック(マキシ)	泥漿鑄込、炆器、釉薬	製造1972-1980年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
72	Lisa Larson	Bulldog Midi	Stoneware, glazed	Manufactured 1972-1987	Gustavsberg	LL private	H135×W135×D170
	リサ・ラーソン	ブルドック(ミディアム)	炆器、釉薬	製造1972-1987年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
73	Lisa Larson	Sweden's Minister of Finance Gunnar Strång as a moneybox	Stoneware, glazed	1972-1984	Gustavsberg	LL private	H200×W90×D80
	リサ・ラーソン	グンナル・ストレングスウェーデン財務大臣の貯金箱	炆器、釉薬	1972-1984年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
74	Lisa Larson	The Societal Debate (prototype)	Stoneware, glazed	Around 1968	Gustavsberg	LL private	H390×W330×D80
	リサ・ラーソン	社会討論(原型作品)	炆器、釉薬	1968年頃	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
75	Lisa Larson	The Societal Dabate (Small version)	Stoneware	1969-1974	Gustavsberg	LL private	H230×W260×D130
	リサ・ラーソン	社会討論(小)	炆器、釉薬	1969-1974年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
76	Lisa Larson	Portrait of Stig Lindberg (unique)	Stoneware, glazed	1990s	Artist's own studio	LL private	H305×W200×D80
	リサ・ラーソン	スティグ・リンドベリの肖像(ユニークピース)	炆器、釉薬	1990年代	リサ・ラーソンスタジオ	リサ・ラーソン蔵	
④A YEAR IN AMERICA アメリカでの1年							
77	Unknown artist	Mermaid,Mexico	Painted clay	1960s	Mexico	LL private	H260×W240×D100
	作者不詳	マーメイド(メキシコ)	絵付け、粘土	1960年代	メキシコ製	リサ・ラーソン蔵	
78	Unknown artist	Church sculpture, Quinoa village,Peru	Earthenware	1960s	Quinoa village, Peru	LL private	H230×W125×D100
	作者不詳	教会彫刻	土器	1960年代	ペルー(キノア村)製	リサ・ラーソン蔵	
79	Lisa Larson	Wooden tree	lathe-turned wood	late 1960s		LL private	H382×W285×D125 H295×W200×D200
	リサ・ラーソン	木製の木	外丸削りした木	1960年代後半		リサ・ラーソン蔵	
80 95	Lisa Larson	Wooden birds	Turned Wood handpainted	1970	Artist's own studio	LL private	全て H170×W155×D68
	リサ・ラーソン	木製のトリ	施盤加工、絵付け、木	1970年	リサ・ラーソンスタジオ	リサ・ラーソン蔵	
96	Lisa Larson	Balloon,from the Traffic series	Stoneware	1971-1973	Gustavsberg	LL private	H220×W150×D150
	リサ・ラーソン	気球/トラフィックシリーズ	炆器	1971-1973年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
97	Lisa Larson	Elephant, from the Traffic series	Stoneware	1971-1973	Gustavsberg	LL private	H200×W90×D75
	リサ・ラーソン	ゾウ/トラフィックシリーズ	炆器	1971-1973年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
98	Lisa Larson	Car, prototype for the Traffic series	Stoneware, glazed	1969	Gustavsberg	LL private	H130×W180×D75
	リサ・ラーソン	車/トラフィックシリーズ(原型作品)	炆器、釉薬	1969年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
99	Lisa Larson	Car, from the Traffic series	Stoneware	1971-1973	Gustavsberg	LL private	H124×W160×D77
	リサ・ラーソン	車/トラフィックシリーズ	炆器	1971-1973年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
100	Lisa Larson	Airplane, from the Traffic series	Stoneware	1971-1973	Gustavsberg	LL private	H170×W250×D135
	リサ・ラーソン	飛行機/トラフィックシリーズ	炆器	1971-1973年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	

新番号	Artist	Title	Technique	Date	Place	Collection	Size (mm)
101	Lisa Larson	Jonah and the Whale, from the Traffic series (test piece)	Stoneware	1971-1973	Gustavsberg	LL private	H130×W180×D100
	リサ・ラーソン	クジラに乗るヨナ/トラフィックシリーズ(テストピース)	炆器	1971-1973年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
102	Lisa Larson	Jonah and the Whale, from the Traffic series (test piece)	Stoneware, glazed	Around 1970	Gustavsberg	LL private	H130×W180×D100
	リサ・ラーソン	クジラに乗るヨナ/トラフィックシリーズ(テストピース)	炆器、釉薬	1970年頃	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
103	Lisa Larson	Jonah and the Whale, prototype for the Traffic series(unique)	Stoneware, glazed	1969	Gustavsberg	LL private	H90×W170×D95
	リサ・ラーソン	クジラに乗るヨナ/トラフィックシリーズ(原型作品、ユニークピース)	炆器、釉薬	1969年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
104	Lisa Larson	Fantasy tree(unique)	Wheel-thrown ,hand-modelled stoneware, glazed, partly gilded	Around 1970	Gustavsberg	LL private	H460×W300×D300
	リサ・ラーソン	ファンタジー・ツリー (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器、手びねり、釉薬、一部金めっき	1970年頃	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
105	Lisa Larson	Candleholder in the shape of a tree with vessels(unique)	Wheel-thrown, hand-modelled stoneware, glazed, partly gilded	Late 1960s	Gustavsberg	LL private	H320×W270×D250
	リサ・ラーソン	壺をのせた木のキャンドルホルダー (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、炆器、釉薬、一部金めっき	1960年代後半	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
106	Lisa Larson	Fantasy tree(unique)	Wheel-thrown ,hand-modelled stoneware, glazed, partly gilded	Late 1960s	Gustavsberg	LL private	H190×W175×D165
	リサ・ラーソン	ファンタジー・ツリー (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器、手びねり、釉薬、一部金めっき	1960年代後期	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
107	Lisa Larson	Golden tree	Slip-cast stoneware	Manufactured 1969-1973	manufactured at Gustavsberg	LL private	H382×W285×D125 H295×W200×D200
	リサ・ラーソン	ゴールドデン・ツリー	泥漿鑄込、炆器	製造 1969-1973年	グスタフスベリにて制作	リサ・ラーソン蔵	
5DESIGN FOR THE TABLE テーブルデザイン							
108	Lisa Larson	Bowl,from the Matilda series	Flintware, glazed	1960s	Gustavsberg	LL private	H55×φ150
	リサ・ラーソン	鉢/マチルダシリーズ	フリントウェア、釉薬	1960年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
109	Lisa Larson	Cup,from the Matilda series	Flintware, glazed	1960s	Gustavsberg	LL private	H70×φ115
	リサ・ラーソン	カップ/マチルダシリーズ	フリントウェア、釉薬	1960年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
110	Lisa Larson	Pig-shaped advent candleholder, from the Matilda series	Flintware, glazed	1960s	Gustavsberg	LL private	H75×W325×D65
	リサ・ラーソン	ブタのキャンドルホルダー/マチルダシリーズ	フリントウェア、釉薬	1960年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
111	Lisa Larson	Pig-shaped light holder (prototype)	Wheel-thrown and hand-modelled stoneware	Around 1965	Gustavsberg	LL private	H110×W142×D92
	リサ・ラーソン	ブタのライトホルダー(原型作品)	ろくろ、手びねり、炆器	1965年頃	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
112	Lisa Larson	Pig-shaped moneybox	Slip-cast flintware, glazed	Manufactured 1965	Gustavsberg, small production	LL private	H94×W150×D80
	リサ・ラーソン	ブタの貯金箱	鑄込成形、フリントウェア、釉薬	製造 1965年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
113	Lisa Larson	Pig-shaped light holder (prototype)	Wheel-thrown and hand-modelled stoneware	Around 1965	Gustavsberg	LL private	H130×W240×D180
	リサ・ラーソン	ブタのライトホルダー(原型作品)	ろくろ、手びねり、炆器	1965年頃	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
114	Lisa Larson	Plate,from the Astrakan series	Slip-cast flintware, glazed	Manufactured 1958	Gustavsberg	LL private	H30×W170×D200
	リサ・ラーソン	皿/アストラカンシリーズ	泥漿鑄込、炆器、釉薬	製造 1958年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
115	Lisa Larson	Lamp-shade	Wheelturned flintware, glazed	1960s	Gustavsberg	LL private	H230×W200
	リサ・ラーソン	ランプシェード	ろくろ、フリントウェア、釉薬	1960年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
116	Lisa Larson	Plate,from the Astrakan series	Wheelturned flintware, glazed	1970s	Gustavsberg	LL private	H50×φ200
	リサ・ラーソン	絵皿/アストラカンシリーズ	ろくろ、フリントウェア、釉薬	1970年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
117	Lisa Larson	Candelholders, from the Strong series	Form-pressed stoneware, glazed	Manufactured 1968-1970	Gustavsberg	LL private	H70×W105
118							H60×W70
119							H70×W105
120							H46×W101
121	リサ・ラーソン	キャンドルホルダー/ストロングシリーズ	型押、炆器、釉薬	製造 1968-1970年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	H35×W99
122							H58×W100

新番号	Artist	Title	Technique	Date	Place	Collection	Size (mm)
123	Lisa Larson	Candle-holders, from the Basun series	Slip-cast stoneware	Manufactured 1969-1972	Gustavsberg	LL private	120:H145×W90×D90
124	リサ・ラーソン	キャンドルホルダー/ トランペットシリーズ	泥漿鑄込、炆器	製造 1969-1972年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	121:H70×W80×D80
125							122:H115×W95×D95
126	Lisa Larson	Cup with saucer,from the Matilda series (brown version)	Stoneware,glazed	1970s	Gustavsberg	LL private	Cup:H72×φ82 with handle 115 Saucer:H23×φ156
	リサ・ラーソン	カップ&ソーサー/マチルダシリーズ (ブラウンバージョン)	炆器、釉薬	1970年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	カップ:H72×W115 (取手付き) ソーサー:H23×φ156
127	Lisa Larson	Bowls, cup and plates,from the Jang series	Stoneware, glazed	1988-2005	Made in Japan for Swedish Ahlens	LL private	124 (Bowl):H65×φ190 125 (Cup):H83×φ88 with handle122
128	リサ・ラーソン	鉢、カップ、皿/ヤングシリーズ	炆器、釉薬	1988-2005年	日本(オーレンス、スウェーデン)	リサ・ラーソン蔵	126 (Small bowl) H65×φ127
129							127 (Big plate) H23×φ245
130							128 (Small plate) H22×φ210
131							
⑥LEAVING THE FACTORY グスタフスベリの工房を離れて							
132	Lisa Larson	Flower-pot	Slip-cast stoneware	Manufactured 1982-1983	Höganäs Keramik	LL private	H200×W125×D125
	リサ・ラーソン	植木鉢	泥漿鑄込、炆器	製造 1982-1983年	ホガナス・セラミック社 (スウェーデン)	リサ・ラーソン蔵	
133	Lisa Larson	Bird vases	Porcelaine, glazed	1985	Rosenthal, Germany	LL private	133: (center top) H150×W135
134	リサ・ラーソン	トリの花器	磁器、釉薬	1985年	ロゼンタール社 (ドイツ)	リサ・ラーソン蔵	134: H135×W107
135							135:H120×W135
136							136:H150×W135
137	Lisa Larson	Three Vases	Porcelaine, glazed	1985	Rosenthal, Germany	LL private	137.H115×φ90
138	リサ・ラーソン	3つの花器	磁器、釉薬	1985年	ロゼンタール社(ドイツ)	リサ・ラーソン蔵	138.H160×W180×D70
139							139.H190×φ105
140	Lisa Larson	Vase(unique)	Stoneware, glazed	1980s	Artist's own studio	LL private	H220×W160
	リサ・ラーソン	花器(ユニークピース)	炆器、釉薬	1980年代	リサ・ラーソンスタジオ	リサ・ラーソン蔵	
⑦RELIEFS レリーフ							
141	Lisa Larson	Study for the Acrobate relief, from the Harlequin series(unique)	Slip-cast and hand-modelled stoneware, glazed	Manufactured 1959-1960	Gustavsberg	LL private	H380×W200×D70
		曲芸師のレリーフの習作/道化師シリーズ(ユニークピース)	泥漿鑄込、手びねり、炆器、釉薬	製造 1959-1960年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
142	Lisa Larson	Standing woman(unique)	Relief, glazed sand-cast stoneware, glazed	1960s	Gustavsberg	LL private	H550×W250×D30
		立つ女(ユニークピース)	レリーフ、砂型鑄込、炆器、釉薬	1960年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
143	Lisa Larson	Relief	Sand-cast stoneware,glazed	1960s	Gustavsberg	LL private	H110×W95
		レリーフ	砂型鑄込、炆器、釉薬	1960年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
144	Lisa Larson	Early abstract relief	Sand-cast stoneware, glazed	1960s	Gustavsberg	LL private	H200×W475×D35
		初期の抽象的なレリーフ	レリーフ、砂型鑄込、炆器、釉薬	1960年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
145	Anders B Liljefors	Two Reliefs	Sandcast stoneware	1950s	Gustavsberg	Love Jönsson private collection	159. H210×W160 160.H300×W170
	アンデシュ・リリエフョッシュ	2つのレリーフ	砂型鑄込、炆器	1950年代	グスタフスベリ	ルーヴェ・イオンソン	
147	Lisa Larson	Horse rider(unique)	Hand modelled stoneware, glazed	Early 1950	Gustavsberg	LL private	H200×W225×D45
		ウマに乗る人(ユニークピース)	手びねり、炆器、釉薬	1950年代初期	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
148	Lisa Larson	Donkey(unique)	hand-modelled stoneware, glazed	Mid1950s	Gustavsberg	LL private	H200×W302×D24
		ロバ(ユニークピース)	手びねり、炆器、釉薬	1950年代中期	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
149	Lisa Larson	Study for the Drabant series	hand-modelled stoneware, partly glazed	1960s	Gustavsberg	LL private	H200×W170×D20
		レリーフの習作/近衛兵シリーズ	手びねり、炆器、一部釉薬	1960年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
150	Lisa Larson	Drabant series 近衛兵シリーズ	Relief,stoneware,glazed レリーフ、炆器、釉薬	1967-1973 1967-1973年	Gustavsberg グスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H310×W130×D10
151	Lisa Larson	Drabant series	Relief, stoneware, glazed	1967-1973	Gustavsberg	LL private	H260×W160×D10
		近衛兵シリーズ	レリーフ、炆器、釉薬	1967-1973年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
152	Lisa Larson	Drabant series	Relief, stoneware, glazed	1967-1973	Gustavsberg	LL private	H290×W160×D10
		近衛兵シリーズ	レリーフ、炆器、釉薬	1967-1973年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	

新番号	Artist	Title	Technique	Date	Place	Collection	Size (mm)
153	Lisa Larson	Drabant series 近衛兵シリーズ	Relief, stoneware, glazed レリーフ、炆器、釉薬	1967-1973 1967-1973年	Gustavsberg グスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H300×W180×D10
154	Lisa Larson	Lion in cage 檻の中のライオン	Relief, stoneware, partly glazed レリーフ、炆器、一部釉薬	1963 1963年	Gustavsberg グスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H320×W466×D20
155 156 157 158	Lisa Larson	Bishops 司教	Reliefs, Slip-cast stoneware, partly glazed レリーフ、泥漿 casting、炆器、一部釉薬	1963-1969 1963-1969年	Gustavsberg グスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	全て H95×W450×D30
159	Lisa Larson	Relief (unique) レリーフ(ユニークピース)	sand-cast and slab-built stoneware, partly glazed 砂型 casting とたたら、炆器、一部釉薬	1960s 1960年代	Gustavsberg グスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H140×W180×D50
160	Lisa Larson	Bird against blue background 青を背景にしたトリ	Sand-cast relief stoneware, glazed 砂型 casting、レリーフ、炆器、釉薬	1963 1963年	Gustavsberg グスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H175×W290×D15
⑧ BIRDS 鳥							
161	Lisa Larson リサ・ラーソン	Bird (unique) トリ(ユニークピース)	Stoneware, glazed 炆器、釉薬	1968 1968年	Gustavsberg グスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H227×W145×D85
162	Lisa Larson リサ・ラーソン	Bird (unique) トリ(ユニークピース)	Stoneware, glazed 炆器、釉薬	1972 1972年	Gustavsberg グスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H130×W164×D85
163	Lisa Larson リサ・ラーソン	Bird (unique) トリ(ユニークピース)	Stoneware, glazed 炆器、釉薬	1969 1969年	Gustavsberg グスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H164×W160×D80
164	Lisa Larson リサ・ラーソン	Bird (unique) トリ(ユニークピース)	Stoneware, glazed 炆器、釉薬	1980 1980年	Artist's own studio リサ・ラーソンスタジオ	LL private リサ・ラーソン蔵	H180×W156×D95
165	Lisa Larson リサ・ラーソン	Bird (unique) トリ(ユニークピース)	Stoneware, glazed 炆器、釉薬	1971 1971年	Gustavsberg グスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H215×W160×D85
166	Lisa Larson	Bird (unique) トリ(ユニークピース)	Stoneware, glazed 炆器、釉薬	1982 1982年	Artist's own studio リサ・ラーソンスタジオ	LL private リサ・ラーソン蔵	H167×W150×D110
167	Lisa Larson リサ・ラーソン	Bird (unique) トリ(ユニークピース)	Stoneware, glazed 炆器、釉薬	1974 1974年	Gustavsberg グスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H155×W140×D100
⑨ DOGS							
168	Lisa Larson リサ・ラーソン	Dog (unique) イヌ(ユニークピース)	hand-modelled stoneware, glazed 手びねり、炆器、釉薬	2000s 2000年代	Artist's own studio リサ・ラーソンスタジオ	LL private リサ・ラーソン蔵	H93×W115
169	Lisa Larson リサ・ラーソン	Dog (unique) イヌ(ユニークピース)	Hand-modelled stoneware, glazed 手びねり、炆器、釉薬	2000s 2000年代	Artist's own studio リサ・ラーソンスタジオ	LL private リサ・ラーソン蔵	H140×W120
170	Lisa Larson リサ・ラーソン	Dog (unique) イヌ(ユニークピース)	Hand-modelled stoneware, glazed 手びねり、炆器、釉薬	2000s 2000年代	Artist's own studio リサ・ラーソンスタジオ	LL private リサ・ラーソン蔵	H110×W120
171	Lisa Larson リサ・ラーソン	Dog (unique) イヌ(ユニークピース)	Hand-modelled stoneware, glazed 手びねり、炆器、釉薬	2000s 2000年代	Artist's own studio リサ・ラーソンスタジオ	LL private リサ・ラーソン蔵	H135×W83×D98
172	Lisa Larson リサ・ラーソン	Dog (unique) イヌ(ユニークピース)	Hand-modelled stoneware, glazed 手びねり、炆器、釉薬	2000s 2000年代	Artist's own studio リサ・ラーソンスタジオ	LL private リサ・ラーソン蔵	H90×W130
173	Lisa Larson リサ・ラーソン	Dog (unique) イヌ(ユニークピース)	Hand-modelled stoneware, glazed 手びねり、炆器、釉薬	2000s 2000年代	Artist's own studio リサ・ラーソンスタジオ	LL private リサ・ラーソン蔵	H105×W90
174	Lisa Larson リサ・ラーソン	Dog (unique) イヌ(ユニークピース)	Hand-modelled stoneware, glazed 手びねり、炆器、釉薬	2000s 2000年代	Artist's own studio リサ・ラーソンスタジオ	LL private リサ・ラーソン蔵	H55×W120
175	Lisa Larson リサ・ラーソン	Dog (unique) イヌ(ユニークピース)	Hand-modelled stoneware, glazed 手びねり、炆器、釉薬	2000s 2000年代	Artist's own studio リサ・ラーソンスタジオ	LL private リサ・ラーソン蔵	H70×W100
176	Lisa Larson リサ・ラーソン	Dog (unique) イヌ(ユニークピース)	Hand-modelled stoneware glazed 手びねり、炆器、釉薬	2000s 2000年代	Artist's own studio リサ・ラーソンスタジオ	LL private リサ・ラーソン蔵	H100×W110
177	Lisa Larson リサ・ラーソン	Dog (unique) イヌ(ユニークピース)	Hand-modelled stoneware, glazed 手びねり、炆器、釉薬	2000s 2000年代	Artist's own studio リサ・ラーソンスタジオ	LL private リサ・ラーソン蔵	H95×W70
178	Lisa Larson リサ・ラーソン	Dog (unique) イヌ(ユニークピース)	Hand-modelled stoneware, glazed 手びねり、炆器、釉薬	2000s 2000年代	Artist's own studio リサ・ラーソンスタジオ	LL private リサ・ラーソン蔵	H165×W110

新番号	Artist	Title	Technique	Date	Place	Collection	Size (mm)
179	Lisa Larson リサ・ラーソン	Dog (unique) イヌ(ユニークピース)	Hand-modelled stoneware, glazed 手びねり, 炆器, 釉薬	2000s 2000年代	Artist's own studio リサ・ラーソンスタジオ	LL private リサ・ラーソン蔵	H115×W118
180	Lisa Larson リサ・ラーソン	Dog (unique) イヌ(ユニークピース)	Hand-modelled stoneware, glazed 手びねり, 炆器, 釉薬	2000s 2000年代	Artist's own studio リサ・ラーソンスタジオ	LL private リサ・ラーソン蔵	H110×W190
181	Lisa Larson リサ・ラーソン	Dog (unique) イヌ(ユニークピース)	Hand-modelled stoneware, glazed 手びねり, 炆器, 釉薬	2000s 2000年代	Artist's own studio リサ・ラーソンスタジオ	LL private リサ・ラーソン蔵	H100×W75
182	Lisa Larson リサ・ラーソン	Dog (unique) イヌ(ユニークピース)	Hand-modelled stoneware, glazed 手びねり, 炆器, 釉薬	2000s 2000年代	Artist's own studio リサ・ラーソンスタジオ	LL private リサ・ラーソン蔵	H90×W125
183	Lisa Larson リサ・ラーソン	Dog (unique) イヌ(ユニークピース)	Hand-modelled stoneware, glazed 手びねり, 炆器, 釉薬	2000s 2000年代	Artist's own studio リサ・ラーソンスタジオ	LL private リサ・ラーソン蔵	H70×W85
⑩THE HUMAN FIGURE 人物像							
184	Lisa Larson リサ・ラーソン	Woman with cat (unique) ネコを抱いた女性(ユニークピース)	Stoneware, glazed 炆器, 釉薬	Around 1959-1962 1959-1962 年頃	Gustavsberg ゲスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H175×W120×D120
185	Lisa Larson リサ・ラーソン	Thinker (unique) 思想家(ユニークピース)	Stoneware, glazed 炆器, 釉薬	1959-1962 年頃	Gustavsberg ゲスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H155×W200×D190
186	Lisa Larson リサ・ラーソン	Woman with dog (unique) イヌを抱いた女性(ユニークピース)	Stoneware, glazed 炆器, 釉薬	1959-1962 年頃	Gustavsberg ゲスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H180×W120×D120
187	Lisa Larson リサ・ラーソン	Standing woman (unique) 立つ女性(ユニークピース)	Stoneware, glazed 炆器, 釉薬	1974 1974年	Gustavsberg ゲスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H335×W120×D182
188	Lisa Larson リサ・ラーソン	Seated woman (unique) 座る女性(ユニークピース)	Stoneware, glazed 炆器, 釉薬	1970s 1970年代	Gustavsberg ゲスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H150×W110×D70
189	Lisa Larson リサ・ラーソン	Seated woman (unique) 座る女性(ユニークピース)	Stoneware, glazed 炆器, 釉薬	Around 1970 1970年頃	Gustavsberg ゲスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H136×W124×D107
190	Lisa Larson リサ・ラーソン	Seated woman (unique) 座る女性(ユニークピース)	Stoneware, glazed 炆器, 釉薬	Around 1970 1970年頃	Gustavsberg ゲスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H152×W140×D122
191	Lisa Larson リサ・ラーソン	Seated woman (unique) 座る女性(ユニークピース)	Stoneware, glazed 炆器, 釉薬	Around 1970 1970年頃	Gustavsberg ゲスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H132×W133×D100
192	Lisa Larson リサ・ラーソン	Rosa ローサ	Stoneware, glazed 炆器	1970 1970年	Gustavsberg ゲスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H130×W160×D110
193	Lisa Larson リサ・ラーソン	Seated woman (unique) 座る女性(ユニークピース)	Stoneware, glazed 炆器, 釉薬	1978 1978年	Gustavsberg ゲスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H274×W123×D140
194	Lisa Larson リサ・ラーソン	Seated woman (unique) 座る女性(ユニークピース)	Stoneware, glazed 炆器, 釉薬	1969 1969年	Gustavsberg ゲスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H250×W120×D120
195	Lisa Larson リサ・ラーソン	Standing woman (unique) 立つ女性(ユニークピース)	Stoneware, glazed 炆器, 釉薬	1969 1969年	Gustavsberg ゲスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H233×W100×D75
196	Lisa Larson リサ・ラーソン	Seated woman (unique) 座る女性(ユニークピース)	Stoneware, glazed 炆器, 釉薬	1970s 1970年代	Gustavsberg ゲスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H160×W100×D90
197	Lisa Larson リサ・ラーソン	Seated man (unique) 座る男性(ユニークピース)	Stoneware, glazed 炆器, 釉薬	1980s 1980年代	Artist's own studio リサ・ラーソンスタジオ	LL private リサ・ラーソン蔵	H200×W105×D75
198	Lisa Larson リサ・ラーソン	Seated figure (unique) 座る人物像(ユニークピース)	Stoneware, glazed 炆器	1980 1980年	Artist's own studio リサ・ラーソンスタジオ	LL private リサ・ラーソン蔵	H185×W90×D80
199	Lisa Larson リサ・ラーソン	Seated man (unique) 座る男性(ユニークピース)	Stoneware, glazed 炆器, 釉薬	1976 1976年	Gustavsberg ゲスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H178×W95×D90
200	Lisa Larson リサ・ラーソン	Woman (unique) 女性像(ユニークピース)	Stoneware, glazed 炆器, 釉薬	1993 1993年	Artist's own studio リサ・ラーソンスタジオ	LL private リサ・ラーソン蔵	H230×W90×D90
201	Lisa Larson リサ・ラーソン	Queen with Prince (unique) 女王とプリンス(ユニークピース)	Stoneware, glazed 炆器, 釉薬	Late 1960s 1960年代後半	Gustavsberg ゲスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H280×W120×D182
202	Lisa Larson リサ・ラーソン	Figure (unique) 人物像(ユニークピース)	Stoneware, glazed 炆器, 釉薬	1995 1995年	Artist's own studio リサ・ラーソンスタジオ	LL private リサ・ラーソン蔵	H160×W150×D70
203	Lisa Larson リサ・ラーソン	Male figure (unique) 男性像(ユニークピース)	Stoneware, glazed 炆器, 釉薬	1975-1976 1975-1976年	Gustavsberg ゲスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H210×W110×D160
204 205	Lisa Larson リサ・ラーソン	Two men on the beach (unique) ビーチにいる二人(ユニークピース)	Slab-built and hand- modelled stoneware, partly glazed たたら, 手びねり, 炆器, 一部釉薬	1970s 1970年代	Gustavsberg ゲスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H280×W93×D75 left H355×W140× D90

新番号	Artist	Title	Technique	Date	Place	Collection	Size (mm)
⑪ DOLLS AND TOYS 人形とおもちゃ							
206 212	Unknown artist 作者不詳	Selection from Lisa's international doll collection 世界の人形コレクション(クロアチア、ニューメキシコ、日本、マルタ、モロッコ)	Textile, lether and paper 布、革、紙	1960s-1970s 1960-1970年代	Malta Marocco New Mexico Japan and Croatia マルタ、モロッコ、ニューメキシコ、日本、クロアチア	LL private リサ・ラーソン蔵	Tallest 240 mm Smallest 120 mm H120~240
213	Unknown artist 作者不詳	Doll with cymbals, India シンバル人形(インド)	Wood, textile, metal and paper maché 木、布、金属、張子	1960s 1960年代	India インド製	LL private リサ・ラーソン蔵	H360×W100
214	Unknown artist 作者不詳	Puppet doll, India パペット人形(インド)	Wood, textile 木、布	1960s 1960年代	Rajasthan, India インド・ラジャスタン州	LL private リサ・ラーソン蔵	H460×W160
215	Unknown artist 作者不詳	Puppet doll, India パペット人形(インド)	Wood, textile 木、布	Unknown production year 制作年不詳	India インド製	LL private リサ・ラーソン蔵	H320×W60
216 217	Unknown artist 作者不詳	Dolls, Mexico 人形	Paper mache 張子	1960s 1960年代	Mexico メキシコ製	LL private リサ・ラーソン蔵	219: H340×W110×D75 220: H238×W90×D57
218	Unknown artist 作者不詳	Toy horse rider, Mexico 人形を乗せたウマのおもちゃ	Wood 木	1970s 1970年代	Mexico メキシコ製	LL private リサ・ラーソン蔵	H185×W150×D80
219	Unknown artist 作者不詳	Horse rider, Guatemala 人を乗せたウマ	Wood 木	1980s 1980年代	Guatemala グアテマラ製	LL private リサ・ラーソン蔵	H335×W360×D60
220	Unknown artist 作者不詳	Horse, Pakistan ウマ	Wood, handpainted 木、手描き	Unknown production year 制作年不詳	Pakistan パキスタン製	LL private リサ・ラーソン蔵	H220×W200×D60
⑫ MUTUAL LOVE: LISA AND JAPAN リサ・ラーソンと日本 両思い							
221	Shoji Hamada 濱田庄司	Iron glazed Large plate 柿釉大皿	Stoneware, glazed 炻器、釉薬	Around 1970 1970年頃	Mashiko 益子(栃木県)	LL private リサ・ラーソン蔵	H50×φ274
222	Unknown artist 作者不詳	Japanese woodblock print 日本の木版画	Japanese woodblock print 日本の木版刷	Unknown production year 制作年不詳	Japan 日本	LL private リサ・ラーソン蔵	H363×W304×D10 with frame H363×W304×D10 (額縁含む)
223	Lisa Larson リサ・ラーソン	Japanese Woman 日本女性	Slip-cast Stoneware, partly glazed 泥漿鑄込、炻器、一部釉薬	Manufactured 1958-1973 製造 1958-1973年	Gustavsberg グスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H280×W120×D120
224	Lisa Larson リサ・ラーソン	Mask Geisha マスク 芸者	Stoneware 炻器	1970s 1970年代	Gustavsberg グスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H250×W210×D45
225	Lisa Larson リサ・ラーソン	Mask Demon マスク 悪魔	Stoneware 炻器	1970s 1970年代	Gustavsberg グスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H146×W190×D20
226	Lisa Larson リサ・ラーソン	Mask Geisha マスク 芸者	Stoneware 炻器	1970s 1970年代	Gustavsberg グスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H250×W210×D45
227	Emi Fujii 藤井恵美	Ceremonial tea cup and a rectangular plate 煎茶器と長皿	Stoneware 炻器	2000s 2000年代	Artist's own studio, Sweden リサ・ラーソンスタジオ (スウェーデン)	Collection of Rian designmuseum リアン・デザイン・ミュージアム蔵	Platter H35×W145×D510 Cup H80×W116 長皿 H35×W145×D510 湯呑 H80×W116
228	Lisa Larson リサ・ラーソン	Osaketori, from the Japan Series おさけとり(ジャパンシリーズ)	Porcelaine, glazed 磁器、釉薬	2016 2016年	Hasami 波佐見(長崎県)	LL private リサ・ラーソン蔵	H122×W110×D80 H40×φ50
229	Lisa Larson リサ・ラーソン	Punky, prototype for a Japanese limited edition パンキー/日本限定版(原型作品)	hand-modelled stoneware, unglazed 手びねり、炻器、無施釉	2013 2013年	Artist's own studio, Sweden リサ・ラーソンスタジオ (スウェーデン)	LL private リサ・ラーソン蔵	H92×W99× D69
230	Lisa Larson リサ・ラーソン	Harry, prototype for a Japanese limited edition ハリー/日本限定版(原型作品)	hand-modelled stoneware, glazed 手びねり、炻器、釉薬	2013 2013年	Artist's own studio, Sweden リサ・ラーソンスタジオ (スウェーデン)	LL private リサ・ラーソン蔵	H60×W88× D69
231	Unknown 撮影者不詳	Lisa and Gunnar with friends in the South of France in 1951 リサとグンナルと友人達 南フランスにて	Photograph 写真	1951 1951年	Colliour, France コリウール、フランス	LL private リサ・ラーソン蔵	H120×W140
232	Unknown 撮影者不詳	Lisa as a student in Gothenburg, early 1950s ヨーテボリの学生の頃のリサ 1950年代初期	Photograph 写真	early 1950s 1950年代初期	Gustavsberg グスタフスベリ	LL private リサ・ラーソン蔵	H190×W145

新番号	Artist	Title	Technique	Date	Place	Collection	Size (mm)
233	Unknown	Lisa with cats	Photograph	1950s	Gustavsberg	LL private	H300×W400
	撮影者不詳	リサ・ラーソンとネコたち	写真	1950年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
234	Ove Wallin	Lisa in her studio at Gustavsberg around 1960	Photograph	1960s	Gustavsberg	LL private	H300×W210
	オーヴ・ワリン	グスタフスベリ社のリサの工房にて	写真	1960年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
235	Bo Dahlin	Lisa and Gunnar in Lisa's studio at Gustavsberg around 1960	Photograph	Around 1960	Gustavsberg	LL private	H290×W240
	ボー・ダーリン	グスタフスベリ社のリサの工房にて	写真	1960年頃	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
236	Olle Waller	Lisa and Gunnar during the installation of Lisa's relief at the Lundby school in Gothenburg in 1960	Photograph	1960	Gustavsberg	LL private	H240×W270
	オルレ・ウォーラー	レリーフを設置するリサとグンナル ヨーテボリのLundby学校にて	写真	1960年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
237	Unknown	Lisa at the Gustavsberg factory in 1978	Photograph	1978	Gustavsberg	LL private	H300×W240
	撮影者不詳	リサ グスタフスベリ社の工房にて	写真	1978年	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
238	Enzo Poire	Lisa in her studio at Gustavsberg in 1970s	Photograph	1970s	Gustavsberg	LL private	H400×W300
		リサ、グスタフスベリ社の工房にて	写真	1970年代	グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵	
239	Emma Mattsson	Lisa in Skåne in 2014	Photograph	2013	Maglehem	LL private	H303×W210
	エマ・マットソン	リサ スコーネ地方にて	写真	2013年	マグレヘム	リサ・ラーソン蔵	
240	Niklas Gustavsson	Lisa and Gunnar exhibiting together at Hôganäs Museum in 2008	Photograph	2008	Hôganäs	LL private	H210×W296
	ニコラス・グスタブソン?	リサとグンナル、ヘガネスミュージアムにて共に展示	写真	2008年	ヘガネス	リサ・ラーソン蔵	

特別企画

「湖国・滋賀の陶芸—風土と伝統 そして交流のなかで」展

趣 旨 古来より風光明媚な景勝地として、多くの人々に親しまれてきた湖国・滋賀。びわ湖を抱くこの地は良質の陶土を育み、豊かなやきもの文化をつくりだしてきました。中世古窯のひとつ信楽焼をはじめ、近世には街道と〈まち〉を中心に、多彩な陶窯が開かれています。今日ではそうした風土や伝統に魅せられ、各地で幅広い作家たちが活動しています。

人の精神活動に生活環境が与える影響は少なくありません。四季折々に豊かな風情をつくりだす景観、そして歴史や伝統との出会い…。水と緑が織りなす湖国の自然や文化との対話は、造形に模様また色や質感など、作家の表現にもさまざまな形で作用しています。こうした彼らの創作活動は、湖国・滋賀を象徴する個性のひとつといえるでしょう。

湖国での日々の暮らしのなかで、彼らは何に興味や関心をもち、作品に表現しているのでしょうか。本展ではこの地の風土と伝統そして交流のなかで、活動を繰り広げる彼らの作品と〈ことば〉を紹介。現代の多彩な陶芸を展望しながら湖国・滋賀の魅力に迫りました。



展示構成 滋賀の作家50人と窯24件の作品97点を下記のテーマから紹介。

◆湖国の自然に魅せられて〈21作家26作品〉

レギーナ・アルテール／神農巖／落合美世子／高橋政男／角田新藏／廣田忠美／川崎千足／安田全宏／安田佳代／清水卯一／武田浪／小山研一／加藤敏雄／加藤和宏／谷野明夫／森公男／川瀬竹秋／堤善信／中野悟朗／河野榮一／大原薫 〈順不同〉

◆信楽の伝統とともに〈14作家26作品〉

大西忠左／奥田陶器夫／神崎継春／高橋春斎／上田直方（四代）／上田直方（五代）／高橋楽斎（三代）／高橋楽斎（五代）／奥田英山／加藤肇／谷敏隆／鈴木茂至／神山直彦／加藤隆彦 〈順不同〉

◆さまざまな出会いのなかで〈15作家15作品〉

平野敏三／神山清子／三笥茂美／河合慶治／小林勇超／伊藤昭人／廣川みのり／宮本ルリ子／笹山忠保／広川純／織田阿奴／山田晶／長澤和仁／梶なゝ子／青木拳 〈順不同〉

◆特設展示「近江の陶窯」〈24窯30作品〉

信楽焼／湖南焼／河濱焼／三井御浜焼／膳所焼／復興膳所焼／梅林焼／栗津焼／石山焼／瀬田（門平）焼／姥餅焼／小富士焼／湖東焼／圓山湖東焼／長浜湖東焼／湖東焼山口窯／比良焼／杣山焼／通庵焼／臨湖焼／唐崎焼／石部焼／下田焼／八田焼／水口焼 〈順不同〉

会 期 令和2年7月18日(土)～9月22日(火・祝) 58日間
 〔休館日〕月曜日 8／10・9／21開館、8／11振替休館
 ＊新型コロナウイルス対策のため当初の予定から会期を短縮

主 催 滋賀県立陶芸の森、京都新聞

後 援 滋賀県教育委員会、甲賀市、NHK 大津放送局

観 覧 料 一般500円（400円）、高大生380円（300円）、中学生以下無料
*（ ）内は20人以上の団体料金

入場者数 6,496人（1日平均112人）

関連行事 (1)ギャラリートーク 担当学芸員による展覧会解説
※新型コロナウイルス感染症流行のため中止

(2)ビデオ上映「信楽焼・湖東焼解説ビデオ」会期中展示室（G2）で随時上映

(3)親子向け特別講座 夏休み子どもやきものシリーズ〈チャレンジ！！しがらき焼〉
*新型コロナウイルス感染症対策のため、一回30人の定員を午前・午後2部制に変更の上、それぞれ8～10人とした。

①どうぶつのお皿をつくろう！

〔日程〕7月18日(土) 〔講師〕松波曜子 〔参加者〕16人

②ぼんぼこタヌキの花入れをつくろう！

〔日程〕7月19日(日) 〔講師〕岡田南央 〔参加者〕18人

③貯金箱をつくろう！

〔日程〕7月25日(土) 〔講師〕木ノ戸久仁子 〔参加者〕16人

④登り窯で焼こう！ランタン制作

〔日程〕7月26日(日) 〔講師〕灘さとみ 〔参加者〕18人

団体案内 7月22日(水) 信楽窯業技術試験場 見学実習 9人

紹介番組・掲載記事

(1)テレビ

7月21日～9月22日 あいコムこうか「EYEこうかNOW」随時

7月28日～7月30日 NHK大津放送局「おうみ発630」お知らせ 随時

(2)新聞

6月27日 京都新聞 朝刊（社告） 湖国滋賀の陶芸展 展（カラー）

7月10日 京都新聞 夕刊（社告） 湖国滋賀の陶芸展 展（カラー）

7月17日 読売新聞しが県民情報 湖国滋賀の陶芸展 展

7月18日 京都新聞 朝刊（社会） 湖国育む陶芸文化紹介

7月27日 中日新聞 朝刊（滋賀） 湖国の風土や海外交流通じ表現（カラー）

7月31日 読売新聞 朝刊（滋賀） 湖国作家の陶芸多彩67点

8月1日 陶業時報 美の探訪・工芸 多彩な陶芸と滋賀の魅力（カラー）

8月13日 朝日新聞 朝刊（美術） 湖国50人の陶芸

・京都新聞 半五段有料紙面広告 *7/18は京都・滋賀共通面、他滋賀版に随時掲載

特別展示「近江の個室」



(3)インターネット

陶芸館展覧会（陶芸の森）／滋賀・びわ湖観光情報（びわこビジターズビューロー）／アート&イベントサイト〔ことしるべ〕（京都新聞）／Culture NIPPON（文化庁）／ぴあニュース・アート（ぴあ）／全国の展覧会（あとあとネット）／ミュージアム情報（Jタウンネット）／Internet Museum（丹青社）／いこーよ（アクトインディ）イベント（日刊甲賀市）／展覧会ニュース（CAFE Voyage）／展覧会情報（MusCa）ブログ（古着屋siveL All）／今見られる全国のおすすめ展覧会100（katycom）／烏丸かわら版（個人ブログ）／展覧会情報（陶芸ネット）／イベントスクランブル（産業経済新聞社）／おすすめ陶芸企画展（彩里陶材）／東近江湖東ニュース（滋賀報知新聞）／ブログ（青木陶芸研究所）

(4)雑誌

日経REVIVE 2020年6月号

サンライズ出版 Duet 2020夏 vol.135

(5)その他

7月17日(金) 報道機関向け事前説明会

参加報道機関 4社6人（京都新聞・読売新聞・朝日新聞・中日新聞）

■作品リスト

◆湖国の自然に魅せられて

No.	作者名	作品名	制作年	寸法 (cm)	備考
1	レギーナ・アルテール	彩泥ボックス	2005／平成17年	皿入りボックス=高13.0×径15.4 三段重=高22.4×幅15.2×奥行14.4	C-123
2	神農 巖	青磁堆磁線文鉢	2011／平成23年	高13.0×口径53.0	個人蔵
3	神農 巖	堆磁釉彩笹文大皿	2003／平成15年	高7.8×径48.2	SC-106
4	落合 美世子	黒地白掻落陶板 三種 「月見・梅見・湖畔」	1999／平成11年・ 2002／平成14年	月見=縦19.5×横11.0×奥行0.8(台付)縦24.0×横19.0×奥行1.8/ 梅見=縦21.0×横9.6×奥行5.0／湖畔=縦14.1×横6.1×奥行0.6(台)縦20.9×横20.1×奥行1.5	SC-076
5	高橋 政男	冬の華	1999／平成11年	高37.0×幅51.0×奥行57.0	SC-083
6	角田 新藏	芽吹き	2007／平成19年	高41.6×幅39.8×奥行39.0	FSC-058
7	角田 新藏	流飛	2007／平成19年	高16.2×幅71.0×奥行36.0	FSC-057
8	廣田 忠美	秋明菊文角瓶	2001／平成13年	高36.4×幅16.0×奥行16.0	SC-112
9	川崎 千足	ふたまたぐも	1982／昭和57年	高116.0×幅119.0×奥行30.0	SC-015
10	安田 全宏	雲流れる	1980年代後半-90年代	高37.2×幅38.6×奥行26.0	SC-116
11	安田 全宏	冬木立	1951／昭和31年	高45.6×幅36.6×奥32.6×底径14.2	FDSC-011
12	安田 佳代	氷結の花	2002／平成14年	高51.0×幅51.6×奥行27.4	SC-114
13	清水 卯一	蓬萊東雲扁壺	c.2000／平成12年頃	高21.5×胴径21.0×口径9.3×底径9.4	SC-091
14	清水 卯一	青瓷貫入大鉢	1975／昭和50年	高15.6×口径38.4	SC-030
15	武田 浪	どびん	2002／平成14年	高21.6×幅21.8×奥行15.6	SC-108
16	小山 研一	石裂彩酒器セット	2005／平成17年	酒瓶=高13.8×幅16.0×奥行9.1／高杯=高7.7×口径7.0×底径4.5 楕円皿=高2.6×幅23.6×奥行13.6／箸置=高1.6×縦4.1×横5.5	C-119
17	加藤 敏雄	縄文の鳥	2004／平成16年	高20.0×幅67.0×奥行24.0	SC-101
18	加藤 和宏	流葉紋角皿	2003／平成15年	高9.0×幅46.0×奥行46.0	SC-099
19	谷野 明夫	黒地縞堆二彩小花紋陶筒	2017／平成29年	高6.0×縦36.5×横36.5	SC-296
20	谷野 明夫	青地堆二彩連花紋壺	1989／平成元年	高21.0×径38.0	SC-036
21	森 公男	白磁条紋二段重	2000／平成12年	高11.6×幅31.4×奥行15.4	SC-113
22	川瀬 竹秋	青白磁瓢壺	2001／平成13年	高24.5×径29.5	SC-103
23	堤 善信	大地の詩	2005／平成17年	高36.0×幅36.6×奥行34.6	SC-110
24	中野 悟朗	森の人	2005／平成17年	高48.0×幅35.5×奥行41.5	SC-111
25	河野 榮一	黙	2001／平成13年	高26.0×幅67.0×奥行26.0	SC-104
26	大原 薫	寂莫	1999／平成11年	高53.0×径31.0	FSC-023

◆信楽の伝統とともに

No.	作者名	作品名	制作年	寸法 (cm)	備考
27	大西 忠左	青釉黒線模様玉露茶器揃	c.1977／昭和52年頃	泡瓶=高8.1×幅8.3×奥行7.0×底径3.4 湯冷=高5.7×幅6.8×奥行6.5×底径3.0 茶碗=高5.0×口径5.7×底径2.7	SC-190
28	大西 忠左	自然ビードロ釉鶴首耳付花入	2000／平成12年	高44.7×胴径9.8	SC-204
29	大西 忠左	火色銚子	c.1984／昭和59年頃	高20.8×幅16.0×奥行14.6×底径8.6	SC-198
30	奥田 陶器夫	線の壺	c.1977／昭和52年頃	高30.2×胴径34.0×口径10.0×底径14.0	SC-080
31	神崎 継春	信楽緋文鉢	2015／平成27年	高12.0×口径52.5×底径16.4	SC-292
32	高橋 春斎	信楽縄文大壺	1993／平成5年	高41.0×胴径42.5	SC-021
33	高橋 春斎	信楽しのぎ大壺	1993／平成5年	高42.0×径36.0	SC-022
34	高橋 春斎	窯変丸壺	c.1997／平成9年頃	高27.7×口径12.0×胴径28.2×底径13.5	SC-220
35	高橋楽斎(五代)	信楽大壺	2019／令和元年	高38.0×口径24.4×頸径20.6×胴径41.8×底径14.4	SC-294
36	上田直方(四代)	信楽茶碗	1960年代	高10.5×口径13.0・12.0×底径6.2	SC-001
37	上田直方(四代)	信楽水指	1960年代	高20.5×口径13.0・13.0×底9.0・9.0	SC-002
38	上田直方(四代)	信楽花入	1960年代	高24.5×口径10.6・10.1×底13.5・13.0	SC-003
39	上田直方(五代)	砂金袋水指	2006／平成18年	高16.2×最大径27.9×口径11.7×底径10.7	SC-274
40	上田直方(五代)	茶碗 銘 あさひけに	1964／昭和39年	高7.8×口径12.8×12.3×底径6.7	SC-137
41	上田直方(五代)	肩衝茶入	1996／平成8年	高9.8×胴径5.8	SC-279
42	高橋楽斎(三代)	耳付花入	1927／昭和2年	高20.4×胴径19.8×口径19.5×底径10.2	SC-020
43	高橋楽斎(三代)	信楽掛花入	1940／昭和15年	高13.5×径12.3	SC-056
44	高橋楽斎(三代)	信楽蹲	1960年代	高21.3×胴径16.8×口径16.8×底径10.4	SC-057
45	奥田 英山	信楽鏝耳花入	2019／令和元年	高25.4×幅16.3×奥行11.8×口径8.9・7.9×底径10.3	SC-290
46	加藤 肇	窯変面取水指	1994／平成6年	高16.3(蓋無し16.2)×幅19.2×奥行19.4	SC-082
47	加藤 肇	窯変花入	2004／平成16年	高24.1×幅15.2×奥行13.6	SC-081
48	谷 敏隆	信楽透彫香炉	2008／平成20年	高26.0×幅28.8×奥行15.4	SC-131
49	鈴木 茂至	焼締色絵小判皿	1998／平成10年	高4.0×幅45.5×奥行38.5	FSC-021
50	神山 直彦	信楽灰釉櫛目組鉢	2019／令和元年	大鉢=高7.5×口径35.1×底径12.8／鉢=高6.2×口径20.0×底径7.3	SC-293
51	加藤 隆彦	信楽輪文茶器	1996／平成8年	高57.0×幅30.1×奥行12.4	SC-062
52	加藤 隆彦	信楽流線文茶器	2004／平成16年	高48.8×径28.4	FSC-029

◆さまざまな出会いのなかで

No.	作者名	作品名	制作年	寸法 (cm)	備考
53	平野 敏三	焼締窯変櫛目文花入	1970-1990年代	高17.9×胴径14.4×口径10.0×底径13.4×頸径3.7	SC-039
54	神山 清子	信楽自然釉蓋物	1993/平成5年	高15.0×最大径16.0	SC-174
55	三笠 茂美	古典(香炉)	2000/平成12年	高62.5×径26.0	FSC-007
56	河合 慶治	茄子形花入	2000/平成12年	高25.0×胴径20.4	SC-102
57	小林 勇超	火炎文浅鉢	2013/平成25年	高9.5×径47.0	FSC-067
58	伊藤 昭人	柿釉無文大皿	2005/平成17年	高9.5×径56.0	SC-097
59	廣川 みのり	色絵蓋物セット	2004/平成16年	大=高26.0×径20.0/中=高12.0×幅15.0×奥行13.4 小=高17.8×径12.4	C-114
60	宮本 ルリ子	ネガイ カナエ タヌキ	2007/平成19年	高58.2×幅50.7×奥行40.4	SC-125
61	笹山 忠保	片屋根のかたち	1986/昭和61年	高41.0×幅61.0	SC-019
62	広川 純	鍋セット	2004/平成16年	高17.4×径36.0/高17.0×径22.0/高12.0×径26.5	C-113
63	織田 阿奴	陶篭レクイエム	2019/令和元年	高12.6×幅23.4×奥行23.4	SC-291
64	山田 晶	猩々緋葉紋器	2012/平成24年	高54.2×幅31.8・17.7×奥行14.2	FSC-065
65	長澤 和仁	KIOKU	2014/平成26年	大=高118.0×径116.0/小=高68.0×径52.5	FSC-071
66	梶 な子	シリーズ:地にふれる 2006-7 鳥の方向	2006/平成18年	高40.0×幅180.0×奥行30.0	FSC-056
67	青木 孝	Composition	2005/平成17年	最大高10.0、最大幅4.7、最大奥行5.4(インステレーション)	SC-288

◆特設展示「近江の陶窯」

No.	窯・産地名	作品名	制作年代	寸法 (cm)	備考
68	信楽焼	大壺 銘「井伊」	15C/室町時代	高37.0×口径17.1×胴径30.8×底径14.4	SO-130
69	信楽焼	四耳付腰白茶壺	19C前半/江戸時代	高36.5×口径11.2×胴径30.0×底径16.6	SO-237
70	信楽焼	青麤焼酎瓶	19C-20C/ 江戸時代-明治時代	高48.4×口径13.5×胴径32.2×底径14.4	SO-263
71	信楽焼	花立て	19C前半/江戸時代	銅青磁大=高12.8×口径7.5×頸径6.4・3.2×胴径6.1×底径5.1 銅青磁小=高10.2×口径6.3×頸径5.2・2.6×胴径5.1×底径4.4 白萩釉=高10.5×口径6.0×頸径6.0・3.1×胴径5.0×底径4.1 黒釉=高10.2×口径7.8×頸径6.0・3.0×胴径5.8×底径4.2	個人蔵
72	信楽焼	山水土瓶	19C/ 江戸時代-明治時代	高13.6(把手付20.0)×口径9.3×幅19.3×奥15.3×底径8.3	個人蔵
73	湖南焼・永楽保全	金欄手内染付雲鶴文鉢	19C後半/江戸時代	高9.1×口径12.2×底径4.7	SO-102
74	河濱焼・永楽保全	白釉片口鉢	19C後半/江戸時代	高8.6×胴径8.6×口径8.4×底径5.3	SO-079
75	三井御浜焼・永楽保全	色絵桜花文楊枝置	19C後半/江戸時代	高3.1×幅8.9×奥行6.3	SO-119
76	膳所焼・国分窯	鉄釉茄子形香合	18C前半/江戸時代	高4.5×幅6.1×奥行3.1	SO-105
77	復興膳所焼(陽炎園)	壺花瓶	20C前半/ 大正時代-昭和時代	高20.3×口径9.6×胴径22.3×底径13.5	SC-281
78	梅林焼	三彩薬味入	18C後半-19C前半/ 江戸時代	高8.8×幅19.6×奥行17.6	SO-113
79	栗津焼	交趾釉手付扇形皿	18C後半-19C前半/ 江戸時代	高17.8×幅35.3×奥行19.8	SO-281
80	石山焼	楽水指	19C前半/江戸時代	高15.8×胴径21.4×口径15.2×底径12.5	SO-074
81	瀬田(門平)焼	鉄絵近江八景文蜆形蓋物	19C後半-20C前半/ 明治時代-昭和時代	高6.0(蓋なし2.1)×幅23.2×奥行22.2	SO-087
82	姥餅焼	黄釉布目菊押印文小皿	19C前半/江戸時代	高1.8×径13.0	SO-038
83	小富士焼	三上山絵德利	20C前半/ 明治時代-大正時代	高14.3×胴径8.0×口径2.8×底径4.4	SO-173
84	湖東焼	染付楼閣山水図水注	19C前半/江戸時代	高19.3×幅25.5×奥行14.0	SO-005
85	湖東焼・自然齋絵付	赤絵金彩山水図香炉/ 画帳 山水図	19C前半/江戸時代 画帳=1868/明治元年	高21.5×幅24.0×奥行18.5 画帳=縦24.3×横34.3×厚3.2	SO-024/ SO-283
86	圓山湖東焼	染付月に梅図鉢	19C後半/明治時代初期	高7.1×幅14.8×奥行15.4×底径6.0	SO-296
87	長浜湖東焼	盛絵花貝紋文盃洗	19C後半/ 江戸時代-明治時代	高8.3×口径12.8×底径6.3	SO-197
88	湖東焼・山口窯	黒釉金彩松図重箱	19C後半/明治時代	高26.1×幅15.6×奥行15.6	SO-256
89	比良焼	銕絵桐文茶碗	17C後半-18C前半/ 江戸時代	高6.2×口径11.1×底径3.7	SO-093
90	杣山焼	松竹梅建水	19C前半/江戸時代	高9.7×口径13.4×14.2×底径12.6	SO-103
91	通庵焼	手付一重切花生	18C/江戸時代	高20.9×口径5.8×底径5.5	SO-121
92	臨湖焼	色絵白髻神社絵茶碗	19C前半/江戸時代	高7.6×幅13.7×奥行12.6×底径4.5	SO-122
93	唐崎焼	染付老松図共蓋芋頭水指	19C前半/江戸時代	高14.2×胴径17.0×口径11.4×底径10.2	SO-117
94	石部焼	染付風月居詩文四方皿	19C前半/江戸時代	高4.7×幅22.2×奥行20.0×底径10.8	SO-118
95	下田焼	鉄絵染付松に月図蓋付鉢	19C-20C/明治時代- 昭和時代初期	高10.5×口径19.3×底径9.1	SO-291
96	八田焼	鉄絵梅花文德利	20C前半/ 大正時代-昭和時代	高24.5×口径4.5×4.0×胴径8.5×底径8.5	SO-231
97	水口焼・光阿	赤楽宝珠形蓋物	18C前半/江戸時代	高23.5×径20.6	SO-253

◆画像パネル

No.	権利者	画像・資料名	制作年代	寸法(cm)	管理番号
1	びわこ ビクターズビューロー	びわ湖の夕焼け びわこフォトコンテスト第12回-69	2004／平成16 年	A1(841×594mm)ノパネル	11234
2	びわこ ビクターズビューロー	冬の比良山と花畑	2011／平成23 年	A1(841×594mm)ノパネル	12514
3	びわこ ビクターズビューロー	棚田の夜明け びわこフォトコンテスト第8回-25	2000／平成12 年	A1(841×594mm)ノパネル	11093
4	びわこ ビクターズビューロー	信楽・登り窯 滋賀のええ フォト☆コンテスト2015夏	2015／平成27 年	A1(841×594mm)ノパネル	13535
5	陶芸の森	近江の陶窯地図	2011／平成23 年	A0(84.1×118.9mm)ノパネル	

■アンケート集計結果

入 館 者 数	6,496人（1日平均112人）		
会 期	2020(令和2)年7月18日(土)*～9月22日(火) 58日間		
回 答 者 数	89人		
回 答 率	1 %		
性 別	男 性	46人	52%
	女 性	42人	47%
	無回答	1人	1 %
住 所	滋 賀	37人	42%
	京阪神	35人	40%
	奈良・和歌山	1人	1 %
	東 海	11人	12%
	北 陸	0人	0 %
	首都圏	1人	1 %
	関東・甲信越	0人	0 %
	中国・四国	0人	0 %
	九州・沖縄	0人	0 %
	その他（含無回答）	4人	4 %
展 覧 会 評 価	大変満足	30人	34%
	満足	32人	36%
	普通	21人	24%
	やや不満	3人	3 %
	不満	2人	2 %
	無回答	5人	1 %
再 来 館	思う	74人	83%
	思わない	10人	11%
	無回答	3人	6 %
目 的 (複数回答あり)	陶芸の森の展覧会	44人	46%
	陶芸の森のイベント	15人	17%
	町内のイベント	1人	1 %
	陶器の購入	7人	7 %
	旅行社ツアー	0人	0 %
	MIHO MUSEUM	2人	2 %
	学校行事	0人	0 %
	その他	21人	22%
	無回答	5人	5 %

陶芸の森開設30周年記念

特別展

「奇跡の土ー信楽焼をめぐる三つの景色」

趣 旨 やきものには、窯で焼成する際の土と炎の作用により、素地の色や風合いが変化する「窯変（ようへん）」が現れます。なかでも薪窯焼成がつくりだす焼締陶器ならではの窯変は、日本人独特の感性によって「景色」と呼ばれ、愛好者たちの鑑賞的となってきました。

独特の窯変が得られる信楽の土は、他に類をみない「奇跡の土」といわれています。信楽地域の古琵琶湖層群からとれる花崗岩由来の白土は長石や石英を多量に含み、コシが強く焼成するとざっくりとした質感と温かみのある色合いが生まれます。現在、信楽では様々な技法が用いられていますが、釉薬を施さない中世以来の「焼締陶器（やきしめとうき）」は、最も信楽の土の魅力を示すやきものといえるでしょう。

陶芸の森では信楽焼を様々な角度から紹介してきましたが、開設30周年を記念する特別展となる本展では、改めて三つの景色から焼締陶器を展覧しました。一つ目の景色では、歴史と風土に育まれながら中世からつくり続けてきた、信楽・瀬戸・常滑・越前・備前・丹波の「日本六古窯」に注目。二つ目の景色からは信楽の焼締陶器とアメリカとの交流史、そして三つ目は新たな焼締めを信楽で探究している現代作家を取り上げました。

本展は、「奇跡の土」に注目することで信楽焼の魅力を再発見する機会となりました。

展示構成 作品点数 90点

第1の景色「日本六古窯と信楽焼の景色」

瀬戸・常滑・越前・備前・丹波・信楽の土の特質と歴史に注目しながら、中世から近世初頭にかけての壺、甕、茶陶などの名品を紹介

第2の景色「信楽焼とアメリカ陶芸」

アメリカの主要美術館所蔵の古信楽（写真パネルによる紹介）/信楽焼を通じた日本とアメリカ作家の交流／陶芸の森創作研修館で薪窯制作したアメリカ作家

第3の景色「信楽・焼締めの今」

焼締作品を制作する信楽作家の現在、「これから」を展望

会 期 令和2年10月3日(土)～12月13日(日)
休館日：毎週月曜日（11月23日（月・祝）は開館、翌24日(火)振替休館）

主 催 滋賀県立陶芸の森、京都新聞



後 援 滋賀県教育委員会、甲賀市、NHK大津放送局

助 成 一般財団法人 地域創造

観 覧 料 一般 700円（560円）／高大生 520円（420円）／中学生以下無料

*（ ）内は20人以上の団体料金

入館者数 8,464人（一日平均 137人）

展覧会図録 『奇跡の土-信楽焼をめぐる三つの景色』

〔サイズ〕 タテ22cm×18.5cm×厚0.9cm

〔内 容〕 全出品作品～図版

論考／日本六古窯と信楽 大槻倫子／半世紀にわたる信楽焼との縁 ルイズ・アリソン・コート／アメリカにおける信楽焼とソフト・パワー 1950-1960年代を中心に 及部奈津

資料／甲賀市の地質図

関連行事 (1)ギャラリートーク

①10月25日(日)〔参加者〕30人

②11月22日(日)〔参加者〕16人

多賀町立博物館学芸員 糸本夏実（地質学）氏による
シャッフルギャラリートーク



(2)信楽焼の展覧会がアメリカの美術館で開催

滋賀県とミシガン州は、1968年から姉妹交流を続けています。この展覧会は、2022年アメリカ・ミシガン大学美術館で開催される信楽焼の展覧会Clay as Soft Power: Shigaraki Ware in Postwar America and Japan との連携プロジェクトです。

(3)4つのミュージアムが信楽焼をテーマにした連携プロジェクトを同時開催

甲賀市水口歴史民俗資料館・土山歴史民俗資料館「甲賀の茶と信楽焼のヒストリー—茶壺から汽車土瓶まで」／多賀町立博物館「地質と信楽焼」／滋賀県立陶芸の森「奇跡の土—信楽焼をめぐる三つの景色」 助成：一般財団法人地域創造

団体見学 10月1日 長浜市立南郷里小学校 84人

10月8日 湖南市立水戸小学校 60人

10月13日 稲枝西小学校 19人

10月14日 長浜市立速水小学校 46人

10月9日 近江八幡市島小学校 25人

10月20日 蒲生北小学校 66人

10月20日 能登川西小学校 35人

10月22日 城南小学校 132人

10月23日 必佐小学校 55人

10月27日 治田東小学校73人、東桜中学校 166人、金勝小学校 73人

10月28日 はいくえんものの家だいち 19人

10月30日 彦根市適応指導教室オアシス 15人

11月4日 笠縫小学校 120人

11月12日 御園小学校 100人
 11月18日 大津市立比叡平小学校 23人
 11月20日 はいくえんものの家 18人
 11月20日 守山市物部小学校 133人
 12月10日 淡交社「信楽茶陶めぐり」 11人

掲載記事・紹介番組等

(1)テレビ

10月4日 NHKニュース
 10月26日 びわ湖放送ニュース
 11月14日 びわ湖放送しらしがテレビ他

(2)新聞関係

9月11日 京都新聞 開設30周年記念 特別展「奇跡の土―信楽焼をめぐる三つの景色」
 9月25日 京都新聞 開設30周年記念 特別展「奇跡の土―信楽焼をめぐる三つの景色」
 9月29日 京都新聞 特別展「奇跡の土―信楽焼をめぐる三つの景色」窯変の美 一望
 10月3日 京都新聞 特別展「奇跡の土―信楽焼をめぐる三つの景色」奇跡の土が生む景色
 10月4日 京都新聞 特別展「奇跡の土―信楽焼をめぐる三つの景色」凡語
 11月1日 陶業時報 特別展「奇跡の土―信楽焼をめぐる三つの景色」
 11月13日 読売新聞 特別展「奇跡の土―信楽焼をめぐる三つの景色」
 12月8日 朝日新聞 「奇跡の土 信楽焼 はぐくむ」

(3)雑誌

文化芸術系定期刊行物・情報誌

『Leaf』12・1・2号併号 開設30周年記念 特別展「奇跡の土―信楽焼をめぐる三つの景色」
 『サライ』9月号「展覧会情報」特別展「奇跡の土―信楽焼をめぐる三つの景色」
 淡交社『なごみ』10月号「学芸員のおすすめの茶道具」特別展「奇跡の土」
 city magazine『マイ奈良』10月号 特別展「奇跡の土―信楽焼をめぐる三つの景色」
 『甲賀フリモ』11月号 特別展「奇跡の土―信楽焼をめぐる三つの景色」
 月刊茶道誌『遠州』12月号 特別展「奇跡の土―信楽焼をめぐる三つの景色」他
 『トマト倶楽部』12月号

(4)インターネット

インターネットミュージアム、Leaf、美術展ナビ、滋賀ガイド、Musca、あとあと、朝日新聞デジタル、個展ナビ、cafevoyage、M3PRESS-NEWS、KATYCOM、信楽町観光協会、びわこビジターズビューロー、ことしるべ、HOTEL21、美術館ナビ、観光日本、日本陶磁産業振興協会、関西文化.com、陶芸ネット、ぶらっと信楽web、ぶらり美術館、あったかファミリーウェルパートナー、美術展ナビon Twitter、選挙ドットコム、NEWS Collect、イベントスクランブル、陶芸の森HP、Twitter&Facebook

■アンケート集計結果

入館者数	8464人		
回答者数	94人		
回答率	1.1%		
性別	男性	42人	45%
	女性	52人	55%
	無回答	0人	0%
住所	北海道・東北	0人	0%
	関東・甲信越	0人	0%
	首都圏	3人	4%
	北陸	0人	0%
	東海	4人	5%
	滋賀県	39人	46%
	京阪神	33人	39%
	奈良・和歌山	5人	6%
	中国	0人	0%
	四国	0人	0%
	九州・沖縄	0人	0%
	無回答	1人	1%
展覧会評価	大変満足	35人	37%
	満足	39人	41%
	普通	13人	14%
	やや不満	2人	2%
	不満	2人	2%
	無回答	3人	3%
再来館したいと 思いますか	思う	82人	87%
	思わない	7人	7%
	無回答	5人	5%
信楽に来た目的 (複数回答あり)	陶芸の森の展覧会	65人	60%
	陶芸の森のイベント	5人	5%
	町内のイベント	0人	0%
	陶器の購入	13人	12%
	旅行社ツアー	0人	0%
	MIHO MUSEUM	4人	4%
	学校行事	3人	3%
	その他	19人	17%
	無回答	0人	0%

■作品リスト

◆第一の景色 六古窯と信楽焼

章立て	作品番号	地域・作者名	作品名	制作年	サイズ(cm)	所蔵
◆信楽 Shigaraki						
1章	1	信楽	大壺	室町時代	高(H)48.5×口径(MD)17.0×胴径(D)42.0×底径(BD)13.5	滋賀県立陶芸の森 陶芸館
1章	2	信楽	大壺	室町時代	高(H)55.8×胴径(D)46.0×口径(MD)17.0×底径(BD)15.0	滋賀県立陶芸の森 陶芸館
1章	3	信楽	大甕	室町時代前期	高(H)49.5×口径(MD)31.5×胴径(D)48.5×底径(BD)15.7	個人蔵
1章	4	信楽	大壺	室町時代	高(H)44.8×口径(MD)16.1×胴径(D)36.6×底径(BD)15.4	個人蔵
1章	5	信楽	大壺	室町時代	高(H)50.6×口径(MD)16.7×胴径(D)42.3×底径(BD)16.7	個人蔵
1章	6	信楽	檜垣文大壺 銘 五月雨黄和田	室町時代	高(H)39.2×口径(MD)15.1×14.6×胴径(D)32.0× 底径(BD)17.1	個人蔵
1章	7	信楽	檜垣文壺	室町時代	高(H)33.3×口径(MD)12.5×胴径(D)25.5×底径(BD)14.7	滋賀県立陶芸の森 陶芸館
1章	8	信楽	蹲花入	室町時代	高(H)14.8×口径(MD)6.4×胴径(D)14.5×底径(BD)10.0	滋賀県立陶芸の森 陶芸館
1章	9	信楽	鬼桶水指 銘 紅かのこ	室町時代後期	高(H)20.2×口径(MD)24.0×底径(BD)19.6	滋賀県立陶芸の森 陶芸館
1章	10	信楽	鬼桶水指	室町時代後期	高(H)22.0×口径(MD)23.8×底径(BD)19.0	個人蔵

章立て	作品番号	地域・作者名	作品名	制作年	サイズ(cm)	所蔵
1章	11	信楽	蹲掛花入	室町時代	高(H)12.8×口径(MD)6.7×胴径(D)12.2×底径(BD)9.9	個人蔵
1章	12	信楽	胴四方掛花入	桃山時代～江戸時代初期	高(H)16.8×胴径(D)10.7×口径(MD)10.4×底径(BD)12.0	滋賀県立陶芸の森陶芸館
1章	13	信楽	茶碗	桃山時代	高(H)6.5×胴径(D)10.8	愛知県陶磁美術館(辻清明コレクション)
◆瀬戸 Seto						
1章	14	瀬戸	灰釉瓶子	鎌倉時代	高(H)33.2×口径(MD)4.4×胴径(D)19.4×底径(BD)11.1	愛知県陶磁美術館
1章	15	瀬戸	灰釉草花文四耳壺	鎌倉時代	高(H)32.7×口径(MD)11.6×胴径(D)22.8×底径(BD)11.8	愛知県陶磁美術館
1章	16	瀬戸	灰釉印花文水注	鎌倉時代後期	高(H)18.8×胴径(D)13.8×口径(MD)7.1×底径(BD)9.8	愛知県陶磁美術館
1章	17	瀬戸	鉄釉天目茶碗	室町時代前期	高(H)6.7×口径(MD)12.0×底径3.8	愛知県陶磁美術館
1章	18	瀬戸	鉄釉肩衝茶入	室町時代	高(H)5.7×口径(MD)3.2×胴径(D)5.8×底径(BD)2.6	愛知県陶磁美術館(鈴木八郎氏寄贈)
1章	19	瀬戸	鉄釉狛犬	室町時代	高(H)20.5×幅(W)15.2×奥行(D)12.8／高(H)20.8×幅(W)9.6×奥行(D)13.8	個人蔵
1章	20	瀬戸	月山窯出土品			
1章			大鉢	16世紀中期～後期	高(H)6.0×口径(MD)29.6～29.8×底径(BD)12.6	瀬戸市
1章			耳付徳利		高(H)12.3×口径(MD)4.7×胴径(D)13.4×底径(BD)11.7	
1章			水指・建水		高(H)10.5×口径(MD)14.6×胴径(D)16.3×底径(BD)13.0	
1章			波状文水指		高(H)10.4×口径(MD)12.0×胴径(D)16.0×底径(BD)8.5	
1章			建水		高(H)12.0×口径(MD)12.0～17.0×胴径(D)13.4～15.7×底径(BD)12.5×12.9	
1章			鉄釉天目茶碗		高(H)6.0×口径(MD)11.5×底径(BD)4.1	
◆常滑 Tokoname						
1章	21	常滑	猫がき文大甕	12世紀後期	高(H)60.0×口径(MD)36.0×胴径(D)59.0×底径(BD)14.0	とこなめ陶の森
1章	22	常滑	三筋壺	12世紀	高(H)24.6×口径(MD)10.6×胴径(D)17.8×底径(BD)8.0	とこなめ陶の森
1章	23	常滑	凸帯長頸壺	12世紀後期	高(H)22.0×口径(MD)8.3×胴径(D)15.0×底径(BD)10.0	とこなめ陶の森
1章	24	常滑	小甕	鎌倉時代	高(H)19.9×口径(MD)16.7×胴径(D)23.7×底径(BD)14.0	愛知県陶磁美術館
1章	25	常滑	小壺	12世紀末	高(H)11.8×口径(MD)6.3×底径(BD)10.7	個人蔵
1章	26	常滑	緒桶水指	16世紀後期	高(H)17.5×口径(MD)19.3×胴径(D)19.0×24.0×底径(BD)17.0	とこなめ陶の森
◆越前 Echizen						
1章	27	越前	片口小壺	南北朝時代	高(H)13.0×口径(MD)7.2×胴径(D)12.0×底径(BD)9.4	福井県陶芸館
1章	28	越前	三筋壺	平安時代	高(H)25.3×口径(MD)11.9×胴径(D)20.4×底径(BD)8.8	越前古窯博物館 福井市花堂出土 国登録有形文化財
1章	29	越前	大壺	室町時代	高(H)64.0×口径(MD)20.3×胴径(D)52.0×底径(BD)18.0	越前古窯博物館 国登録有形文化財
1章	30	越前	双耳壺	室町時代	高(H)40.3×口径(MD)17.0×胴径(D)34.7×底径(BD)16.1	福井県陶芸館
1章	31	越前	大甕	室町時代	高(H)56.5×口径(MD)30.2×胴径(D)49.2×底径(BD)20.4	福井県陶芸館
◆備前 Bizen						
1章	32	備前	櫛目鋸歯文壺	鎌倉時代	高(H)51.1×口径(MD)18×胴径(D)37×底径(BD)19.6	愛知県陶磁美術館
1章	33	備前	四耳壺	室町時代	高(H)67×口径(MD)19.5×胴径(D)48.8×底径(BD)27.5	愛知県陶磁美術館
1章	34	備前	櫛目波状文壺	室町時代	高(H)54.2×口径(MD)17.4×胴径(D)35.6×底径(BD)21.5	愛知県陶磁美術館
1章	35	備前	大甕	室町時代	高(H)91.4×口径(MD)57.2×胴径(D)70.7×底径(BD)36.4	愛知県陶磁美術館
1章	36	備前	矢筈口耳付水指	桃山時代	高(H)18.5～19×口径(MD)16～17×底径(BD)17～17.7	愛知県陶磁美術館
1章	37	備前	緋襷建水	16世紀	高(H)6.9×口径(MD)16.6×14.2×胴径(D)20.5×18.7×底径(BD)10.2	個人蔵
◆丹波 Tamba						
1章	38	丹波	縄簾文大壺	室町時代中期	高(H)45.4×口径(MD)14.1×胴径(D)38.7×底径(BD)15.0	兵庫陶芸美術館 田中寛コレクション
1章	39	丹波	大壺 銘 布引	室町時代	高(H)40.3×口径(MD)12.4×胴径(D)29.2×底径(BD)16.4	兵庫陶芸美術館 田中寛コレクション 兵庫県指定有形文化財
1章	40	丹波	大壺	室町時代	高(H)44.2×口径(MD)14.5×15.0×胴径(D)37.0×底径(BD)15.5	個人蔵
1章	41	丹波	大壺	室町時代中期	高(H)44.3×口径(MD)12.3×胴径(D)29.6×底径(BD)18.0	兵庫陶芸美術館 田中寛コレクション 兵庫県指定有形文化財
1章	42	丹波	焼締耳付花入	桃山時代	高(H)22.5	兵庫陶芸美術館
1章	43	丹波	桶形水指	桃山時代	高(H)16.2	兵庫陶芸美術館 田中寛コレクション 兵庫県指定有形文化財

◆第二の景色 信楽とアメリカ陶芸

◎アメリカ美術館の信楽焼コレクション

章立て	作品番号	地域・作者名	作品名	制作年	サイズ / size(cm)	所蔵
◆メトロポリタン美術館 (写真パネル展示)						
2章	44	信楽	信楽大壺	室町時代	高(H)46.7×胴径(D)39.4	メトロポリタン美術館
2章	45	信楽	鬼桶水指	室町時代	高(H)23.5	メトロポリタン美術館
2章	46	信楽	茶入	江戸時代	高(H)9.8×胴径(D)7.9	メトロポリタン美術館
◆スミソニアン協会フリーア美術館 (写真パネル展示)						
2章	47	信楽	大壺	室町時代	高(H)47.0×胴径(D)36.8	国立スミソニアン協会、フリーア美術館
2章	48	信楽	旅枕花入	江戸時代前期	高(H)15×胴径(D)9.2	国立スミソニアン協会、フリーア美術館
◆ブルックリン美術館 (写真パネル展示)						
2章	49	信楽	大壺	鎌倉時代	高(H)50.8×胴径(D)40.6	ブルックリン美術館
2章	50	信楽	水指	江戸時代前期	高(H)15.2×胴径(D)16.5	ブルックリン美術館
2章	51	資料1			N/A	
◆ミシガン大学美術館 (写真パネル展示)						
2章	52	信楽	大壺	16世紀後期～17世紀前期	高(H)44.7×胴径(D)30.96×30.96	ミシガン大学美術館
◆ロサンゼルス・カウンティ美術館 (写真パネル展示)						
2章	53	信楽	大壺	室町時代	高(H)47.0	ロサンゼルス・カウンティ美術館
◆デトロイト・インスティテュート・オブ・アート (写真パネル展示)						
2章	54	信楽	大壺	室町時代	高(H)47×胴径(D)38.1	デトロイト・インスティテュート・オブ・アート
2章	55	信楽	水指	16世紀	高(H)15.9×幅(W)15.2×奥行(D)15.4	デトロイト・インスティテュート・オブ・アート
◆ボストン美術館 (写真パネル展示)						
2章	56	信楽	蹲壺	室町時代	高(H)20.6×胴径(D)16.5	ボストン美術館 モースコレクション
◆クリーブランド美術館 (写真パネル展示)						
2章	57	信楽	大壺	室町時代	高(H)42.0×幅(W)45.7x奥行(D)39	クリーブランド美術館
2章	58	信楽	茶碗	江戸時代前期	高(H)9.0×胴径(D)11.2	クリーブランド美術館

◎アメリカ陶芸との交流

章立て	作品番号	地域・作者名	作品名	制作年	サイズ / size(cm)	所蔵
2章	59	ピーター・ヴォーコス	アイスバケット	平成8	高(H)37.0×口径(MD)44.0	滋賀県立陶芸の森陶芸館
2章	60	ケネス・プライス	カップ	昭和31	高(H)36.0×口径(MD)15.0×底径(BD)11.0	滋賀県立陶芸の森陶芸館
2章	61	神山 易久	SLICE OF EARTH	平成12	高(H)49.6×胴径(D)49.8×底径(BD)12.2	滋賀県立陶芸の森陶芸館
2章	62	大谷 司朗	壺	昭和59	高(H)36.6×口径(MD)10.5×胴径(D)35.6×底径(BD)15	個人蔵
2章	63	大谷 司朗	アメリカRAKU 壺	平成6	高(H)23.4×口径(MD)6×胴径(D)18.4×底径(BD)9	個人蔵
2章	64	ガーリー・モーラ	蹲	平成6	高(H)64.0×幅(W)31.0×奥行(D)46.0	滋賀県立陶芸の森陶芸館
2章	65	ガーリー・モーラ	渦	令和2	高(H)57×胴径(D)36	個人蔵
2章	66	ロブ・バーナード	壺		高(H)34.6×口径(MD)10×胴径(D)33.6×底径(BD)15	個人蔵
2章	67	ロブ・バーナード	皿		高(H)4.5×径44.8×底径(BD)26.5	個人蔵
2章	68	ピーター・ヴォーコス	茶碗	平成8	高(H)9.3×口径(MD)11.5～15×胴径(D)12.8～14×底径(BD)10.5～11.2	個人蔵
2章	69	ピーター・ヴォーコス	茶碗	平成7	高(H)11.2×口径(MD)14.5×胴径(D)16.4×底径(BD)17	個人蔵
2章	70	トシコ・タカエツ	壺	平成6	高(H)16×口径(MD)0.2×胴径(D)12.4×底径(BD)5.5	個人蔵
2章	71	ジャック・トロイ	陶の角笛	平成11	高(H)68×胴径(D)33.0×底径(BD)27.0	滋賀県立陶芸の森陶芸館
2章	72	ケン・ファーガソン	信楽手うさぎのバスケット	平成6	高(H)51.0×胴径(D)40.0×底径(BD)37.0	滋賀県立陶芸の森陶芸館

◆第三の景色 信楽・焼き締めは今

◎土・炎の探求

章立て	作品番号	地域・作者名	作品名	制作年	Size(cm)	所蔵
3章	73	篠原 希	窯変蹲壺	左=平成28 中央=平成29 右=令和2	左=高(H)21.3×口径(MD)8.2×胴径(D)17.4×底径(BD)14.3 中央=高(H)22.4×口径(MD)8.9×胴径(D)18.9×底径(BD)14.5 右=高(H)19.5×口径(MD)8.3×胴径(D)16.6×底径(BD)12.7	個人蔵
3章	74	澤 清嗣	破れ器	令和2	高(H)36.6×幅(W)27.1×奥行(D)26.0×底径(BD)11.4	個人蔵
3章	75	澤 克典	信楽五段重	令和2	高(H)34.5×幅(W)17.2×奥行(D)17.2	個人蔵
3章	76	古谷 和也	信楽混成壺	令和元	高(H)37.0×口径(MD)9.8×胴径(D)35.2×底径(BD)12.2	個人蔵
3章	77	迫 能弘	炭化たたき壺	令和2	高(H)27.7×口径(MD)13.8×胴径(D)28.4×底径(BD)11.0	個人蔵
3章	78	保井 可愛	信楽壺	令和2	高(H)34.0×口径(MD)13.0×胴径(D)33.0×底径(BD)14.8	個人蔵
3章	79	神崎秀策	緋彩長方皿「耀光」	平成30	高(H)9.5×幅(W)62.3×奥行(D)32.2(底18.4・10.8)	個人蔵

◎造形の美

章立て	作品番号	地域・作者名	作品名	制作年	Size(cm)	所蔵
3章	80	杉本 佑	信楽花器〈尖〉	令和元	高(H)34.5×幅(W)56.3×奥行(D)42.6(底14.9・14.0)	個人蔵
3章	81	飯山 園子	炭化線紋鉢	令和2	高(H)45.2×口径(MD)36.8×底径(BD)13.4	個人蔵
3章	82	荒川 智	信楽緑釉しのぎ器	平成28	高(H)26.0×口径(MD)50.6×底径(BD)10.0	個人蔵
3章	83	小牧鉄平	穴窯線文手付壺	令和元	高(H)18.8×口径(MD)5.3×幅(W)11.8×奥行(D)11.3×底径(BD)4.9	個人蔵
3章	84	高橋 美子	輪花口花入	令和2	高(H)23.5×口径(MD)13.3×頸径5.5×胴径(D)13.8×底径(BD)6.6	個人蔵

◎空間とイメージ

章立て	作品番号	地域・作者名	作品名	制作年	Size(cm)	所蔵
3章	85	古谷 道生	極北	平成4	高(H)39.0×径(D)42.2／高(H)31.0×径(D)32.4／高(H)31.0×径(D)32.0／高(H)30.0×径(D)31.8／高(H)23.5×径(D)26.8／高(H)13.3×径(D)14.3／高(H)12.6×径(D)12.7／高(H)12.8×径(D)12.5／高(H)10.9×径(D)10.8／高(H)11.0×径(D)11.8／高(H)8.8×径(D)10.3	滋賀県立陶芸の森陶芸館
3章	86	奥田 博土	時空	平成30	高(H)75.3×幅(W)60.0×奥行(D)34.2	個人蔵
3章	87	藤本 秀	ツインタワー	平成12	高(H)48.0×幅(W)17.0×奥行(D)18.0／高(H)44.5×幅(W)16.0×奥行(D)18.0	滋賀県立陶芸の森陶芸館
3章	88	上田直方 (六代)	信楽皆具	平成31	水指(Freshwater container)=高(H)20.1(蓋無17.3)×口径(MD)16.0／勺立(landle stand)=高(H)18.3×胴径(D)10.0／建水(waste-water receptacle)=高(H)14.0×口径(MD)14.0／蓋置(Lid rest)=高(H)5.6×胴径(D)6.8	個人蔵
3章	89	谷 穹	口口ー口口(うつろ)	令和元	高(H)65.0×口径(MD)15.2×胴径(D)46.2×底径(BD)15.8	個人蔵

特別展

「神業ニッポン 明治のやきもの —幻の横浜焼・東京焼—」

趣 旨 近年、世界的にも熱い視線を集める日本の美術工芸。明治時代の幕開けとともに数多く輸出された日本の陶磁器は、卓越した職人技による豪華絢爛な装飾で欧米の万国博覧会において高く評価されました。1859年の開港以降、横浜港が主要な輸出地だったこともあり、横浜・東京には国内の各地から500を超える陶磁関係の業者が集まって活動を成し、陶磁器産業の中心地になります。全国の陶産地から素地を取り寄せ、輸出向けの優美で精緻を極めた絵付けや装飾を凝らした「横浜焼・東京焼」が誕生しました。輸出品という性格上、「横浜焼・東京焼」が国内に残ることは稀で、「幻の陶磁器」といわれています。

本展では、国内随一のコレクターである田邊哲人氏所蔵の里帰り作品を中心に、国内に現存する明治のやきもの優品約140点を一堂に紹介しました。横浜焼・東京焼を代表する宮川香山や井上良斎の作品をはじめ、超絶技巧で知られる「職人技」の魅力に迫りました。



展示構成 序章「～横浜開港～「大日本」世界へ発信」
第Ⅰ章「～万国博覧会デビュー～ 東京錦窯の誕生」
第Ⅱ章「～宮川香山と井村彦次郎～ 横浜焼・横浜絵付のはじまり」
第Ⅲ章「～輸出陶磁器の隆盛～東京焼・東京絵付の精華」
第Ⅳ章「～驚異の横浜絵付～陶磁器商、陶磁画工の台頭」



作品点数 約140点

会 期 令和3年3月20日（土・祝）～3月31日（日） 10日間 ※次年度への継続事業
〔休館日〕月曜日

観 覧 料 一般／700円（560円）、高大生／520円（420円） *中学生以下無料
（ ）内は、20人以上の団体料金

入場者数 764人（一日平均 76人）

展覧会図録 『神業ニッポン展 明治のやきもの 幻の横浜焼・東京焼』

〔サイズ〕 B5版（横開き） 205頁

〔内 容〕 ごあいさつ／目次／文章：「幻の横浜焼・東京焼」展によせて（田邊哲人）／ようこそ、明治陶芸のワンダーランドへ—魅惑の横浜焼・東京焼—（荒川正明）／カラー図版と作品解説／横浜・東京の陶磁関係者分布地図／横浜焼・東京焼を中心とした相関図—国内の主要陶磁産地との関わりについて／東京、横浜の陶磁関係者一覧／関連年表／主要参考文献／作品リスト

関連行事 (1)期間限定メニュー「芝生で奇想の和洋BENTOピクニック」
特別展「幻の横浜焼・東京焼」に出品されている和洋折衷の作品をイメージした期間限定「奇想の和洋BENTO」を販売しました。（3月20日～）

〔場所〕 陶芸の森 信楽産業展示館内

ブラウン・ライス&ウォーター

※期間限定メニューを注文された方には、
展示割引券（2割）を進呈

(2)展覧会出品作品の見どころを陶芸館のInstagramで紹介
陶芸の森陶芸館のInstagramを開始（3月25日～）



掲載記事・紹介番組等

(1)テレビ・ラジオ

3月6日 びわ湖放送 しらしがインフォメーション

3月23日 びわ湖放送 滋賀色

(2)新聞関係

1月17日 日経新聞「万国博覧会と美術（2）新時代の心意気映す超絶の技」

2月23日、3月20日、3月28日 京都新聞 社告

3月5日 読売新聞 朝刊 ギャラリー欄

3月15日 日本教育新聞 情報掲示板／イベント欄

3月16日 朝日新聞 夕刊

3月17日 京都新聞「神業ニッポン 明治のやきもの—幻の横浜焼・東京焼—／超絶 幻の意匠」

3月20日 京都新聞 社会プラス「魅力満載 明治期の焼物」

3月27日 産経新聞 地域／まち案内欄

(3)インターネット

ウェブ美術手帳、インターネットミュージアム、京都cfl、アート&イベントサイト〔ことしるべ〕（京都新聞）、Musca（（株）ビーシャープ）、イベントスクランブル、IDENTITY、トレミー、ビズハック！、朝日新聞デジタル&M、毎日新聞、@Press、LINEニュース、えんうち、ニコニコニュース、Artscape、おでかけMOA、におねっと、信楽町観光協会、ぶらっと信楽web、信楽陶燐会HP、関西文化.com、個展ナビ、彩里陶材、陶芸ZANMAI、Street Art Navi、CAFE Voyage、陶業時報、@nifty ビジネス、Ba-ter.News、BIGLOBEニュース、bizocan※、BREAK TIME NEWS、Business Times、Catch Our News、Dokka お出かけ探検、DIGINEWS、Django、Every Life、Excelletor、excite.ニュース、GOOD LUCK NEWS、Increment Timeline、Infoseekニュース、Jungle!、News Create、Ordinal、REGUTAR、rentaloffice.bz、SankeiBiz、SANSPO.COM、SEOTOOLS、Skylish News、StartHome、Tommorow with you、WAKUWAKU POST、You Know News、zakzak、いっしょのニュース、おたにゅー！、とれまがニュース、インディー、オイシール、クイックオーダー、コミュニティ・ポスト、トラベロ、ニュース・アニマルズ、フーード！！！！、

プリモ、ロイター .co.jp、徳島新聞Web、東京ビューティー、財經新聞、Culture Post、全国イベントガイド、今見られる全国お勧め展覧会100、チラシミュージアム (e+)

(4)雑誌

『和楽』 4・5・6月号「まだまだあります！全国必見展覧会」

京都新聞読者情報誌『きらっと京滋』 4月号Artscene「神業ニッポン 明治のやきもの—幻の横浜焼東京焼—／世界に羽ばたいた日本の技巧」

湖国文化情報誌『れいかる』 4・5・6月号「ズームアップ」

『新美術新聞』 展覧会カレンダー

■作品リスト

Cat. no.	作品名	作品英字	作者名・販売店	作者英字	銘 (記述なしは高台内)	所 蔵	制作年	サイズ(cm) 高×口径×胴径 (幅)×底径
序章「～横浜開港～「大日本」世界へ発信」								
1	高浮彫牡丹・眠猫 覚醒大香炉	Incense burner	宮川香山	Miyagawa Kozan	「眞葛香山造」	田邊哲人コレクション (横浜美術館寄託)	明治時代 前期	29.7×14.5×22.7× 14.1
2	色絵木菟文足付花瓶	Vase	井村彦次郎 絵付:瓢池園	Imura Hikojiro Hyochien	「明治十二年十二月大日本横濱應 井村君需 東京瓢池園製」	田邊哲人コレクション	1879 (明治12)年	34.7×10.0×19.8× 11.6
3	色絵菊花文耳付花瓶	Vase	田代屋	Tashiroya	「田代」	田邊哲人コレクション		45.6×5.0×15.3× 12.2
4	高浮彫雲龍花瓶	Vase	井上良斎	Inoue Ryosai	「井上良斎」	田邊哲人コレクション		45.0×15.5×26.3× 14.5
5	色絵烏瓜文耳付花瓶 (対)	Pair of vases	瓢池園	Hyochien	「第五十二番 日本東京瓢池園製」	田邊哲人コレクション		各 30.8×13.0× 16.3×9.7
6	色絵龍宮乙姫文鉢	Bowl	成瀬誠志	Naruse Seishi	「陶博園」(高台内)、「陶博園」(見込み)	田邊哲人コレクション		高5.2×径14.3
7	色絵楼閣山水文蓋物 (対)	Pair of lidded jars	成瀬誠志	Naruse Seishi	「大日本東京陶博園成瀬」 「成瀬」	田邊哲人コレクション		各 総高10.3×最大 径8.7×底径3.6
9	色絵天狗文花瓶	vase	濤川惣助 素地:初代川本 樹吉	Namikawa Sosuke Kawamoto Masukichi I	「川本樹吉製 日本東京 ⑤濤川製」	田邊哲人コレクション		38.7×10.8×17.3× 11.6
10	色絵鉄線蝶文花瓶 (対)	Pair of vases	滝藤萬次郎	Takito Manjiro	「大日本 龍藤製」	田邊哲人コレクション		各 37.2×15.7× 25.5×13.0
11	色絵鷺文手付瓶	Vase	錦光山宗兵衛	Kinkozan Sobei	「錦光山造」	田邊哲人コレクション		41.7×10.2×19.1× 9.4
12	色絵人物花鳥文大 花瓶(対)	Pair of vases	酢屋久平 絵付:山田久録	Suya Kyuhei Yamada Kyuroku	「加賀國 酢庵製 山田 画」	田邊哲人コレクション		各 61.7×28.8× 35.5×18.7
13	色絵花鳥文輪花長皿	Large dish	帶山与兵衛	Taizan Yohei	「大日本 帶山製」「帶 山」	田邊哲人コレクション		高6.4× 径(26.7×65.1)
14	色絵花鳥文碗	Bowl	藪明山	Yabu Meizan	明山	田邊哲人コレクション		高7.2×口径12.3× 底径5.7
第I章「～万国博覧会デビュー～ 東京錦窯の誕生」								
16	染付金彩秋草文碗・皿	Cup and saucer	素地:加藤繁十 絵付:東京錦窯	Kato Shigezyu Tokyo Kingama	碗:「東京錦窯 百廿三号」、 皿:「大日本瀬戸 加藤繁十製」	田邊哲人コレクション	1873 (明治6)年頃	碗:高6.0×口径5.7× 最大径8.0×底径3.2 皿:高1.9×径10.0
17	色絵新羅三郎文花瓶	Vase	東京錦窯 絵付:晴圃	Tokyo Kingama Seiho	「東京錦窯 晴圃画」「明 治七年 十一月印之 三百六十一号」	田邊哲人コレクション	1874 (明治7)年	35.2×11.0×14.4× 6.9
18	色絵曲水の宴文花瓶	Vase	東京錦窯 絵付:小林南圃	Tokyo Kingama Kobayashi Nanpo	「東京錦窯 小林南圃画」 「百六十四号」	田邊哲人コレクション	1873 (明治6)年頃	37.2×14.2×17.6× 12.0
19	色絵武者文耳付大 花瓶	Vase	陶々舎	Totosha	「東京 陶々舎画」	田邊哲人コレクション		53.1×19.7×21.4× 18.5
20	色絵武者文耳付花瓶	Vase	東京錦窯 絵付:松本芳延	Tokyo Kingama Matsumoto Yoshinobu	「東京錦窯 芳延画」 「六十八号」	田邊哲人コレクション	1873 (明治6)年頃	38.1×13.6×16.0× 11.9
21	色絵人物文六角花瓶	Hexagonal vase	松本芳延	Matsumoto Yoshinobu	「大日本東京 芳延画」	田邊哲人コレクション		29.5×6.1×17.2× 底径(11.8×10.5)
22	鍾馗像	Shouki	松本芳延	Matsumoto Yoshinobu	「日本東京 芳延画作」	田邊哲人コレクション		高22.5×幅16.5× 奥行15.3
23	色絵花鳥文皿	Dish	瓢池園 素地:山口幸太郎 絵付:山本琴嶺	Hyochien	「東京 瓢池園製」 「山幸」「琴嶺」	田邊哲人コレクション		各 高3.0×径21.4

Cat. no.	作品名	作品英字	作者名・販売店	作者英字	銘 (記述なしは高台内)	所 蔵	制作年	サイズ(cm) 高×口径×胴径 (幅)×底径
24	色絵茸採取文皿	Dish	素地・芳国社 絵付・瓢池園	Hokokusha Hyochien	「椿堂迂史寫」 「瓢池園画 芳国社製」	田邊哲人コレクション		高3.5×径24.7
25	色絵花鳥文陶板	Tile	瓢池園	Hyochien	「日本 瓢池園画」 「百十九」	田邊哲人コレクション		各 厚0.6×縦11.8× 横8.2
26	色絵紅葉山水 文耳付花瓶	Vase	素地・深海墨之助 (年木庵喜三) 絵付・瓢池園	Fukaumi Suminosuke (Toshikian Yoshizo) Hyochien	「第三百六十七号 日本東京 瓢池園画」 「喜三製」	田邊哲人コレクション	1876 (明治9)年頃	23.9×8.9×11.7×9.0
28	釉下彩遊禽図皿	Dish	ゴットフリート・ワ グネル(旭焼)	Gottfried Wagner	「旭焼」	個人蔵		高5.0×径52.0
29	釉下彩雀文陶板	Tile	ゴットフリート・ワ グネル(旭焼)	Gottfried Wagner	「大日本東京深川區 東元町旭焼製造所 TOKYO JAPAN JU」	田邊哲人コレクション		厚1.1×縦15.1× 横15.1
第II章「～宮川香山と井村彦次郎～ 横浜焼・横浜絵付のはじまり」								
30	色絵羅漢文耳付花瓶	Vase	宮川香山	Miyagawa Kozan	「真葛香山造」	田邊哲人コレクション		37.0×13.5×16.0× 12.5
31	色絵秋草文耳付花瓶	Vase	宮川香山	Miyagawa Kozan	「真葛香山造」	田邊哲人コレクション		36.8×7.8×15.9×9.3
32	色絵武帝・西王母文 耳付花瓶(対)	Pair of vases	宮川香山	Miyagawa Kozan	「真葛香山造」	田邊哲人コレクション		各 44.0×13.0× 17.6×12.0
33	色絵亀文花瓶	Vase	宮川香山	Miyagawa Kozan	「己酉涼月葛香山長兄 藕園主人写之」 「真葛香山造」	田邊哲人コレクション		36.5×8.9×17.7× 10.7
34	色絵翡翠河骨文花瓶	Vase	宮川香山	Miyagawa Kozan	「真葛香山造」 「真葛密東湖寫」	田邊哲人コレクション		36.4×9.9×17.6× 11.7
35	色絵御簾梅鶯文花瓶	Vase	宮川香山	Miyagawa Kozan		田邊哲人コレクション		29.6×10.6×19.3× 9.5
36	高浮彫釣り花入猫図 花瓶	Vase	宮川香山	Miyagawa Kozan	「真葛密香山造」	田邊哲人コレクション		40.6×10.0×19.5× 10.8
37	色絵扇面散文碗・皿	Cups and saucers	宮川香山	Miyagawa Kozan	「真葛密香山造」	田邊哲人コレクション		各碗:6.3×6.6×8.6×3.4 各皿:高2.2×径12.0
38	色絵山水文碗・皿	Cup and saucer	宮川香山	Miyagawa Kozan	「真葛密香山造」	田邊哲人コレクション		碗:6.7×6.5×8.8×3.3 皿:高2.0×径10.4
39	高浮彫桜二群鳩大 花瓶(対)	Pair of vases	宮川香山	Miyagawa Kozan	「真葛香山造」	田邊哲人コレクション (神奈川県立歴史 博物館寄託)	明治時代 前期	各 56.5×20.2×26.0 ×20.6
40	高浮彫群禽花瓶	Vase	宮川香山	Miyagawa Kozan	「呉石 香山」「涛責」「樸 停画」	田邊哲人コレクション		45.1×12.7×28.0× 13.2
41	高浮彫桜鷺足付大 花瓶	Vase	宮川香山	Miyagawa Kozan	「真葛香山造」「玉峨画」	田邊哲人コレクション		高65.9×口径23.4× 底径41.0
42	高浮彫四窓遊蛙獅子 鈕蓋付壺(対)	Pair of lidded jars	宮川香山	Miyagawa Kozan	「真葛香山造」	田邊哲人コレクション (神奈川県立歴史 博物館寄託)	明治時代 前期	各 35.0×20.3×胴径 (26.6×26.8)×15.2
43	高浮彫長命茸採取 大花瓶	Vase	宮川香山	Miyagawa Kozan	「真葛」	田邊哲人コレクション (神奈川県立歴史 博物館寄託)	明治時代 前期	高52.3×径22.5
44	高浮彫菊花蓋付壺	Lidded jar	宮川香山	Miyagawa Kozan	「香山」「真葛」「碧峰 画」	田邊哲人コレクション		31.3×20.2×28.4× 11.4
45	高浮彫遊蛙足付花瓶	Vase	宮川香山	Miyagawa Kozan	「香山」「真葛」	田邊哲人コレクション		31.7×12.6×24.2× 9.0
46	高浮彫鴨遊泳ランプ台	Lamp stand	宮川香山	Miyagawa Kozan	「香山」「真葛」「碧峰 画」	田邊哲人コレクション (神奈川県立歴史 博物館寄託)	明治時代 前期	総高75.2×径19.5
47	高浮彫枯蓮鴨皿	Dish	宮川香山	Miyagawa Kozan	「香山」	田邊哲人コレクション		高6.1×径33.6
48	釉下彩紫陽花図花瓶	Vase	宮川香山	Miyagawa Kozan	「真葛密香山製」	田邊哲人コレクション (神奈川県立歴史 博物館寄託)	1897 (明治30)年	30.5×13.0×22.5× 10.0
49	釉下彩白盛鶏図大 花瓶	Vase	宮川香山	Miyagawa Kozan	「真葛密香山製」	田邊哲人コレクション (横浜美術館寄託)	明治時代 中期～後期	61.7×23.8×39.6× 15.5
50	窯変釉獅子耳付花瓶	Vase	宮川香山	Miyagawa Kozan	「真葛香山」	田邊哲人コレクション		34.0×28.1×54.5× 21.2
51	青磁船形花入	Boat- shaped vase	宮川香山	Miyagawa Kozan	「真葛」	田邊哲人コレクション		高14.8×口径(30.7× 7.6)×胴径(46.7×12.1) ×底径(22.4×5.3)
52	釉裏紅群鯉文水注	Jag	宮川香山	Miyagawa Kozan	「大日本香山製」	田邊哲人コレクション		高15.5×口径(3.2× 6.2)×胴幅(8.2×19.6) ×底径(4.1×7.3)
53	釉下彩白蓮文花瓶	Vase	宮川香山	Miyagawa Kozan	「真葛香山製」	田邊哲人コレクション		27.5×6.9×14.3×9.0
54	高取釉高浮彫蟹花瓶	Vase	宮川香山	Miyagawa Kozan	「真葛」	田邊哲人コレクション (神奈川県立歴史 博物館寄託)	1916 (大正5)年	33.7×40.8×36.3× 15.1

Cat. no.	作品名	作品英字	作者名・販売店	作者英字	銘 (記述なしは高台内)	所 蔵	制作年	サイズ(cm) 高×口径×胴径 (幅)×底径
55	色絵花鳥文瓢形耳付花瓶	Vase	井村彦次郎 素地:初代川本 榊吉	Imura Hikojiro Kawamoto Masukichi I	「瀬戸川本榊吉精造」 「日本横濱井村造」	田邊哲人コレクション		45.0×13.8×22.8× 15.2
56	色絵花鳥文花瓶 (対)	Pair of jar	井村彦次郎 絵付:山本祥雲	Imura Hikojiro Yamamoto Syoun	「日本横濱 井村製造」 「祥雲」	田邊哲人コレクション		各 37.0×13.5×23.9 ×12.5
57	色絵花鳥文蓋付壺 (対)	Pair of lidded jars	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「日本横濱 井村製」	田邊哲人コレクション		各 39.3×胴径25.6 ×底径10.5
58	色絵花鳥図屏風文花瓶(対)	Pair of vases	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「日本横濱 井村製」	田邊哲人コレクション		各 36.8×10.9×20.0 ×6.8
59	色絵飛雁文花瓶 (対)	Pair of vases	井村彦次郎 絵付:南畝、柳盛	Imura Hikojiro Nanpo Yanagihashi	「井村造 南畝」 「井村造 柳盛」	田邊哲人コレクション		各 31.7×口径(5.0× 7.4)×胴径(13.6×14.2) ×底径(9.2×10.2)
60	青磁色絵文房飾文耳付花瓶(対)	Pair of vases	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「大日本横濱 井村製」	田邊哲人コレクション		各 30.4×口径(8.0 ×8.0)×10.5×底径 (5.9×6.0)
61	色絵扇面散文耳付大花瓶	Vase	井村彦次郎 素地:帶山与兵衛	Imura Hikojiro Taizan Yohei	「大日本横濱 井村製釉」 「帶山」	田邊哲人コレクション		75.6×24.7×28.6× 18.5
62	色絵竹雀文花瓶	Vase	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「大日本横濱 井村造」	田邊哲人コレクション		19.4×12.1×19.2× 11.0
63	色絵花鳥文蓋付壺	Lidded jar	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「大日本横濱 井村製」	田邊哲人コレクション		総高34.5×最大径 27.0×底径15.5
64	色絵花鳥文耳付花瓶 (対)	Pair of vases	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「大日本 横濱 井村製」	田邊哲人コレクション		各 12.1×6.7×8.2× 6.3
65	色絵遊亀文耳付花瓶 (対)	Pair of bowls	井村彦次郎 素地:加藤繁十	Imura Hikojiro Kato Shigezyu	「大日本瀬戸 加藤繁十製」 「横濱 井村造」	田邊哲人コレクション		各 15.6×11.4×12.6 ×8.7
66	色絵花鳥文瓢形花瓶 (対)	Pair of vases	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「日本横濱 井村造」	田邊哲人コレクション		各 35.4×2.5×19.0× 9.6
67	色絵群鶴文花瓶 (対)	Pair of vases	井村彦次郎 絵付:伊奈月仙	Imura Hikojiro Ina Gessen	「大日本 横濱 井村製 月 仙画」	田邊哲人コレクション		各 30.0×9.7×15.9× 8.6
68	色絵花鳥文花瓶	Vase	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「日本横濱 井村造」	田邊哲人コレクション		27.9×10.5×15.8× 8.0
69	色絵鳳凰文輪花台鉢	Compote	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「日本横濱 井村製造」	田邊哲人コレクション		高13.5×口径22.5× 底径12.1
70	色絵菊花文楕円大皿	Large dish	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「日本横濱 井村造」	田邊哲人コレクション		高6.5×径(38.5× 57.3)
71	色絵菊花文碗・皿	Cups and saucers	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「大日本 井村造」	田邊哲人コレクション		各碗:高4.8×口径 9.8×底径4.1 各皿:高2.0×径13.5
72	色絵群鶴文長皿	Large dish	井村彦次郎 素地:加藤善治	Imura Hikojiro	「日本横濱 井村製」「善治」	田邊哲人コレクション		高5.5×口径(60.0× 26.2)
73	色絵花鳥文輪花台鉢	Compote	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「大日本 井村造」	田邊哲人コレクション		高6.3×口径22.5× 底径14.7
74	色絵栗鴉文皿	Dish	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「日本横濱 井村製」	田邊哲人コレクション		高1.9×径21.2
75	色絵琴棋書画文変形皿	Dish	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「日本横濱 井村製」 「DEPOSE」[4]	田邊哲人コレクション		高1.6×径22.1
76	色絵団扇文台鉢 (対)	Compotes	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「日本横濱 井村製造」	田邊哲人コレクション		各 高13.7×口径 21.9×底径9.6
77	色絵花鳥文蓋付 ソース入	Sauce boat	井村彦次郎 絵付:高山一二	Imura Hikojiro Takayama Ichiji	「日本横濱 井村製 高山画」	田邊哲人コレクション		16.2×口径(10.7×18.4) ×最大径(15.6×23.5) ×底径(9.9×14.6)
78	色絵人物文碗・皿、鉢	Cups and saucers	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「日本横濱 井村造」	田邊哲人コレクション		各碗:高6.5× 口径6.2×底径6.1 各皿:高2.4× 径(11.5×11.4) 鉢:高9.3×径(10.2×9.8)
79	色絵山水人物文陶板	Tile	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「日本横濱 井村製」	田邊哲人コレクション		縦25.7×横37.1
80	色絵花鳥文足付鉢	Footed bowl	井村彦次郎	Imura Hikojiro	「井村製 日本 横濱」	田邊哲人コレクション		高11.2×口径27.9
第Ⅲ章「～輸出陶磁器の隆盛～東京焼・東京絵付の精華」								
81	色絵人物文足付香炉	Incense burner	成瀬誠志	Naruse Seishi	「陶博園」	田邊哲人コレクション		総高22.2×最大径 14.2
82	色絵人物風景文蓋 付小壺	Jar	成瀬誠志	Naruse Seishi	「陶博園 成瀬製」	田邊哲人コレクション		総高11.7×最大径 8.7×底径5.7
83	色絵遊猿文皿	Dish	成瀬誠志	Naruse Seishi	「陶博園」	田邊哲人コレクション		高4.2×径23.6
84	色絵人物花鳥文花瓶	Vase	濤川惣助 絵付:曾我徳丸	Namikawa Sosuke Soga Tokumaru	「大日本東京① 濤川製 曾我徳丸画」	田邊哲人コレクション		37.1×12.5×20.2× 14.0
85	色絵葡萄鳥文耳付 花瓶(対)	Pair of vases	濤川惣助 絵付:酒井有山	Namikawa Sosuke Yuzan	「日本東京 濤川製 有山画」	田邊哲人コレクション		各 27.2×6.4×14.6× 11.6

Cat. no.	作品名	作品英字	作者名・販売店	作者英字	銘 (記述なしは高台内)	所 蔵	制作年	サイズ(cm) 高×口径×胴径 (幅)×底径
86	色絵人物花鳥文花瓶	Vase	濤川惣助	Namikawa Sosuke	「日本東京 濤川製」	田邊哲人コレクション		41.6×15.0×25.3×12.3
87	色絵陶磁器文花瓶	Vase	井上良斎	Inoue Ryosai	「井上良斎」	田邊哲人コレクション		44.3×14.2×25.3×13.8
88	色絵遊蛙文花瓶	Vase	井上良斎	Inoue Ryosai	「大日本東京井上良斎」	田邊哲人コレクション		26.2×11.8×15.8×9.9
89	釉下彩紫陽花文花瓶	Vase	二代井上良斎	Inoue Ryosai II	「井上良斎」	田邊哲人コレクション		37.4×16.0×22.4×14.0
90	釉下彩鯉文花瓶	Vase	二代井上良斎	Inoue Ryosai II	「井上良斎」	田邊哲人コレクション		37.7×15.5×23.5×11.8
91	色絵花鳥文蓋付壺	Lidded jar	二代井上良斎	Inoue Ryosai II	「大日本東京井上良斎」	田邊哲人コレクション		総高17.9×最大径18.8×底径11.8
92	高浮彫雲龍瓢形大花瓶	Vase	原娒山	Hara Gozan	「原娒山」	田邊哲人コレクション		61.5×13.0×29.0×22.2
93	相撲人形	Figurine	石黒香香	Ishiguro Koko	「石黒香香」「記念浅草国技館」	田邊哲人コレクション		高18.2×幅18.0×奥行11.5
94	高浮彫蟹耳付壺	Vase	石黒香香	Ishiguro Koko	「石黒香香」	田邊哲人コレクション		13.4×口径(15.0×7.2)×胴径(17.4×11.5)×底径(12.9×7.8)
95	釉下彩猫に蟠螂図花瓶	Vase	加藤友太郎	Kato Tomotaro	「友玉園 陶壽製」	岐阜県現代陶芸美術館	明治時代後期	高51.0×最大径31.0
96	釉下彩菖蒲鯉図花瓶	Vase	加藤友太郎	Kato Tomotaro	「友玉園 陶壽製」	岐阜県現代陶芸美術館	明治時代後期	高55.5×最大径30.0
97	釉下彩鯉文洗面器	Basin	加藤友太郎	Kato Tomotaro	「友玉園製」	田邊哲人コレクション		高12.8×口径(41.5×38.5)×底径(20.6×15.5)
98	釉下彩鯉文水差	Ewer	加藤友太郎	Kato Tomotaro		田邊哲人コレクション		高22.7×口径(17.7×11.5)×幅24.5×底径(11.3×9.4)
99	色絵秋草文花瓶(対)	Pair of vases	アーレンス社 素地:加藤三平	H.Ahrens & Co. Kato Sanpei	「瀬戸 加藤三平製」 「東京アーレンス社」 「十七」「二捨四」	田邊哲人コレクション		各 21.9×8.8×12.3×9.0
100	色絵雀文竹形花瓶(対)	Pair of vases	アーレンス社	H.Ahrens & Co.	「東京 アーレンス社」	田邊哲人コレクション		各 27.9×12.0×10.5×7.7
101	染付牡丹唐草文水盤	Basin	アーレンス社	H.Ahrens & Co.	「東京 アーレンス社」	田邊哲人コレクション		高11.5×口径(32.0×21.2)×底径(27.0×17.0) 四脚
102	色絵葡萄文燭台(対)	Pair of vases	素地:丹山陸郎 絵付:小花萬右衛門(一楽)	Tanzan Rikuro Obana Manemon (Ichiraku)	「東京 一楽画」「丹山」	田邊哲人コレクション		各 33.2×2.6×12.5×9.3
103	色絵花鳥文大花瓶(対)	Pair of vases	新村留藏	Niimura Tomezo	「大日本東京 新村製」	田邊哲人コレクション		各 31.0×7.8×11.6×6.9
104	色絵人物文花瓶(対)	Pair of vases	柳橋秀悦	Yanahashido	「東京芝 老与堂 柳橋造」	田邊哲人コレクション		各 15.6×6.2×7.8×6.0
105	色絵人物文耳付花瓶	Vase	柳橋秀悦	Yanahashi Hideyoshi	「柳橋秀悦造」「東京品川」「ステーションマエ」	田邊哲人コレクション		19.1×11.4×11.7×7.1
106	色絵人物文花瓶	Vase	田中	Tanaka	「大日本東京 田中製」	田邊哲人コレクション		17.0×9.1×12.4×9.1
107	色絵牡丹文花瓶	Vase	ディーキン商会 絵付:田中	Deakin Company Tanaka	「大日本東京 田中製」 「B.V.S. DEAKIN 1885」	田邊哲人コレクション	1885 (明治18)年	10.9×3.1×6.0×3.1
108	色絵枯蓮水禽文鉢	Bowl	絵付:雲晃	Uncho	「雲晃画」	田邊哲人コレクション		高4.7×口径14.1×底径5.8
109	色絵金彩獅子牡丹文皿	Dish	森村組 絵付:藤村與兵衛	Morimura-gumi Fujimura Yohei	「藤村」	株式会社ノリタケカンパニーリミテド	1884-90 (明治17-23)年	高2.3×径18.7
110	瑠璃金盛唐草文皿	Dish	森村組 絵付:杉村作太郎	Morimura-gumi Sugimura Sakutaro	「杉村」	株式会社ノリタケカンパニーリミテド	1884-90 (明治17-23)年	高2.3×径18.4
111	色絵花鳥文皿	Dish	森村組 絵付:井口昇山	Morimura-gumi Iguchi Shozan	「昇山」	株式会社ノリタケカンパニーリミテド	1884-90 (明治17-23)年	高2.3×径18.4
112	色絵花鳥文花瓶(対)	Pair of vases	錦龍軒 絵付:壽々喜鶏斎	Kinryuken Suzuki Keisai	「大日本東京 錦龍軒製 壽々喜鶏斎」	田邊哲人コレクション		各 42.2×12.3×17.5×10.1
第IV章「～驚異の横浜絵付～ 陶磁器商、陶磁画工の台頭」								
113	色絵花鳥文花瓶	Vase	田代屋	Tashiroya	「横濱 田代」	田邊哲人コレクション		36.3×12.7×20.2×10.5
114	色絵旭日鶴文皿	Dish	田代屋	Tashiroya	「日本横濱 田代製造」	田邊哲人コレクション		高2.7×径23.2
115	色絵花蝶文花瓶	Vase	田代屋	Tashiroya	「田代造」	田邊哲人コレクション		24.3×2.5×8.3×6.9
116	色絵煎茶具文花瓶	Vase	開洋社 絵付:對翠樓雅友	Kaiyosha Tsuisuiro Masatomo	「日本 開洋舎製」 「横浜港開洋舎製 對翠樓雅友画之」	田邊哲人コレクション		19.4×7.4×11.8×6.2

Cat. no.	作品名	作品英字	作者名・販売店	作者英字	銘 (記述なしは高台内)	所 蔵	制作年	サイズ(cm) 高×口径×胴径 (幅)×底径
117	色絵花鳥文大花瓶	Vase	滝藤萬次郎 絵付:大塚如真	Takito Manjiro Otsuka Joshin	「大日本 瀧藤製 画工大塚如真」	田邊哲人コレクション		62.8×2.8×34.0×21.4
118	色絵花鳥文瓢形瓶	Gourd-shaped vase	綿野吉二	Watano Kichiji	「九谷 綿野製」	田邊哲人コレクション		43.6×4.2×13.5×7.9
119	色絵花鳥文花瓶	Vase	綿野吉二 絵付:北招	Watano Kichiji Hokusho	「加賀九谷 綿野製造 北招画之」	田邊哲人コレクション		24.5×6.4×12.4×8.8
120	色絵蝶文碗・皿	Cups and saucers	綿野吉二	Watano Kichiji	「綿野製」	田邊哲人コレクション		各碗:高5.0×口径4.8×底径2.8 各皿:高1.7×径10.5
121	色絵花散文輪花碗・皿	Cup and saucer	綿谷平兵衛	Wataya Heibei	「加賀國 綿谷製」	田邊哲人コレクション		碗:高5.4×口径6.6×底径4.0 皿:高1.9×径12.9
122	色絵花鳥文碗・皿	Cups and saucers	日光商店	Nikko Company	「日光造」	田邊哲人コレクション		各碗:高6.3×口径5.3×底径3.3 各皿:高2.0×径11.7
123	色絵酢漿草文皿	Dishes	鎮導真達 素地:京都陶器会社	Kyoto toki and Co. Chindo Shintatsu	「大日本横濱 鎮導造之」 「商標 京都陶器會社」	田邊哲人コレクション		各 高2.3×径23.2
124	色絵菊花文輪花碗・皿	Cup and saucer	鎮導真達	Chindo Shintatsu	「チンドウ造」 「笑閑製造」	田邊哲人コレクション		碗:高3.7×口径8.4×底径4.6 皿:高2.3×径12.3
125	色絵人物文花瓶	Vase	保土田太吉 素地:沈壽官 絵付:芳舟	Hotoda Takichi Chin Jukan Hoshu	「日本横濱 保土田造」 「芳舟画」「薩摩 寿官」	田邊哲人コレクション		37.2×13.6×18.5×11.0
126	色絵人物文花瓶	Vase	保土田太吉	Hotoda Takichi	「横濱 保土田造」	田邊哲人コレクション		37.3×12.9×17.8×底径(13.3×11.3)
127	色絵龍鳳凰文手付瓶	Vase	保土田太吉 素地:沈壽官 絵付:旭玉堂	Hotoda Takichi Gyokuhodo	「大日本帝国 横濱保土田商店 東京旭玉堂製」 「サツマ 壽官」	田邊哲人コレクション		16.0×4.0×16.3×8.6
128	染付波千鳥文輪花皿	Dish	トーマス・B・ブロー	Thomas・B・Blow	「明治廿九年三月廿五日 トーマス・ビ・ブロー」	田邊哲人コレクション	1906 (明治39)年	高4.2×径24.1
129	色絵人物文鉢	Bowl	トーマス・B・ブロー	Thomas・B・Blow	「トーマス・ビ・ブロー 久家行列」	田邊哲人コレクション		高5.3×径10.7
130	色絵人物文茶器セット (ポット、砂糖壺、ミルク入れ、小皿、中皿、鉢、碗・皿)	Tea set	クーン&コモル商会	Kuhn & Komor and Co.	「KUHN&KOMOR クーン&コモル 香港神戸及横濱」 「日本横浜 横浜造」	田邊哲人コレクション		ポット:総高19.6×最大径19.8 砂糖壺:総高13.8×最大径14.7 ミルク入れ:総高13.8×最大径13.7 各小皿:高2.2×径18.5 各中皿:高2.4×径21.5 鉢:高9.1×口径9.8 各碗:高6.2×口径9.3×底径4.7 各皿:高2.3×径14.0
131	色絵金彩風景図長皿	Dish	山下民松 素地:アビランド社	Yamashita Minmatsu Haviland and Co.	「大日本横濱 山下造」 「H&Co.L」	個人蔵	明治時代 前期	高8.6×横60.4×縦19.8
132	色絵蝶山水文輪花皿	Dish	山下民松	Yamashita Minmatsu	「大日本横濱 山下造」	田邊哲人コレクション		高2.8×径23.2
133	色絵人物文陶板	Tile	山下民松	Yamashita Minmatsu	「日本横濱 山下造」	田邊哲人コレクション		縦21.5×横21.5
134	色絵山水文皿	Dish	山下民松	Yamashita Minmatsu	「山下造」	田邊哲人コレクション		高2.1×径27.3
135	色絵羅漢文碗・皿	Cup and saucer	北川喜作	Kitagawa Kisaku	「北川造」	田邊哲人コレクション		碗:5.5×4.1×4.9×2.9 皿:高2.2×径10.8
136	色絵蝶文輪花碗・皿	Cup and saucer	北川喜作	Kitagawa Kisaku	「日本横濱 北川造之」	田邊哲人コレクション		碗:高5.0×口径9.0×底径4.6 皿:高1.7×径13.8
137	色絵秋草文茶器セット (ポット、砂糖壺、ミルク入れ、小皿、碗・皿)	Tea set	川戸房次郎	Kawado Fusajiro	「日本横濱 川戸造之」	田邊哲人コレクション		ポット:総高20.1×最大径21.7 砂糖壺:総高13.6×最大径17.1 ミルク入れ:総高17.8×最大径12.1 各小皿:高2.3×径18.4 各碗:高4.8×口径9.2×底径4.0 各皿:2.1×径14.5
138	色絵花鳥文碗・皿	Cup and saucer	中村鎗次郎	Nakamura Yarijiro	「日本横濱 中村造之」	田邊哲人コレクション		碗:高5.5×口径8.4×底径4.1 皿:高2.0×径13.2

Cat. no.	作品名	作品英字	作者名・販売店	作者英字	銘 (記述なしは高台内)	所 蔵	制作年	サイズ(cm) 高×口径×胴径 (幅)×底径
139	色絵花鳥文碗・皿	Cups and saucers	塩谷加太郎	Shioya Kataro	「塩谷造」	田邊哲人コレクション		各碗:高4.7×口径9.2×底径3.8 各皿:高2.2×径13.2
140	色絵花鳥文隅切皿	Dishes	上木堂 素地:山半	Uekido	「上木堂造」「山半」	田邊哲人コレクション		各 高3.4×径(21.5×18.6)
141	色絵魚貝文茶器セット (ポット、碗・皿)	Cups and saucers	高坂藤右衛門	Kosaka Toemon	「大日本 高坂造」	田邊哲人コレクション		ポット:総高19.2×最大径20.5 各碗:高4.9×口径9.1×底径3.8 各皿:高2.2×径11.5
141-2	色絵魚貝文ポット	Pot	高坂藤右衛門	Kosaka Toemon	大日本 高坂造	田邊哲人コレクション		総高:19.7 口径:6.6 幅(20.5×13.5) 底径:7.0 蓋:6.5×7.4×6.1
142	色絵金魚文碗	Bowl	高坂藤右衛門	Kosaka Toemon	「日本 高坂造」	田邊哲人コレクション		高7.2×口径15.1×底径6.9
143	色絵忠臣蔵文茶器セット (ポット、砂糖壺、ミルク入れ、小皿、中皿、碗・皿)	Tea set	島田金次郎	Shimada Kinjiro	「日本横濱 嶋田造之」	田邊哲人コレクション		ポット:総高20.3×最大径19.5 砂糖壺:総高14.2×最大径11.3 ミルク入れ:総高15.0×最大径13.8 各小皿:高2.2×径18.4 各中皿:高2.8×径21.0 各碗:高5.6×口径9.6×底径4.9 各皿:高2.6×径14.6
144	色絵雉子文茶器セット (盆、ポット、砂糖壺、ミルク入れ、碗・皿)	Tea set	三栄舎	Saneisha	「横濱港 三栄舎」	田邊哲人コレクション		盆:高2.0×横35.4×縦25.7 ポット:総高13.7×最大径15.8 砂糖壺:総高10.8×最大径12.5 ミルク入れ:総高8.0×最大径11.7 碗:高5.8×口径(7.2×7.2)×底径(4.2×4.2) 皿:高1.8×径(12.3×12.5)
145	高浮彫花卉花瓶	Vase	河田	Kawada	「日本横濱 河田」	田邊哲人コレクション		28.7×10.9×14.8×10.4

※当館会場では、東京国立博物館所蔵の3点(図録番号: 8、15、27)は出品されてませんでした。

陶芸館ギャラリー企画展

信楽焼魅力発見・発信企画「Shigaraki×Photography」展

「巧妙に炎を操る神山清子 土と炎が作る景～信楽の新窯に挑んだ女流陶芸家」

趣 旨 NHK連続テレビ小説スカーレットのモデルである女性陶芸家の神山清子氏は、信楽焼の伝統の新窯による作品制作で知られます。神山の壺に信楽の生花店が花を生け、その作品や制作の様子を写真で展示することを通し、この地で働く人々を紹介しました。



会 期 令和2年4月1日(水)～6月28日(日)(令和元年度から継続)

入館者数 13,386人

夏休み企画「子どもたちの土の造形—本物との出会いから」展

趣 旨 平成21年度から継続して来園し制作をしている雲井小学校は、本年度も小学4年生以外の全学年がやきものづくりに挑戦しました。信楽の小学校では全学年の児童が粘土体験をしています。粘土体験を通して児童の成長がうかがえる展示となりました。

出 展 数 88点

会 期 令和2年7月18日(土)～8月30日(日) 39日間

入館者数 6,886人

陶芸館・新収蔵の逸品展

趣 旨 当館では、日本・海外の現代陶芸と滋賀ゆかりの陶芸、そしてクラフトと陶磁デザインを収集方針の柱にコレクションの充実に努めています。この展覧会では、平成30年度・令和元年度の収蔵作品から、小川得斎や高井明山ら、幕末そして昭和期に活躍した信楽名工の作品。また、湖東焼・梅林焼・小富士焼・姥餅焼など、芸術性に優れたまた史料価値のある、近江ゆかりの古陶磁を紹介しました。



内 容 2018年度・2019年度の収蔵作品から近江の古陶磁14件を展示紹介
信楽焼（小川得斎・高井明山）／湖南焼・永楽保全／梅林焼／湖東焼／姥餅焼

会 期 令和2年7月18日(土)～9月22日（火・祝）

入館者数 20,315人

粘土でフロッタージュまちなみを映し取ろう！展

趣 旨 自由な立体表現ができる粘土は心を開放し、対話のツールとすることができる素材です。令和2年の秋から冬にかけて、障がい者や外国につながりをもつ子どもたちが、土を扱うアーティストと共に町なかや学校、陶芸の森公園内を散策し、気に入った場所を粘土にフロッタージュ（写し取り）し作品をつくりました。そのワークショップの様子を映像で紹介すると共に作品を展示しました。

会 期 令和3年3月20日(土)～3月28日(日)

入館者数 1,239人

陶芸の森「バーチャルミュージアム」

趣 旨 「バーチャルミュージアム（Virtual Museum）」は、国内外の美術館・博物館で導入が進められているデジタルコンテンツです。陶芸の森では、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休館を機に、どこでも楽しめるバーチャルミュージアムの導入を新たに試みました。陶芸の森ではこの事業をとおして、いわゆるアフターコロナを見据えた新たな美術館の姿を模索しました。3D・360°ビュー等のVR（Virtual Reality、仮想現実）映像を活用し、園内の野外展示作品や展覧会情報を発信。とくに近年国内外でオンラインのコンテンツが急増している現況を鑑み、世界中で利用可能なバーチャルミュージアムの導入で、新たな潜在的ニーズを掘り起こし、陶芸の森の発信力の強化をはかりました。本物に出会い鑑賞する導入（手掛かり）として活用。また、ホームページ上や新たに開設した公式YouTubeチャンネルでは「リサ・ラーソン」展の紹介動画を公開しました。

＊本事業は一般社団法人VR革新機構が募集した、3D撮影プログラムに採択されて実施したものです。

内 容 1. 【360°VR映像】園内の野外展示「陶芸館前」と「星の広場」作品の紹介

2. 【3Dビュー VR映像】 特別展「リサ・ラーソン—創作と出会いをめぐる旅」展示紹介
会 期 令和2年6月22日(月)～12月31日(木)

公開場所 URL VR (1、2) : <https://www.sccp.jp/virtual-museum-tour/>

※現在は確認できないため、「実施記録画像」の項目を参照

リサ・ラーソン展紹介動画 : <https://www.sccp.jp/exhibitions/10590/>

ページビュー数 3,257回

撮影・編集協力 一般社団法人VR革新機構

VR体験コーナー 陶芸館展示室入口前で、VR体験コーナーを設置。アンケートで「リサ・ラーソン展を見に来れなかったのがうれしいです。」「星の広場を知りませんでした。今とは違う季節を感じてよかったです。」などの感想をいただいた。

掲載記事 (1)新聞関係

- ・6月28日(日) 京都新聞「バーチャル美術館開館」
- ・7月4日(火) 産経新聞「自宅でVR鑑賞 その後本物を」
- ・7月7日(金) 中日新聞「県立陶芸の森をスマホで巡ろう」
- ・7月9日(月) 読売新聞「VR活用 鑑賞おうちで」

(2)インターネット

京都新聞 ことしるべ、信楽観光協会のニュース、中日新聞Web、共同通信各地域Web、陶芸の森HP&SNS、一般社団法人VR革新機構HPなど

実施記録画像

(1)陶芸の森ホームページ内「おうちでVR鑑賞」ページ

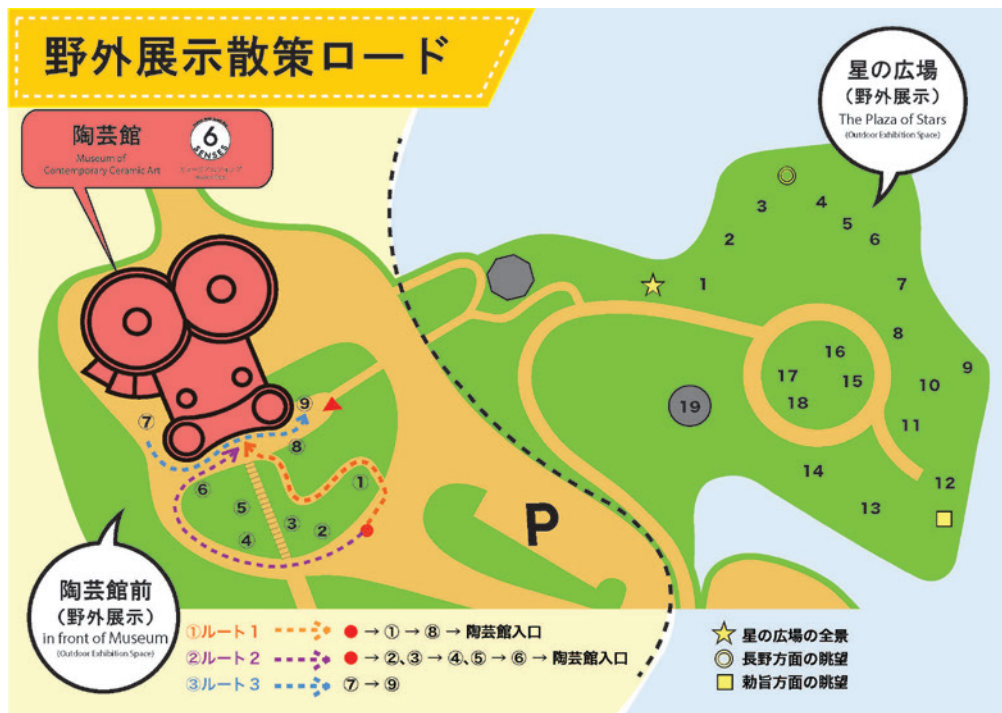
↓「陶芸館」と「野外展示」をクリックすると、それぞれのページに展開できます。



陶芸の森では、どこでも楽しめるバーチャルミュージアムをはじめました。3Dビューやバーチャル・リアリティ映像で、園内の「星の広場」の野外作品と展覧会をお楽しみいただけます。

※本事業は、新型コロナウイルスの影響で休館・休園している施設をボランティア活動で支援する一般社団法人VR革新機構の協力で、無人の施設を56対応3D・VRで無料公開します。

- (2)鑑賞用資料として、「野外展示散策ロードマップ」とその「作品リスト」、
「VRをより楽しむために」という操作方法の解説をウェブ上で掲出しました。



- (3)VR画面内の記録画像と解説（※以下の内容は、「VRをより楽しむために」資料にも使用）

①【3Dビュー VR映像】特別展「リサ・ラーソン—創作と出会いをめぐる旅」

ストリートビューと同様に、会場内を自由に移動して、360°の目線で展示内容を鮮明にご覧いただくことができます。スマートフォンや、VRメガネ（ゴーグル）を利用すると、まるで展示室にいるように展覧会をお楽しみいただけるようになっています。また、展示作品のうち3作品は間近で360°で鑑賞できるようにしました。



©VR革新機構 提供：滋賀県立陶芸の森

②【360° VR映像】園内の野外展示「陶芸館前」と「星の広場」

自然とアートが調和した陶芸の森ならではの、開放的なロケーションを360°カメラで撮影、360°ビューで作品と会場を紹介。「野外展示散策ロード」に表示されている番号をクリックすると作品の360°映像を、またキャプションを選択すれば、作家・作品の解説をご覧いただけるようにしました。



©VR革新機構 提供：滋賀県立陶芸の森

「野外展示散策ロード」 出品作品リスト Works List of Outdoor Exhibition

■陶芸館前（野外展示）／ In fornt of Museum

No.	作者名	作者英名	国名	国英名	作品名	作品英名	制作年
①	リンダ・ケアーズ	Linda Cares	アメリカ	U.S.	とぎ・ざ・たぬき	Togi the Tanuki	1992 (平成4)
②、③	上野 円	UENO, Madoka	日本	Japan	幸せを食べる。。。	Eat Happiness ...	2006 (平成18)
④	吉村 敏治	YOSHIMURA, Toshiharu	日本	Japan	天地のことば	Words of Heavn and Earth	2013 (平成25)
⑤	杉浦 康益	SUGIURA, Yasuyoshi	日本	Japan	陶石の石陶	Stone Ceramic of Ceramic Stone	2003 (平成15)
⑥	ヴィルマ・ヴィラバーデ	Vilma Villaverde	アルゼンチン	Argentine	JUMP	JUMP	2018 (平成30)
⑦	リサ・ラーソン デザイン／ 絵付=青木寿美子	Lisa Larson Design / Painted by AOKI, Sumiko	スウェーデン	Sweden	モニュメント「生命の樹」	Monument Tree of Life	2015 (平成27)
⑧	川上 力三	KAWAKAMI, Rikizo	日本	Japan	風の門-宙-	The Gate - Cosmo -	2005 (平成17)
⑨	都丸 俊夫	TOMARU, Toshio	日本	Japan	マルチファニチャー	Multi Furniture	2011 (平成23)

■星の広場（野外展示）／ The Palaza of stars

No.	作者名	作者英名	国名	国英名	作品名	作品英名	制作年
1	レイウエン・アトキンソン	Raewyn Atkinson	ニュージーランド	New Zealand	ペーパーマウンテン	Paper Mountain	1998 (平成10)
2	徐 永旭(シュウ・ユンシュウ)	YOUNG, Hsu-hsu	台湾	Taiwan,ROC	超-空間-風	Through Space Wind	2004 (平成16)
3	ザビーネ・ヘラー	Sabine Heller	ドイツ	Germany	無題	Untitled	2001 (平成13)
4	任 胤善(イム・ユンソン)	IM, Yoon-sun	大韓民国	Korea	誕生	Birth	1993 (平成5)
5	任 胤善(イム・ユンソン)	IM, Yoon-sun	大韓民国	Korea	私	Myself	1993 (平成5)
6	任 胤善(イム・ユンソン)	IM, Yoon-sun	大韓民国	Korea	永遠	Eternity	1993 (平成5)
7	李 基柱(イ・キジュ)	LEE, Ki-joo	大韓民国	Korea	祝祭の夜	Night of Festival Days	1997 (平成9)
8	ジュン・カネコ(金子 潤)	KANEKO, Jun	アメリカ	U.S.	ダンゴ	DANGO	1991 (平成3)
9	ピーター・カラス	Peter Callas	アメリカ	U.S.	幽霊	Ghost	1995 (平成7)
10	シャンドール・ケチケメティ	Sandor Kecskemeti	ハンガリー	Hungary	みんなのクロス	Cross for Everybody	1999 (平成11)
11	中井川 由季	NAKAIGAWA, Yuki	日本	Japan	膨らみながら進むI	It Moves on Expanding I	2002 (平成14)
12	サンドロ・ロレンティーニ	Sandro Lorenzini	イタリア	Italy	炎の人	The Flame Person	2007 (平成19)
13	速水 史朗	HAYAMI, Shiro	日本	Japan	DON		2001 (平成13)
14	栄木 正敏	SAKAEGI, Masatoshi	日本	Japan	クライム ブルー	Clime Blue	2002 (平成14)
15	林 康夫	HAYASHI, Yasuo	日本	Japan	無題	Untitled	2001 (平成13)
16	星野 暁	HOSHINO, Satoru	日本	Japan	古代緑地の雨	Rain in Ancient Wood - Land	1999 (平成11)
17	上田 健次	UEDA, Kenji	日本	Japan	断・碑	Cut / Monument	1995 (平成7)
18	吉竹 弘	YOSHITAKE, Hiroshi	日本	Japan	情景	Scene	2001 (平成13)
19	ニーノ・カルーソー	Nino Caruso	イタリア	Italy	モニュメント「風と星」	Monument Il Vento e Le Stelle (Wind and Star)	1991 (平成3)

博物館実習

陶芸館では、博物館学芸員資格取得のための実習生の受け入れを、平成7年度より行っています。令和2年度は、関西の大学から2人を受け入れ、各施設や特別展の見学や、展覧会企画と教育普及事業についての講義を行いました。また実習では、やきもの作品の梱包方法や作品の取り扱い方などを学びました。

- 内 容** 8月18日(火)
 オリエンテーション／陶芸の森施設見学／特別企画展の鑑賞
 講義1. 教育普及事業について／講義2. 展覧会事業について
 8月19日(水)
 実習1. 作品の取り扱いおよび梱包、調書作成／実習2. 作家資料作成
 8月20日(木)
 講義3. 陶芸の森「バーチャルミュージアム」事業／
 実習3. VR体験およびVRを利用した企画ディスカッション
 8月21日(金)
 実習4. SNSを利用した展示広報／VR企画発表／総括

期 間 令和2年8月18日(火)～21日(金) 4日間

受入大学 佛教大学 1名
 京都外国語大学 1名

陶磁ネットワーク会議への参加

〈陶磁ネットワーク会議〉は、陶芸もしくは陶磁を専門とする、県立の博物館と美術館8館で組織されます。令和2年度は兵庫陶芸美術館を会場に、「第13回陶磁ネットワーク会議」が開催されました。

日 程 令和2年11月11日(水)、12日(木)

会 場 兵庫陶芸美術館

参 加 館 愛知県陶磁美術館（瀬戸）、茨城県陶芸美術館（笠間）、岐阜県現代陶芸美術館（美濃）、佐賀県立九州陶磁文化館（有田）、滋賀県立陶芸の森（信楽）、兵庫陶芸美術館（丹波）、福井県陶芸館（越前）、山口県立萩美術館・浦上記念館（萩）

出 席 者 8館18人

議 題 1. 「新型コロナウイルス禍の中の美術館」各館の発表と全体討議
 2. その他意見交換 自由討議

見 学 1. 展示見学（開館15周年記念展「出石焼－但馬の小京都で生まれた珠玉のやきもの」）
 2. 丹波焼最古の登窯見学
 3. 丹波古陶館見学（開館50周年記念展「丹波焼百選展」）
 4. 篠山城大書院見学

調査研究活動

三浦 弘子

1. 出向・委嘱等

- 兵庫陶芸美術館 収蔵作品価格評価委員
- 京都国立近代美術館 収蔵作品価格評価委員

2. 著作・文章執筆等

- 「ドロシー・ファイブルマン 陶芸の現代性」『ドロシー・ファイブルマン作陶集』
著者：ドロシー・ファイブルマン 出版社：株式会社求龍堂、2021
- 「粘土が引き出す想像力」「Human and Animal 土に吹き込まれた命 21世紀陶芸の革新」展図録、2021

3. 発表・講義

- 膳所高等学校「北大路魯山人に学ぶ食とうつわ、美の世界」導入授業
- 滋賀大学教職大学院「特色ある教育実践と教材開発」における講義「滋賀県立陶芸の森」つつっこプログラムをととして

鉤 真一

1. 著作・文章等執筆

- 月刊なごみ「学芸員おすすめの茶道具」2020年10月号
万葉ゆかりの地に平和を願う 六代上田直方「信楽皆具」2019年
- 『奇跡の土ー信楽焼きをめぐる三の景色』図録
「信楽・焼締め陶の今」章解説・作品解説（篠原希・神崎秀策・小牧鉄平を除く）

裴 洙淨

1. 著作・文章執筆等

- 「第一景色 日本六古窯と信楽焼の景色」『奇跡の土ー信楽焼をめぐる三つの景色』展図録、2020年

創 作 事 業

アーティスト・イン・レジデンス事業

やきものの産地である信楽でレジデンス事業を行っているメリットを最大限に、そして双方向に活かし、やきもの産地特有の伝統的な要素と現代のトレンドとの交流を活発化させるよう努めました。

スタジオ・アーティストの受け入れ

アーティスト・イン・レジデンス事業の中核である「スタジオ・アーティストの受け入れ」では5ヵ国、延べ28人を受け入れました。

受け入れ実績 総数 24人（延べ28人）（5ヵ国）
 国内 19人（延べ23人） うち滋賀県：4人
 海外 5人（男性：2人、女性：3人）
 （内訳）日本在住－19人（延べ23人）、アメリカ－1人、台湾－2人、フランス－1人、イギリス－1人

受け入れ名簿

氏 名 アマンダ・チャンバーズ Amanda Chambers（再滞在）
居 住 地 イギリス
滞在期間 （前年度から継続）令和2年4月1日～令和2年4月30日
滞在日数 30日
概 略 角棒状にした粘土を組み重ねて、構造的な作品を制作しました。



氏 名 橋本 知成 HASHIMOTO, Tomonari（再滞在）
居 住 地 日本 滋賀県
滞在期間 （前年度から継続）令和2年4月1日～令和3年3月31日
 （次年度に継続）
滞在日数 365日
概 略 幾何学的な形態に炭化焼成で金属質の質感を付与した作品を制作しました。



氏 名 岩村 遠 IWAMURA, En
居 住 地 日本 滋賀県
滞在期間 （前年度から継続）令和2年4月1日～令和2年12月27日
滞在日数 271日
概 略 主に人の頭部をモチーフとして、造形作品を制作しました。作品表面には櫛目を施し、鮮やかな色彩の化粧泥で着色しました。



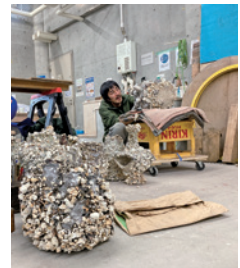
氏 名 矢部 俊一 YABE, Shunichi (再滞在)
 居 住 地 日本 岡山県
 滞在期間 (前年度から継続) 令和2年4月1日～令和2年4月3日
 令和3年2月10日～3月31日 (次年度に継続)
 滞在日数 54日
 概 略 備前の土を使い、エッジの際立った造形作品を制作しました。



氏 名 市野 雅彦 ICHINO, Masahiko (再滞在)
 居 住 地 日本 兵庫県
 滞在期間 令和2年4月1日、令和2年10月1日、令和2年11月11日
 滞在日数 3日
 概 略 石膏型を使用して、直径1m超の球体作品を制作しました。



氏 名 安永 正臣 YASUNAGA, Masaomi (再滞在)
 居 住 地 日本 三重県
 滞在期間 令和2年5月12日～令和2年5月14日
 令和2年10月16日～令和3年3月31日 (次年度へ継続)
 滞在日数 170日
 概 略 釉薬をベースに造形し、カオリンやアルミナで埋没させて焼成しました。



氏 名 津川 奈菜 TSUGAWA, Nana
 居 住 地 日本 広島県
 滞在期間 令和2年6月11日～令和2年7月9日
 滞在日数 29日
 概 略 動物や人体をモチーフにして緩やかなアウトラインの造形作品を制作しました。



氏 名 金 理有 KIM, Riwoo (再滞在)
 居 住 地 日本 神奈川県
 滞在期間 令和2年6月20日～令和3年3月31日 (次年度へ継続)
 滞在日数 285日
 概 略 縄文土器をモチーフにして線刻の入った作品群を制作しました。また、大型作品も制作し、5.2㎡ガス窯で焼成しました。



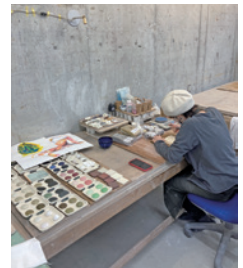
氏 名 金田 萌永 KANEDA, Moe
 居 住 地 日本 滋賀県
 滞在期間 令和2年8月20日～令和2年10月31日
 滞在日数 73日
 概 略 練りこみ技法で皿や鉢、壺などを制作しました。



氏 名 前田 耕平 MAEDA, Kohei
 居 住 地 日本 京都府
 滞在期間 令和2年10月1日～令和2年10月30日
 滞在日数 30日
 概 略 神戸で採取した原土からデフォルメした仏像を多数制作しました。



氏 名 鈴木 希果 SUZUKI, Kika
 居 住 地 日本 東京都
 滞在期間 令和2年10月2日～令和2年12月27日
 滞在日数 87日
 概 略 釉薬の試験を重ね、釉薬の表情を活かした造形作品を制作しました。



氏 名 澤 清嗣 SAWA, Kiyotsugu
 居 住 地 日本 滋賀県
 滞在期間 令和2年10月6日～令和3年3月31日
 滞在日数 166日
 概 略 信楽の粘土を使用して、大壺の制作をおこないました。作品は自宅の登り窯にて焼成しました。



氏 名 浅井 万貴子 ASAI, Makiko
 居 住 地 日本 岐阜県
 滞在期間 令和2年10月20日～令和2年11月30日
 滞在日数 42日
 概 略 無垢で作った造形作品を野焼きしました。



氏 名	ナカミツキ NAKAMITSUKI	
居 住 地	日本 兵庫県	
滞在期間	令和2年10月30日～令和2年12月27日	
滞在日数	59日	
概 略	普段はPCを用いての絵画作品を制作しています。 ろくろを使用して異素材へのアプローチを試みました。	
氏 名	ケイト・ストラカン Kate Strachan (令和2年度文化庁補助事業対象アーティスト)	
居 住 地	台湾	
滞在期間	令和2年11月1日～令和3年2月7日	
滞在日数	99日	
概 略	木工用ボンドを混ぜ込んだ粘土を薄く延ばす、テープキャストイング技法を使用して、布のような材質感を活かした作品を制作しました。	
氏 名	浅田 泰子 ASADA, Yasuko	
居 住 地	日本 愛知県	
滞在期間	令和2年11月3日～令和3年1月31日	
滞在日数	90日	
概 略	動物や人物をモチーフにして、ストーリー性の感じられる作品を制作しました。	
氏 名	西條 茜 SAIJO, Akane	
居 住 地	日本 京都府	
滞在期間	令和1年11月4日～令和2年12月23日	
滞在日数	50日	
概 略	人体に関わる音をテーマに造形作品の制作を行いました。 多種類の釉薬を重ね掛けして表面を構成しました。	
氏 名	塩谷 良太 SHIOYA, Ryota	
居 住 地	日本 東京都	
滞在期間	令和2年12月23日～令和3年1月31日	
滞在日数	40日	
概 略	2mほどの大型作品を制作しました。焼成は来年度に継続予定です。	

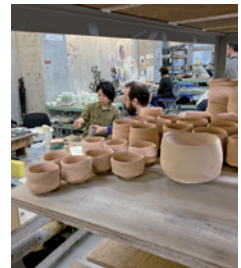
氏 名 尾花 友久 OBANA, Tomohisa
 居 住 地 日本 三重県
 滞在期間 令和3年1月5日～令和3年3月31日（次年度に継続）
 滞在日数 86日
 概 略 木枠の内側に粘土を詰め込み、無垢の角柱作品を制作しました。



氏 名 松田 啓佑 MATSUDA, Keisuke
 居 住 地 日本 京都府
 滞在期間 令和3年1月5日～令和3年3月31日
 滞在日数 86日
 概 略 普段は絵画作品を制作しています。
 ろくろを使用することで生まれた造形作品を制作しました。



氏 名 栗岡 由布子 KURIOKA, Yufuko
 居 住 地 日本 奈良県
 滞在期間 令和3年1月5日～令和3年3月10日
 滞在日数 65日
 概 略 薪窯焼成で得たデータを基にして、志野釉の実験を多数行いました。
 また薪窯での焼成も行いました。



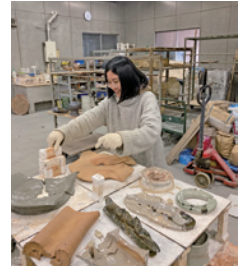
氏 名 フランシス・ブリベン Francis Bliven
 居 住 地 アメリカ
 滞在期間 令和3年1月5日～令和3年3月10日
 滞在日数 65日
 概 略 薪窯焼成で得たデータを基にして、志野釉の実験を多数行いました。
 また薪窯での焼成も行いました。



氏 名 マチュー・マンシュ Matthieu Manche
 居 住 地 フランス
 滞在期間 令和3年1月12日～令和3年3月31日（次年度に継続）
 滞在日数 79日
 概 略 エクストルーダーを使って、突起や輪を中心に構成した作品を制作しました。



氏 名 リャン・ハンユン Liang Han Yun
 居 住 地 台湾
 滞在期間 令和3年1月29日～令和3年3月31日（次年度に継続）
 滞在日数 62日
 概 略 和紙の上に粘土や原料を重ね、陶が引き起こす物理現象を視覚化した作品を制作しました。



ゲスト・アーティストの招聘

受け入れ実績 総数 4組4人
 国内 4組4人 海外 0人
 （内訳）日本在住－4人（7回）

氏 名 松井 紫朗
 居 住 地 日本 京都府
 滞在期間 （前年度より継続）令和2年4月3日、10日、17日
 滞在日数 3日
 概 略 前年度までに素焼きした作品の施釉及び焼成をおこないました。



氏 名 日野田 崇
 居 住 地 日本 京都府在住
 滞在期間 令和2年7月5日～令和3年3月31日（次年度へ継続）
 滞在日数 299日
 概 略 高さ2mほどの人体作品の手びねりで成形しました。
 作品は5.2㎡窯にて来年度に継続予定です。



氏 名 小出 ナオキ
 居 住 地 日本 千葉県在住
 滞在期間 令和2年6月21日～6月30日
 令和2年7月17日～8月25日
 令和2年9月22日～11月30日
 令和2年12月10日～12月22日
 滞在日数 133日
 概 略 登り窯での焼成を目指し、薪窯用の粘土を使用して造形作品を制作しました。
 作品は登り窯、イッテコイ窯等で焼成しました。
 ワークショップ「小出さんと粘土で遊ぼう－窯の神様をつくろう－」
 8月22日（作品制作）、11月22日（焼成）



氏 名 榊本 佳子
 居 住 地 日本／滋賀県在住
 滞在期間 令和2年6月2日～令和3年3月31日（次年度へ継続）
 滞在日数 272日
 概 略 壺に蛸、皿に朝顔、壺に鳥の群れ等、陶器の形と別のモチーフが一体となる作品を制作しました。焼成は来年度に継続予定です。



オープン・スタジオ、講演会等の開催

・第1回～第7回オープン・スタジオ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

・アーティスト・トーク

開催日：令和3年3月23日(火)

会 場：創作研修館スタジオ

講 師：榊本佳子（日本／令和2年度（2020年度）ゲスト・アーティスト）

陳怡恬（中国／令和2年度（2020年）文化庁補助事業対象作家）

参加者：9人

内 容：榊本佳子と陳怡恬による座談会形式でのトークをおこないました。

スタジオ・アーティスト、ゲスト・アーティストによる展覧会活動等

アマンダ・チャンバーズ

「あした (Tomorrow)」

開催日：令和2年4月15日

会 場：創作研修館ギャラリー

橋本知成

「橋本知成展」

開催日：1月23日～2月27日

会 場：Gallery O2（石川県）

「2021 SPRING/SUMMER RUNWAY “The boundary between Daily and out of Daily”」

開催日：令和2年10月16日

会 場：東京ファッションアワード

矢部俊一

「The 備前」巡回展

安永正臣**「在るものへ無きものへ」**

開催日：令和2年7月18日～8月2日

会場：SHOP&GALLERY YDS（京都府）

「Masaomi Yasunaga solo exhibition "SODA"」

開催日：令和2年8月1日～8月10日

会場：Ocoge shokuba丸の内（岡山県）

「安永正臣-Empty Crowd-」展

開催日：令和2年11月21日～11月29日

金理有**「個展」**

開催日：令和2年10月10日～10月18日

会場：品銀座（東京都）

「玄は幽玄をいう」

開催日：令和2年10月31日～11月15日

会場：Gallery+Sushi 三郎寿司あまね（神奈川県）

前田耕平**「六甲ミーツアート芸術散歩 2020」**

開催日：令和2年9月12日～11月23日

会場：六甲山（兵庫県）

浅井万貴子**「浅井 万貴子-ASAI MAKIKO-」**

開催日：令和2年10月31日～11月30日

会場：NOTA_SHOP（信楽町）

浅田泰子**「ウチの犬の言うことには」**

開催日：令和3年2月6日～2月14日

会場：STANDING PINE（愛知県）

西條茜**「流転するあいづち」**

開催日：令和3年2月12日～3月12日

会場：LOKO GALLERY（東京）

国内外のレジデンス機関との連携

I. 海外の機関との連携

文化庁補助事業「滋賀県立陶芸の森アーティスト・イン・レジデンス国際文化交流促進事業2020」海外のアーティスト・イン・レジデンス機関との交換プログラムによる、陶芸家の受入および派遣を、2機関とおこないました。

- 台南芸術大学

受入者：ケイト・ストラカン 令和2年11月1日～令和3年2月7日

- 中国美術学院

受入者：陳怡恬（チン・イテン） 令和3年2月10日～3月25日

※海外芸術関係団体として連携先である香港バプティスト大学および台湾文化センターからの受入は、新型コロナウイルス感染症流行のため令和3年度に延期しました

II. 国内の機関との連携

文化庁補助事業としてアーティスト・イン・レジデンス研究会を開催しました。

開催日：令和3年3月6日、7日

会 場：滋賀県立陶芸の森 管理棟 視聴覚室

参加者：3機関、延べ33人

※アーティストの滞在が年度をまたぐ場合、前年度にカウントする
 ※同じアーティストが複数回滞する場合、各滞ごとにカウントする

国別・年度別アーティスト滞在回数

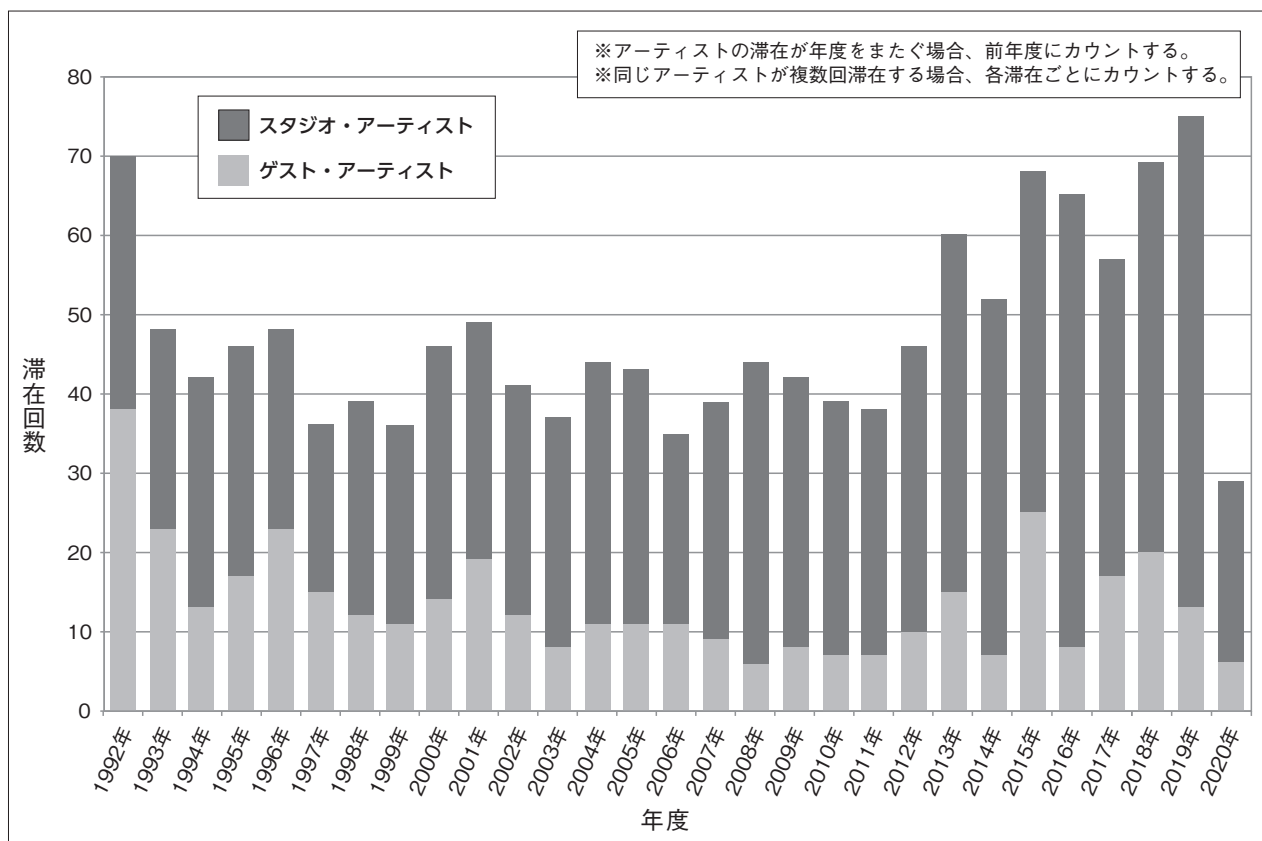
滞在回数 国名(日本語)	年 度																				総計									
	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011		2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
アイスランド													1		1	1	1			1										5
アイルランド											1								1											2
アメリカ合衆国	8	11	7	7	6	1	5	4	2	6	2	7	1	7	4		2		1	3	6	4	5	4	4	6	4	11		128
アルゼンチン	1					2																1	1	2	1					8
イ ギ リ ス	1	1	1	2	1	1		2	4		2			3	1		2		1			2	4	3	1		5	2		39
イスラエル							1																							1
イ タ リ ア	2			2	1	1									1	1					1	1	1		1	1				13
イ ラ ク												1																1		2
イ ン ド																	1			1	1									3
インドネシア																	1	1		1										3
ウクライナ																												1		1
エストニア																		1	1											2
オーストラリア	1				1	1		1			2				1	1	1	2		1	1		1	2	2		2	1		21
オ ラ ン ダ	1		1	1		1				1			2	1		1	1	1			1		1		2	2	1	2		20
ガ ー ナ											1																			1
カザフスタン									1																					1
カ ナ ダ					1					1		3							2		1		4	4	1	3	2	2		24
カンボジア																	1													1
ギリシャ																											1			1
グアテマラ																										1				1
コロンビア																												1		1
ジャマイカ																										1				1
シンガポール													1			1									1	2		1		6
ス イ ス	1				1		1				2	1	2	4	1									1		1				15
スウェーデン					1				1			1	1		1								1	1	1	4				12
ス ペ イ ン					1				1	1	2	2		2																9
セルビア				1																										1
タ イ											1							1								1	1			4
チ ェ コ				1				1										1					2	2						7
デンマーク				1		2	1		2			2	1	1	1	1			2	1		1		3						19
ド イ ツ									3	3	1	3	2	1								1	1		2		1			18
ニュージーランド						1												1						1				1		4
ノルウェー				1		1										4							1		1					8
パキスタン												1																		1
ハンガリー							1	1	1			1				1			1											6
バングラデシュ	1																													1
フィリピン																									1					1
フィンランド				1	1			1	2	1			3	2	1	1	1	1				1				1	1	1		19
ブラジル																							1							1
フランス						1						2	3	1	2	5	5	1	4	3	3	4	5	7	3	3	6	1		59
ペ ル ー								1															1							2
ベルギー												1				1	1	2	2		1				1	1		1		11
ポーランド						1																								1
ボリビア										1					1		1													3
ポルトガル		1	1									1																		3
メキシコ						1																			1					2
ヨルダン												1																		1
ラ オ ス																	2													2
ルーマニア									1		1																			2
ロシア連邦																						1								1
香 港											1					3	2	7	2				2	1	2	1	5	4		30
台 湾	1					1	3	1			1		2	3			2	1	1	4	4	3	6	2	2	2	3	4	2	48
大韓民国	3	2	1	2	2	3	3	3	1	2	4	1			2	1	3	1	1				2	6	1		4	5		53
中 国		1			1										1					1		2	3	2	1		2	5	1	20
日 本	50	32	31	28	32	18	22	21	27	32	21	17	20	15	19	20	17	17	22	21	24	40	17	27	36	26	30	24	24	730
総 計	70	48	42	46	48	36	39	36	46	49	41	37	44	43	35	39	44	42	39	37	46	60	52	68	65	57	69	73	28	1,379

※アーティストの滞りが年度をまたぐ場合、前年度にカウントする。
 ※同じアーティストが複数回滞在する場合、各滞りがごとくにカウントする。

種別・年度別アーティスト滞在回数

滞在回数 年度	種 別		総 計
	guest	studio	
1992	38	32	70
1993	23	25	48
1994	13	29	42
1995	17	29	46
1996	23	25	48
1997	15	21	36
1998	12	27	39
1999	11	25	36
2000	14	32	46
2001	19	30	49
2002	12	29	41
2003	8	29	37
2004	11	33	44
2005	11	32	43
2006	11	24	35

滞在回数 年度	種 別		総 計
	guest	studio	
2007	9	30	39
2008	6	38	44
2009	8	34	42
2010	7	32	39
2011	7	30	37
2012	10	36	46
2013	15	45	60
2014	7	45	52
2015	25	43	68
2016	8	57	65
2017	17	40	57
2018	20	49	69
2019	13	60	73
2020	6	22	28
総計	396	983	1,379



つちっこプログラムー子どもやきもの交流事業ー

滋賀県立陶芸の森「子どもやきもの交流事業」と陶芸の森内で活動を行う「世界にひとつの宝物づくり実行委員会」からなる、陶芸家に関わる「土」を素材とした体験事業「つちっこプログラム」は、今年で19年目を向かえました。地域の陶芸家やボランティア、学校など共同して、子どもや障害者に古琵琶湖層からの贈り物である信楽の「土」を用いて、ものをつくることの喜びや感動、本物の芸術を体感できる教育プログラムを提供し、次世代の心豊かな人材育成に努めています。また、つちっこプログラムは、第二期滋賀県教育振興基本計画において、滋賀県の自然や文化、地域を学ぶ体験活動のひとつとして位置づけられています。

本物と出会うー総合学習プログラム 陶芸の森来園プログラムと出張事業（連携事業）

本物と出会うー総合的学習プログラム／陶芸の森来園プログラムと出張授業Ⅰ（連携授業）

小・中・高等学校を対象に陶芸の素晴らしさや陶芸の森を広めるために、学校へ出張授業や来園プログラムを進めています。学校・美術館・文化ボランティア・陶芸家の四者連携のプログラムです。

新型コロナウイルス感染防止の対応策を進めながら、学校の先生方と相談しつつ、授業やプログラムの対応につとめました。

【令和2年度 子どもやきもの交流事業 実績】

番号	講座形態	実施件数	参加者数	備 考
①	来園プログラム	11件	688人	県内小中学校
②	出張授業Ⅰ	101件	5,699人	県内小中高学校など
③	来園制作 (ねんどとあそぶ)	2件	81人	一般の親子
④	研修会	1件	20人	滋賀大学教職大学院 1件 20人
合 計		115件	6,488人	幼児～高校生 6,468人 大人 20人 講座平均人数 56.4人



世界にひとつの宝物づくり

[滋賀県負担金、参加者負担金、その他の収入より運営]

子どもや障がい者などのみなさんが地元陶芸作家や地域ボランティアとの協力により「土」という素材を用いて、ものを作ることの喜びや感動を体感できることによって、次世代の心豊かな人材を育成する新しい滋賀モデルを創造していくプログラムです。

令和2年度は、例年夏休みに来園利用の多い放課後等デイサービスや子ども会等の団体は、夏休み縮小もあり、利用が見送られました。しかし、秋からの学校申し込みは例年よりも多くありました。

各講座では新型コロナウイルス予防対策として、1回の講座開催人数やプログラム内容・講座での対応を見直しました。講座やイベントの中止を余儀なくされている中、野外での制作や密を避けることで、安心してゆったりと制作してもらう工夫をしました。

【令和元年度 世界にひとつの宝物づくり 実績】

番号	講座形態	実施件数	参加者数	備 考
①	来園制作（学校）	39件	1,675人	県内 30件 1,597人 県外 1件 7人 特別支援学校・学級 7件 53人 適応指導教室 1件 18人
	（団体）	1件	1人	県内団体 6件 99人 県外団体 1件 6人
②	出張授業Ⅱ	28件	477人	特別支援学校・学級 10件 151人 美ココロ・パートナーシップ 10件 231人 団体（下之郷史跡公園） 6件 51人 イベント 2件 44人
③	特別講座	4件	68人	一般の親子
④	研究会・研修会	5件	62人	教材検討会 1件 12人 滋賀大学教職大学院 1件 13人 次世代文化芸術センター 1件 11人 レイカディア大学 1件 20人 守山市教育委員会 1件 6人
⑤	文化芸術×共生社会プロジェクト	5件	55人	ワークショップ+YouTube撮影 4件 35人 ワークショップ 1件 20人
合 計		81件	2,337人	幼児～大学生 2,221人 大人 116人 講座平均 28.9人



産業の振興に関する事業

人材育成事業

信楽焼の持っている伝統技術を将来に継承し人材育成を図ることを目的に、信楽高等学校の支援を信楽高等学校地域協議会等の地域団体と連携しておこないました。

滋賀県立信楽高等学校への支援事業

実施回数：5回 受講者数：184人

セラミック科2年 作家指導の陶芸制作実習

実施日：10月16日(金)

講師：青木 挙

参加者：28人（2年生）

講師が設定した、塊からつくる花入れ、たたら成型による角皿の2種類のテーマで制作をおこないました。作家から造形、制作に関する考え方、技法を学びました。

陶芸の森 施設見学

実施日：10月27日(火)

参加者：70人（1年生）

1年生を対象に陶芸に関する知識と関心を高めるために、職員による講義をおこないました。その後、グループに分かれて陶芸の森の施設見学をおこない、陶芸文化への理解を深めました。

セラミック科2年 野焼き体験実習

実施日：11月6日(金)

参加者：29人（2年生）

産業社会と人間で学んできた陶芸史の内容を実体験することで、陶芸に対する理解を深めた。作陶や造形、焼成作業をとおして野焼きについて学びました。



2年生 セラミック系列 セラミック実習A 特別授業 登り窯 焼成実習

実施日：11月20日(金)

参加者：29人（2年生）

信楽焼、登り窯に関する講義、薪割り体験、焼成体験をおこないました。

伝統的で大規模な登り窯の焼成を体験することで、陶芸作品に対する理解と作陶活動に対する意欲の向上を図りました。

デザイン科外部研修受け入れ

実施日：11月25日(水)

講師：榎本 佳子

参加者：28人（2年生）

「つくられるものの公共性に対する認識」と「個人の自由な表現」の両立という、デザインにおけるバランス感覚を養うためデザイン系列3年生を対象に、陶芸の森にて実習をおこないました。榎本佳子氏の指導のもとに信楽の産業製品である陶器製の椅子に「四季」をテーマにした絵付けをしました。



「がちゃがちゃ デザインコンペ」の実施

趣 旨 陶芸館ミュージアムショップのがちゃがちゃの商品開発を目的に、作品の公募をおこないました。73点の応募があり、入賞3点を選びました。入賞作品は、陶芸の森ミュージアムショップのがちゃがちゃで販売しデザインの啓発の一環とします。

主 催 等 主催：公益財団法人滋賀県陶芸の森
後援：信楽陶器工業協同組合 信楽陶芸作家協会

募集期間 令和2年7月28日から12月27日まで

応募点数 73点

審査結果 金賞 齋木 麻由（茨城県）
銀賞 王 海倫（東京都）
銅賞 高原 和代（香川県）



信 楽 産 業 展 示 館

信楽産業展示館運営事業

展示会の開催（甲賀市が信楽焼振興協議会に委託）

期 間	展示内容	担 当	入館者数
令和2年4月1日 令和2年9月22日	信楽焼産業総合展	信楽陶器卸商業協同組合	32,804人
令和2年10月3日 令和2年11月8日	信楽陶器総合展	信楽陶器工業協同組合	12,691人
令和2年11月14日 令和3年3月31日	信楽焼産業総合展	信楽陶器卸商業協同組合	22,443人
合 計			71,374人 (111,011)

※入場者数の（ ）書きはR元年度の実績

※令和2年4月6日～6月1日 臨時休館

企画展 ギャラリー展示

期 間	テーマ	担 当
令和2年4月1日 令和2年4月5日	ほろ酔いうつわと地酒展	企画事業委員会
令和2年6月2日 令和2年7月5日	信楽焼ビアカップ展	企画事業委員会
令和2年7月11日 令和2年9月13日	いまどき、しがらき、かやりき展	企画事業委員会
令和2年11月14日 令和2年12月13日	飯碗と茶の器展	企画事業委員会
令和2年12月19日 令和3年1月11日	令和3年干支（辛丑）展	信楽陶器卸商業協同組合
令和3年1月16日 令和3年3月21日	信楽焼の動物展	企画事業委員会

そ の 他 の 事 業

滋賀県立陶芸の森開設30周年記念事業

陶芸の森の開設30周年記念して開催した特別展「奇跡の土ー信楽焼をめぐる三つの景色」関連事業として、以下の事業をおこないました。

(1)薪窯ワークショップの開催

陶芸作家による公開制作と併せて、参加者が作家指導の下、壺や花器などの作品を制作し、制作技法や焼き締め陶器の産地による制作方法の違いを学びました。

開催日：10月23日(金)

講 師：澤 清嗣

会 場：信楽産業展示館

参加者：31人

薪窯ワークショップ焼成報告 展示

開催日：12月8日(火)～12月13日(日)

会 場：滋賀県立陶芸の森陶芸館

入館者数：1,013人



(2)薪窯の魅力を語る会の開催

信楽焼と関係の深い古琵琶湖層群についての報告や、日本六古窯の代表的な陶芸家、アメリカ陶芸の薪窯を紹介するスピーカー等を交えて、Zoomを活用したWeb会議方式により薪窯の魅力を伝え、改めて薪窯を考える機会としました。

ライブ配信

開催日：10月24日(土)

講 師：糸本夏実（多賀町立博物館）、篠原希（信楽陶芸家）、森本芳弘（丹波陶芸家）、大町佳宏（陶芸愛好家）、ジャン・ニーリー（ユタ州立大学教授）、柴田拓郎（陶芸家米国在住）

参加者：30人



実施状況録画放映

開催日：10月25日（日）

参加者：52人

会 場：信楽産業展示館 ホール

陶芸の森ミュージアムショップ6 センス

春の「リサ・ラーソンー創作と出会いをめぐる旅」展ではリサ・ラーソングッズを販売。新型コロナによる臨時休館もありましたが、その期間中も一部商品をオンラインで販売するなどし、多くのお客様にご利用いただきました。

夏の「湖国・滋賀の陶芸」展では、『滋賀のいいもの』をテーマに、滋賀ゆかりのモチーフを滋賀特産の近江麻や高島ちぢみにプリントした布小物や近江八幡の木珠の技術を活かしたアクセサリーなどを販売。また、昨年始まった「がちゃがちゃデザインコンペ2019」の入賞者による作品のがちゃがちゃ販売を開始。数日で売り切れるなど、たいへん好評でした。

秋の「奇跡の土」展では、展覧会出品作家による器や関連書籍を特集。展覧会の内容から滋賀県の地質や鉱石に興味を持たれた方も多かったようで、関連書籍がよく売れました。

特集企画内容

特別展「リサ・ラーソンー創作と出会いをめぐる旅」 4月1日(水)～6月28日(日)

※4月11日(土)～5月31日(日)は、新型コロナウイルス感染症流行のため臨時休館

特集：リサ・ラーソン デザインの陶器、ビンテージ陶器、グッズ、関連書籍など

特別企画「湖国・滋賀の陶芸ー風土と伝統そして交流の中で」 7月18日(土)～9月22日(火・祝)

特集：『滋賀のいいもの』、家庭で楽しめる陶器絵付けグッズや粘土、工作用品、滋賀関連書籍など

特別展「奇跡の土ー信楽焼をめぐる三つの景色」 10月3日(土)～12月13日(日)

特集：展覧会出品作家による器、風呂敷、関連書籍など

特別展「神業ニッポン 明治のやきものー幻の横浜焼・東京焼」 3月20日(土)～6月6日(日)

特集：展覧会公式グッズ、展覧会出品メーカー ノリタケカンパニーリミテドの陶器、燕市のカトラリー、関連書籍など



「奇跡の土」展
ミュージアムショップ

職員の出向

松井 利夫（公益財団法人滋賀県陶芸の森理事長）

信楽焼振興協議会理事

杉山 道夫（事務局次長（技術）兼創作研修課長）

陶都・信楽まつり実行委員会事務局幹事

秀明文化財団 秀明文化寄金賞選考委員

秀明文化財団 信楽伝統陶芸作家育成対象者選考委員

文化庁・大学等共同研究事業「新たな文化芸術の創造を支える活動支援及び人材育成のためのプラットフォーム形成研究」共同研究員

松波 義実（創作研修課主任主査）

信楽高等学校支援協議会幹事

信楽まちなか芸術祭実行委員

信楽焼振興協議会企画事業委員

信楽町観光協会理事

信楽たぬきの日実行委員

資 料

収蔵品収集実績

滋賀県立陶芸の森陶芸館 収蔵品収集実績

収蔵年度	区分	海外の現代陶芸	日本の現代陶芸	滋賀ゆかりの陶芸	クラフトと陶磁デザイン	計
平成元年～17年度	購 入	143	191	173	17	524
	寄 付	153	124	176	118	571
	計	296	315	349	135	1,095
平成19年度	購 入	0	0	0	0	0
	寄 付	17	17	14	7	55
	計	17	17	14	7	55
平成21年度	購 入	0	0	0	0	0
	寄 付	11	7	38	10	66
	計	11	7	38	10	66
平成23年度	購 入	0	0	0	0	0
	寄 付	22	6	63	0	91
	計	22	6	63	0	91
平成25年度	購 入	0	0	0	0	0
	寄 付	3	17	92	11	123
	計	3	17	92	11	123
平成26年度	購 入	0	1	0	0	1
	寄 付	0	0	0	0	0
	計	0	1	0	0	1
平成27年度	購 入	0	0	1	0	1
	寄 付	11	5	31	7	54
	計	11	5	32	7	55
平成29年度	購 入	0	0	1	0	1
	寄 付	23	10	42	0	75
	計	23	10	43	0	76
平成30年度	購 入	0	0	5	0	5
	寄 付	17	35	11	1	64
	計	17	35	16	1	69
令和元年度	購 入	0	0	8	0	8
	寄 付	3	2	10	1	16
	計	3	2	18	1	24
令和2年度	購 入	0	3	2	0	5
	寄 付	1	11	1	0	13
	計	1	14	3	0	18
合 計	購入合計	143	195	190	17	545
	寄付合計	261	234	478	155	1,128
総 計		404	429	668	172	1,673

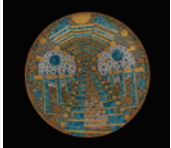
2020(令和2)年度 滋賀県立陶芸の森 陶芸館 収蔵作品一覧

■海外の現代陶芸

分類番号	作者名	作品名	制作年	寸法(cm)	材質	作品画像	収蔵方法
FW-232	ヴァレンティナ・ペロ	Living in the residence	2019／令和元	高(H)1.0×幅(W)20.0× 奥行(D)20.0	陶土 (市販タイル)		寄付

■日本の現代陶芸

分類番号	作者名	作品名	制作年	寸法(cm)	材質	作品画像	収蔵方法
J-396	杉浦 康益	山法師の花	2018／平成30	高(H)39.7×幅(W)45.8× 奥行(D)40.4	陶土		購入
J-397	黒田 泰蔵	白磁花入	2009／平成21	高(H)34.0×胴径(D)11.0× 底径(BD)6.5	磁器土		購入
J-398	黒田 泰蔵	白磁花入	2012／平成24	高(H)25.0×胴径(D)15.0× 底径(BD)6.5	磁器土		購入
J-399	黒田 泰蔵	白磁壺	2020／令和2	高(H)35.4×口径4.0× 胴径(D)27.2×底径(BD)7.0	磁器土		寄付
FJ-121	安藤 郁子	これもすべて ひとつのものの かけら	2018／平成30	インスタレーション(540.0×270.0)	陶土		寄付
FJ-122	大石 早矢香	0	2018／平成30	高(H)56.0×奥行(D)14.0× 幅(W)56.0	陶土		寄付
FJ-123	大石 早矢香	1	2018／平成30	高(H)58.0×奥行(D)14.0× 幅(W)58.0	陶土		寄付
FJ-124	原 菜央	祝 Myself	2018／平成30	高(H)144.0×奥行(D)94.5× 幅(W)87.0	陶土		寄付
FJ-125	竹内 真吾	炆器壺	2019／令和元	高(H)26.0×奥行(D)25.0× 幅(W)57.0	陶土 (信楽赤土)		寄付

分類番号	作者名	作品名	制作年	寸法(cm)	材質	作品画像	収蔵方法
FJ-126	竹内 真吾	Crashed	2019／令和元	高(H)46.0×奥行(D)33.0× 幅(W)39.0	陶土 (信楽土+ 瀬戸原土)		寄付
FJ-127	鈴木 秀昭	色絵金銀彩光彩大皿	2019／令和元	高(H)4.5×径(D)30.5	磁器土		寄付
FJ-128	鈴木 秀昭	金銀彩 Cosmic Nest	2019／令和元	高(H)12.0×奥行(D)25.0× 幅(W)28.0	磁器土		寄付
FJ-129	米谷 健 + 米谷 ジュリア	Dysbiotica-Head	2020／令和2	高(H)31.5×奥行(D)21.0× 幅(W)21.0	磁器土		寄付
FJ-130	米谷 健 + 米谷 ジュリア	Dysbiotica-Deer	2020／令和2	高(H)90.0×奥行(D)36.0× 幅(W)74.0	磁器土		寄付

■滋賀ゆかりの陶芸（近現代）

分類番号	作者名	作品名	制作年	寸法(cm)	材質	作品画像	収蔵方法
SC-297	上田直方(六代)	信楽皆具 〈紫香楽宮〉	2019／令和元	水指=高(H)20.1×胴径(D)20.0 勺立=高(H)18.3×胴径(D)10.0 建水=高(H)14.0×胴径(D)13.9 蓋置=高(H)5.6×胴径(D)6.8	陶土		寄付

■滋賀ゆかりの陶芸（古陶磁）

分類番号	窯(産地)名	作品名	制作年	寸法(cm)	材質	作品画像	収蔵方法
SO-301	圓山湖東焼	染付雲龍文建水	1869／明治2	高(H)8.9×口径(MD)9.3× 胴径(D)11.0×底径(BD)6.1	磁器土		購入
SO-302	圓山湖東焼・ 耕堂絵付	染付梅牡丹菊花文建水	1869／明治2	高(H)8.7×口径(MD)9.0× 胴径(D)10.7×底径(BD)6.3	磁器土		購入

施設利用実績

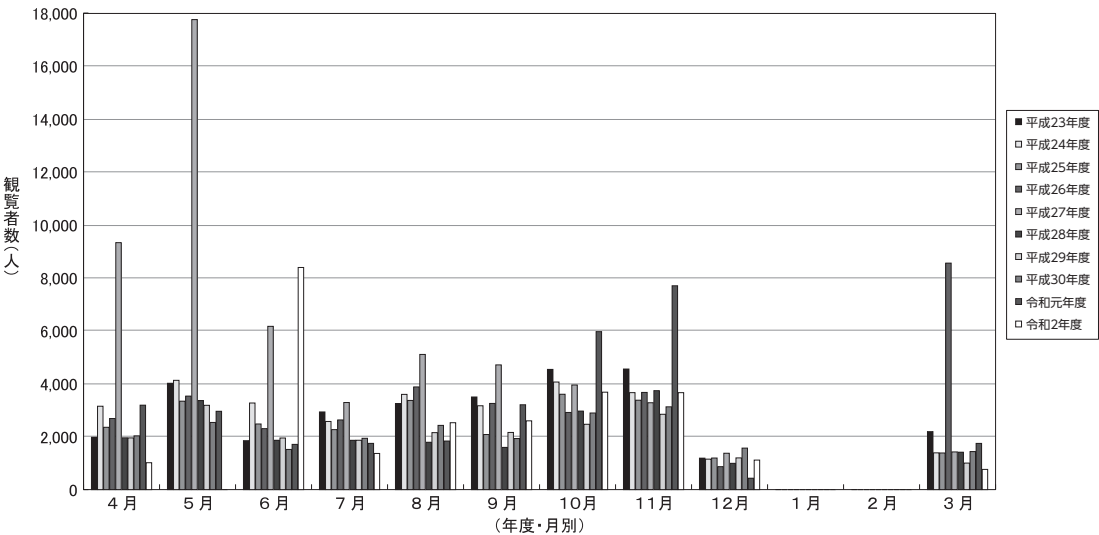
陶芸の森 年度別・月別入園者数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1ヶ月平均
15～22年度	253,056	318,805	178,548	177,995	194,121	243,735	437,289	267,781	112,707	87,666	130,072	161,734	2,563,509	35,604
23年度	23,404	38,330	19,042	19,207	19,945	26,336	55,483	39,456	17,875	11,737	13,386	19,112	303,313	25,276
24年度	24,902	39,253	19,453	18,772	23,856	22,288	53,241	39,380	17,772	13,793	16,279	24,130	313,119	26,093
25年度	31,090	51,404	26,371	21,131	25,777	28,047	55,580	36,874	17,039	12,052	13,247	19,779	338,391	28,199
26年度	27,903	52,863	21,987	21,522	23,390	28,955	48,100	40,276	12,544	11,406	15,256	32,188	336,390	28,033
27年度	39,836	73,243	29,028	25,346	27,845	37,850	58,307	35,315	17,601	13,201	17,855	24,811	400,238	33,353
28年度	28,390	58,906	22,453	24,009	33,151	32,853	63,790	42,067	20,890	13,885	18,182	28,485	387,061	32,255
29年度	32,741	56,846	26,342	24,921	29,880	27,222	46,184	35,737	18,851	13,312	16,511	25,234	353,781	29,482
30年度	31,960	54,517	24,324	20,129	27,459	23,614	49,910	36,170	19,258	14,468	17,476	26,879	346,164	28,847
元年度	33,588	67,724	23,730	22,173	24,597	47,034	48,296	69,062	26,434	28,992	36,528	20,399	448,557	37,380
2年度	16,552	10,075	34,672	26,676	29,955	56,347	39,741	42,579	20,092	15,960	22,400	24,843	339,892	28,324
合 計	543,422	821,966	425,950	401,881	459,976	574,281	955,921	684,697	301,063	236,472	317,192	407,594	6,130,415	510,868

※合計は入園者の計測開始年度（平成15年度）以降の計

陶芸館 年度別・月別観覧者数

年度	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
3～22年度	入場者数	72,947	111,012	78,459	83,495	112,453	92,566	111,280	118,421	35,188	22,253	29,200	54,521	921,795	177
	開催日数	484	485	454	481	522	451	519	493	333	274	286	422	5,204	
23年度	入場者数	1,978	4,020	1,850	2,936	3,251	3,501	4,544	4,558	1,189	0	0	2,192	30,019	128
	開催日数	22	27	18	27	26	26	26	26	10	0	0	26	234	
24年度	入場者数	3,152	4,131	3,274	2,576	3,600	3,170	4,067	3,666	1,152	0	0	1,390	30,178	128
	開催日数	26	27	26	22	26	22	26	26	14	0	0	20	235	
25年度	入場者数	2,356	3,343	2,481	2,268	3,371	2,083	3,605	3,380	1,194	0	0	1,385	25,466	109
	開催日数	26	27	20	26	28	19	28	26	13	0	0	20	233	
26年度	入場者数	2,687	3,535	2,305	2,634	3,882	3,258	2,917	3,674	868	0	0	8,562	34,322	146
	開催日数	26	28	20	27	27	24	23	26	13	0	0	21	235	
27年度	入場者数	9,336	17,767	6,172	3,292	5,110	4,715	3,955	3,284	1,375	0	0	1,425	56,431	251
	開催日数	26	27	20	27	26	21	24	25	12	0	0	17	225	
28年度	入場者数	1,958	3,365	1,865	1,864	1,790	1,596	2,969	3,741	994	0	0	1,414	21,556	94
	開催日数	26	26	21	27	26	20	29	26	10	0	0	18	229	
29年度	入場者数	1,954	3,187	1,951	1,866	2,154	2,161	2,470	2,848	1,199	0	0	1,003	20,793	90
	開催日数	26	26	20	26	27	21	26	26	15	0	0	19	232	
30年度	入場者数	2,032	2,539	1,519	1,940	2,428	1,930	2,889	3,130	1,569	0	0	1,437	21,413	93
	開催日数	26	26	21	26	27	21	22	26	17	0	0	18	230	
元年度	入場者数	3,192	2,961	1,710	1,748	1,836	3,208	5,972	7,706	431	0	0	1,747	30,511	150
	開催日数	26	27	20	26	26	19	26	26	1	0	0	6	203	
2年度	入場者数	1,017	0	8,397	1,367	2,529	2,600	3,683	3,665	1,116	0	0	764	25,138	154
	開催日数	9	0	24	12	26	20	25	25	12	0	0	10	163	
合 計	入場者数	102,609	155,860	109,983	105,986	142,404	120,788	148,351	158,073	46,275	22,253	29,200	75,840	1,217,622	164
	開催日数	723	726	664	727	787	664	774	751	450	274	286	597	7,423	



陶芸館展覧会別観覧者数

収蔵品展・特別企画展

年 度	展覧会名	会 期	開催日数	観覧者数	一日平均
3 年度	世界の現代陶芸展	H3.7.20～12.15	128	41,006	320
	世界の現代陶芸展Ⅱ				
	世界の現代陶芸展Ⅲ	H4.2.12～3.19	32	6,179	193
4 年度	世界の現代陶芸展	H4.5.12～9.30	121	35,717	295
	朝日陶芸展' 92	H4.9.18～9.30	11	4,141	376
	世界の現代陶芸展 (森で生まれた作品展)	H4.12.1～H5.3.19 (H5.3.2～3.14)	78	9,785	125
	世界の現代陶芸展	H5.6.1～9.3	82	20,043	244
5 年度	世界の現代陶芸展 (森で生まれた作品展)	H5.11.3～H6.2.27 (H6.3.1～3.13)	104	17,072	164
	世界の現代陶芸展	H6.6.12～9.15	83	18,667	225
6 年度	世界の現代陶芸展	H6.12.3～H7.3.10 (H7.2.25～3.10)	75	7,141	95
	特別企画展 (森で生まれた作品展)				
7 年度	世界の現代陶芸展	H7.6.3～7.13	35	7,353	210
	パプアニューギニアの土器展	H7.7.18～10.15	78	23,407	300
	世界の現代陶芸展 (森で生まれた作品展)	H7.11.25～H8.3.17 (H8.3.5～3.17)	90	11,377	126
8 年度	陶芸の森新館蔵品展	H8.5.25～7.7	38	9,803	258
	陶芸の森館蔵品展	H8.7.11～9.23	65	21,652	333
	陶芸の森 館蔵品展 (森で生まれた作品展)	H8.11.30～H9.3.7 (H9.2.5～3.7)	74	6,955	94
9 年度	新・収蔵品展	H9.5.31～7.9	34	6,332	186
	変貌する陶芸展	H9.7.13～9.14	55	14,185	258
	陶の表現展 (森で生まれた作品展)	H9.11.1～H10.3.15 (H10.2.4～3.15)	108	16,585	154
10年度	新・収蔵品展	H10.6.6～7.4	25	3,766	151
	滋賀やきもの探訪・やきもの動物の森展	H10.9.12～12.23	88	17,597	200
	陶芸の美展 (森で生まれた作品展)	H11.1.5～H12.3.14 (H11.2.3～3.14)	59	5,817	99
11年度	美の所産展	H11.5.29～7.4	32	5,612	175
	陶芸…使うこと・味わうこと展	H11.7.10～9.26	68	13,483	198
	アーティスト・イン・レジデンス90年代の歩み展	H11.12.5～H12.3.11	77	5,835	76
12年度	滋賀やきもの探訪「信楽焼－伝統の技」	H12.5.20～7.9	44	7,356	167
	滋賀やきもの探訪「陶芸の森コレクションから」	H12.7.15～9.17	56	10,257	183
	「陶芸－最前線」	H12.12.23～H13.3.11	61	3,868	63
13年度	陶芸の森10年の歩みⅠ－世界の現代陶芸	H13.7.14～9.24	63	10,074	160
	女性たちの陶芸展-女流陶芸と欧米作家たちとの競演	H13.12.1～H14.1.27	43	4,361	101
	陶芸の森10年の歩みⅡ－滋賀ゆかりのやきもの・日本の現代陶芸	H14.2.2～3.31	44	4,542	103
14年度	特別企画展「ルーシー・リー展 ～静寂の美～」	H14.4.6～6.30	74	12,189	165
	収蔵品によるテーマ展「古くて、新しい表現…陶の可能性」	H14.12.3～H15.3.30	96	6,123	64
15年度	企画展「まぼろしのやきもの－滋賀の郷窯」	H15.4.4～8.22	121	20,270	168
	特別企画展「神々の形象 パプアニューギニアの土器」	H16.3.20～3.31	10	1,122	112
16年度	特別企画展「神々の形象 パプアニューギニアの土器」	H16.4.1～7.30	104	13,161	127
	特別企画展「信楽のやきものとともに－寒六窯と遊陶人」	H16.11.23～12.15	20	3,106	155
17年度	特別企画「日本の現代陶芸・海外の現代陶芸－迫力の時代」	H17.6.19～9.25	85	10,038	118
18年度	特別企画「信楽を訪れた594人の陶芸家たち－アーティスト・イン・レジデンスの軌跡」	H18.7.4～9.24	72	7,924	110
19年度	特別企画「魅せられる…今、注目される日本の陶芸」	H19.6.10～9.24	92	10,771	117
20年度	特別企画「やきもの動物パラダイス」&「滋賀のやきもの」展	H20.9.21～3.31	95	15,935	168
21年度	特別企画「やきもの動物パラダイス」&「滋賀のやきもの」展	H21.4.1～4.12	11	1,561	142
	特別企画展「陶の“うつわ”と“かたち” Part 1 使ってみたい 愉しみの“うつわ”／心を潤す 癒しの“かたち”	H21.4.19～6.28	62	8,694	140
	特別企画展「陶の“うつわ”と“かたち” Part 2 華やぎと味わいの“うつわ”／驚きと発見！ユーモラスな“かたち”	H21.7.5～9.12	60	7,812	130

年 度	展覧会名	会 期	開催日数	観覧者数	一日平均
22年度	特別企画展「わくわくミュージアム-ちょっと不思議で楽しい“やきもの”」	H22.6.26～9.10	66	8,053	122
	特別企画展「近江に花開いたやきものー街道とともに…」	H23.3.1～3.31	27	1,889	70
23年度	特別企画展「近江に花開いたやきものー街道とともに…」	H23.4.1～4.17	15	1,307	87
	特別企画展「陶芸を楽しむ“グ・ル・メ”な、やきものたち」	H23.6.30～12.11	142	20,019	141
25年度	特別企画展「あれもやきもの これもやきものー陶芸の森アーティスト・イン・レジデンス20年のあゆみー」	H25.6.18～9.23	85	8,947	105
	特別企画展「現代イギリスの陶芸～バーナード・リーチから若手作家まで」 /特別企画展「信楽焼の美ー炎がつくり出す野趣溢れる肌合い」	H25.3.8～3.30	20	1,385	69
26年度	特別企画展「現代イギリスの陶芸～バーナード・リーチから若手作家まで」 /特別企画展「信楽焼の美ー炎がつくり出す野趣溢れる肌合い」	H26.4.1～6.22	73	8,323	114
	特別企画展「集まれ!奇想天外な“やきもの”たち」		78	9,978	128
27年度	特別企画「土・祈り・イメージーション…岡本太郎の言葉とともに」展	H27.6.14～9.23	88	14,974	170
28年度	特別企画展「インサイド×アウトサイドー陶芸の森アート・クルーズ」	H28.6.19～9.23	83	6,314	76
	特別企画「“うつわ”ドラマチック」展	H29.3.11～3.31	18	1,414	79
29年度	特別企画「“うつわ”ドラマチック」展	H28.4.1～6.11	62	6,217	100
	特別企画「十人陶色ー豊かな色の世界」展	H29.6.20～9.24	84	7,056	84
	特別企画「ジャズスピリットを感じて…熊倉順吉の陶芸×21世紀の陶芸家たち」展	H30.3.10～3.31	19	1,003	53
30年度	特別企画「ジャズスピリットを感じて…熊倉順吉の陶芸×21世紀の陶芸家たち」展	H30.4.1～6.17	67	5,773	86
	特別企画「世界の形象土器」展	H30.6.24～9.24	77	6,615	86
	特別企画「陶の花 FLOWERS」展	H31.3.12～3.31	18	1,437	80
元年度	特別企画「陶の花 FLOWERS」展	H31.3.12～R元.6.9	78	8,645	110
	特別企画「交流と実験ー新時代の〈やきもの〉をめざして」展	R元.6.18～9.6	69	4,552	66
2年度	特別企画「湖国・滋賀の陶芸ー風土と伝統そして交流のなかで」展	R2.7.18～9.22	58	6,496	112
合 計			4,063	617,634	152

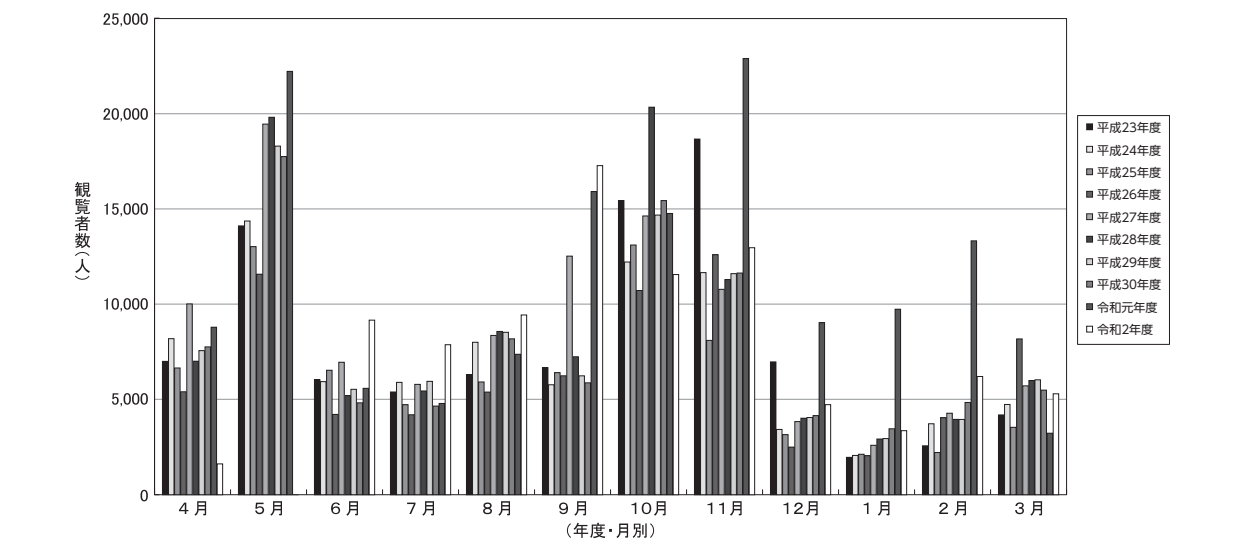
特別展・公募展

年 度	展覧会名	会 期	開催日数	観覧者数	一日平均
3年度	おしゃべりなティポット展	H4.1.5～2.11	32	4,265	133
	近江のやきもの展	H4.3.20～3.31	10	2,786	279
4年度	近江のやきもの展	H4.4.1～5.10	35	10,943	313
	現代イタリア陶芸展	H4.10.10～11.23	39	8,389	215
	熊倉順吉とその仲間たち	H5.3.20～3.31	10	1,355	136
5年度	熊倉順吉とその仲間たち	H5.4.1～5.30	52	9,058	174
	八木一夫が出会った子供たち	H5.9.4～10.31	50	7,840	157
	エイドリアン・サックス展	H6.3.20～3.31	10	1,180	118
6年度	エイドリアン・サックス展	H6.4.1～6.5	57	6,724	118
	近江のやきもの展	H6.9.20～11.27	60	12,094	202
	現代イギリス陶芸展	H7.3.19～3.31	11	1,300	118
7年度	現代イギリス陶芸展	H7.4.1～5.28	50	7,494	150
	トブカブ宮殿の名品展	H7.10.21～11.19	26	10,650	410
	凜ー現代の陶芸美	H8.3.23～3.31	8	1,774	222
8年度	凜ー現代の陶芸美	H8.4.1～5.19	42	12,445	296
	明治のやきもの	H8.9.29～11.24	49	14,794	302
	画家たちのやきもの	H9.3.15～3.31	14	2,580	184
9年度	画家たちのやきもの	H9.4.1～5.25	48	11,053	230
	バーナード・リーチ展	H9.9.20～10.26	32	11,125	348
	つくり手たちの原像展	H10.3.21～3.31	9	1,918	213
10年度	つくり手たちの原像展	H10.4.1～5.31	53	10,782	203
	セーブル名品展	H10.7.11～9.6	50	11,407	228
	なんてき・れ・いなんて不思議展	H11.3.20～3.31	10	1,892	189
11年度	なんてき・れ・いなんて不思議展	H11.4.1～5.23	46	12,417	270
	やきものの20世紀	H11.10.2～11.28	50	14,147	283
	アール・ヌーヴォーとアール・デコの陶芸展	H12.3.19～3.31	11	1,866	170

年 度	展覧会名	会 期	開催日数	観覧者数	一日平均
12年度	アール・ヌーヴォーとアール・デコの陶芸展	H12.4.1～5.14	38	8,514	224
	「熊倉順吉ジャズの響きをやきものにした作家」	H12.9.23～12.17	74	9,155	124
	「イタリア陶磁器の伝統と革新－ジノリ展」	H13.3.18～3.31	12	1,418	118
13年度	「イタリア陶磁器の伝統と革新－ジノリ展」	H13.4.1～5.20	43	10,730	250
	「ドイツ陶芸の100年－アール・ヌーヴォーから現代作家まで」	H13.5.27～7.8	37	6,234	168
	「大信楽展～焼締めの美への憧れとその軌跡～」	H13.10.2～11.25	48	11,195	233
14年度	特別展「スイスの陶芸－ルネッサンスから現代まで－」	H14.7.9～9.8	54	8,005	148
	特別展「暮らしに美を求めて－陶磁器試験場の技術とデザイン」	H14.9.15～11.24	61	8,552	140
15年度	特別展「桃山陶に魅せられた七人の陶芸家－陶片に学んだ技と美」	H15.8.30～10.13	39	7,698	197
	特別展「ロシア・アヴァンギャルドの陶芸－モダンデザインの実験」	H15.10.21～11.30	37	6,514	176
16年度	特別展「デンマーク王室の陶磁コレクション－ロイヤルコペンハーゲン」	H16.8.8～11.14	85	15,261	180
	特別展「北欧のスタイリッシュ・デザイン－フィンランドのアラビア窯」	H17.3.19～3.31	11	1,706	155
17年度	特別展「北欧のスタイリッシュ・デザイン－フィンランドのアラビア窯」	H17.4.1～6.12	63	13,586	216
	特別展「湖国を彩るやきもの－滋賀の陶芸家たち」	H17.10.2～12.18	67	10,330	154
	特別展「人のかたち－もうひとつの陶芸美」	H18.3.18～3.31	12	1,104	92
	特別展「人のかたち－もうひとつの陶芸美」	H18.4.1～6.25	75	8,431	112
18年度	特別展「近江やきものがたり」	H18.10.1～12.17	67	9,737	145
	特別展「ようこそ！たぬき御殿へ－おもしろき日本の狸表現」	H19.3.17～3.31	12	2,482	207
	特別展「ようこそ！たぬき御殿へ－おもしろき日本の狸表現」	H19.4.1～6.3	56	13,301	238
19年度	特別展「ジャポニズムのテーブルウェア－西洋の食卓を彩った”日本”－」	H19.10.2～12.24	73	9,025	124
	特別展「近江の商家のくらしとやきもの」	H20/3.15～3.30	14	1,960	140
	特別展「近江の商家のくらしとやきもの」	H20.4.1～6.29	80	12,935	162
20年度	特別展「世界に誇る和製テーブルウェア－オールドナタケと懐かしの洋食器」	H20.7.6～9.15	62	10,141	164
	特別展「没後50年 北大路魯山人」	H21.9.19～12.13	75	23,496	313
21年度	特別展「ハンス・コパー展－20世紀陶芸の革新－」	H21.3.13～3.31	16	1,340	84
	特別展「ハンス・コパー展－20世紀陶芸の革新－」	H22.4.1～6.17	68	8,389	123
22年度	特別展「しがらきやき－直方の茶陶 春斎の壺－」	H22.9.18～12.12	82	14,004	171
	特別展「ウィリアム・ド・モーガン－楽しい生活を彩るタイルと陶器」	H23.4.23～6.19	50	6,501	130
23年度	特別展「陶芸の魅力×アートのドキドキ」	H24.3.3～3.31	25	2,192	88
	特別展「陶芸の魅力×アートのドキドキ」	H24.4.1～7.6	84	11,222	133
24年度	特別展「明治・大正時代の日本陶磁－産業と工芸美術－」	H24.7.14～8.26	43	5,511	128
	特別展「しがらきやきⅡ－大西忠左と勅旨の名工たち－」	H24.9.6～12.16	88	12,055	137
	特別展「フランス印象派の陶磁器1866-1886ジャポニズムの成熟」	H25.3.9～3.31	20	1,390	69
	特別展「フランス印象派の陶磁器1866-1886ジャポニズムの成熟」	H25.4.1～6.9	61	6,955	114
25年度	特別展「酒器の玉手箱」	H25.10.2～12.15	66	8,179	124
	特別展「やきものって何ダ？－陶芸美術館 8 館の名品に学ぶ」	H26.10.5～12.14	61	7,459	122
26年度	特別展「北欧スウェーデンの動物のやきもの リサ・ラーソン展」	H27.3.7～3.31	21	8,562	408
	特別展「北欧スウェーデンの動物のやきもの リサ・ラーソン展」	H27.4.1～6.22	59	31,418	533
27年度	特別展「信楽への眼差し」	H27.10.4～12.13	61	8,614	141
	公募展「マイヤー×信楽大賞 日本陶芸の今－伝統と革新」	H28.3.12～3.31	17	1,425	84
	公募展「マイヤー×信楽大賞 日本陶芸の今－伝統と革新」	H28.4.1～6.12	63	6,124	97
28年度	特別展「珠玉の湖東焼」	H28.10.1～12.11	65	7,704	119
	特別展「粋な古伊万里－江戸好みの器デザイン」	H29.10.1～12.17	67	6,517	97
29年度	特別展「信楽に魅せられた美の巨匠たち」	H30.10.6～12.20	65	7,588	117
	特別展「北大路魯山人 古典復興－現代陶芸をひらく」	R元.9.14～12.1	67	17,004	254
元年度	特別展「リサ・ラーソン－創作と出会いをめぐる旅」	R2.3.25～3.31	6	1,747	291
	特別展「リサ・ラーソン－創作と出会いをめぐる旅」	R2.4.1～6.28	33	9,414	285
2 年度	特別展「奇跡の土－信楽焼をめぐる三つの景色」	R2.10.3～12.13	62	8,464	137
	特別展「神業ニッポン 明治のやきもの－幻の横浜焼・東京焼」	R3.3.20～3.31	10	764	76
合 計			3,319	604,330	182

信楽産業展示館 年度別・月別観覧者数

年 度	区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
3～22年度	入場者数	154,937	247,243	122,742	165,909	184,605	134,554	230,468	223,475	63,498	51,138	77,346	124,611	1,780,526	305
	開催日数	484	506	488	440	531	481	487	493	462	463	483	523	5,841	
23年度	入場者数	7,001	14,114	6,040	5,394	6,302	6,674	15,446	18,673	6,974	1,962	2,569	4,190	95,339	309
	開催日数	26	27	26	27	26	26	26	26	23	23	25	28	309	
24年度	入場者数	8,193	14,371	5,938	5,899	8,004	5,774	12,219	11,661	3,428	2,063	3,726	4,739	86,015	276
	開催日数	26	27	26	28	30	26	26	26	23	23	24	27	312	
25年度	入場者数	6,655	13,025	6,536	4,727	5,920	6,409	13,111	8,103	3,154	2,125	2,216	3,540	75,521	245
	開催日数	26	27	26	26	28	24	29	26	23	23	24	26	308	
26年度	入場者数	5,406	11,578	4,217	4,200	5,390	6,245	10,722	12,601	2,501	2,049	4,043	8,181	77,133	251
	開催日数	26	28	25	27	27	25	27	26	23	23	24	26	307	
27年度	入場者数	10,018	19,459	6,955	5,794	8,364	12,527	14,636	10,784	3,839	2,596	4,279	5,717	104,968	341
	開催日数	26	27	25	27	26	26	27	25	24	24	24	27	308	
28年度	入場者数	7,009	19,817	5,201	5,448	8,573	7,245	20,346	11,295	4,017	2,924	3,956	5,994	101,825	330
	開催日数	26	26	26	27	26	26	29	26	23	23	24	27	309	
29年度	入場者数	7,566	18,303	5,534	5,952	8,528	6,243	14,683	11,606	4,054	2,948	3,953	6,034	95,404	312
	開催日数	26	26	26	26	27	26	26	26	23	23	24	27	306	
30年度	入場者数	7,763	17,752	4,825	4,655	8,186	5,876	15,441	11,639	4,152	3,463	4,844	5,492	94,088	307
	開催日数	26	26	26	26	27	26	26	26	23	23	24	27	306	
元年度	入場者数	8,795	22,227	5,586	4,792	7,374	15,917	14,767	22,901	9,033	9,740	13,330	3,230	137,692	481
	開催日数	26	27	26	26	27	25	27	26	23	23	24	6	286	
2年度	入場者数	1,619	0	9,166	7,876	9,438	17,279	11,561	12,969	4,729	3,363	6,208	5,299	89,507	346
	開催日数	5	0	25	27	26	26	27	25	24	24	24	26	259	
合 計	入場者数	224,962	397,889	182,740	220,646	260,684	224,743	373,400	355,707	109,379	84,371	126,470	177,027	2,738,018	309
	開催日数	723	747	745	707	801	737	757	751	694	695	724	770	8,851	



信楽ホール・会議室利用件数

(単位：回)

催 事 内 容	3～24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2 年度	計
式 典・ 総 会 等	178	2	3	4	3	7	3	4	1	205
芸能・ 音楽発表会等	495	15	10	14	13	10	5	9	5	576
講演会・シンポジウム等	88	2	3	3	2	9	3	4	1	115
研 修・ 映 画 会 等	140	5	7	4	1	2	2	4	1	166
計	901	24	23	25	19	28	13	21	8	1,062

沿 革 と 記 録

- 昭和60年（1985年） 4 月
- 陶芸の森設置の検討（商工労働部商工課経済対策係）
- 昭和61年（1986年） 3 月
- 滋賀県立陶芸の森整備基金条例の公布（基金10億円）
- 平成元年（1989年） 3 月
- 建築工事着手
- 7 月
- 公園工事着手
- 平成2年（1990年） 4 月
- 財団法人滋賀県陶芸の森設立
- 6 月
- 竣工・プレ世界陶芸祭開催（6月2日～6日）
- 平成3年（1991年） 4 月
- 世界陶芸祭開催（4月20日開幕）
- 5 月
- 世界陶芸祭中止（5月15日閉場）
- 7 月
- 平常業務再開（7月20日）
- 平成4年（1992年） 7 月
- 創作研修館でのアーティスト・イン・レジデンス事業開始
- 平成7年（1995年） 10月
- 開設5周年記念シンポジウム「今日のうつわを考える－用と美の対立を超えて」開催
- 平成11年（1999年）
- オランダのフェンロ市立美術館で初めて海外での陶芸の森のコレクション「日本の現代陶芸－前衛の動向－」展を開催
- 平成13年（2001年） 10月
- 開設10周年記念イベント鼎談「土と炎と創作と－21世紀の陶芸を見すえて－」開催
 - 10周年記念展として陶芸館で特別展「第信楽焼展－焼締めの美への憧れとその軌跡」を開催
- 平成14年（2002年） 1 月
- 陶芸館入館者数60万人記録
 - 創作研修館でのアーティスト・イン・レジデンス事業での受入者の延べ人数が500人を超える
 - 信楽産業展示館入館者数100万人記録

- 平成16年（2004年） 10月
- ・文部科学省「子どもの居場所づくり」キャンペーン事業「本物と出会うー森・もり！やきもの大作戦」開始
- 平成17年（2005年） 3月
- ・中世穴窯／金山遺跡の再現事業で「金山再現窯」完成
- 平成18年（2006年） 4月
- ・定管理者制度に基づき財団法人滋賀県陶芸の森が滋賀県立陶芸の森の指定管理者となる
- 6月
- ・創立15周年記念特別企画展「信楽を訪れた594人の陶芸家たち展」を開催
- 平成19年（2007年） 7月
- ・『近江やきものがたり』京都新聞出版センターより出版
- 11月
- ・天皇皇后両陛下を御迎えする
- 平成22年（2010年）
- ・開設20周年記念特別展「しがらきやきー直方の茶陶 春斎の壺ー」を開催
 - ・開設20周年記念シンポジウム「芸術・産業・観光から 活力あるしがらきの未来を考えるーやきものが信楽を創造するー」を開催
 - ・創作研修館でのアーティスト・イン・レジデンス事業での受入者の延べ人数が800人を超える
- 平成24年（2012年） 4月
- ・公益法人制度改革により公益財団法人滋賀県陶芸の森に移行
- 平成25年（2013年）
- ・陶芸館累計入館者数100万人達成
- 平成27年（2015年） 10月
- ・開設25周年事業として、「25周年記念事業－国際陶芸ワークショップ・シンポジウム アーティスト・イン・レジデンスを視点として「信楽から世界を見る 世界から信楽を見る」を開催。
 - ・創作研修館でのアーティスト・イン・レジデンス事業での受入者の延べ人数が1,000人を超える
- 平成28年（2016年）
- ・文化庁補助事業として、海外のレジデンス機関への陶芸家の派遣をはじめ
- 平成29年（2017年）
- ・陶芸館累計入館者数120万人達成
 - ・つちっこプログラム累計参加者数10万人達成
 - ・信楽長野地区の商店街の中に陶芸の森地域連携拠点として、「FUJIKI」をオープン

平成30年（2018年）

- 信楽産業展示館累計入館者数240万人達成

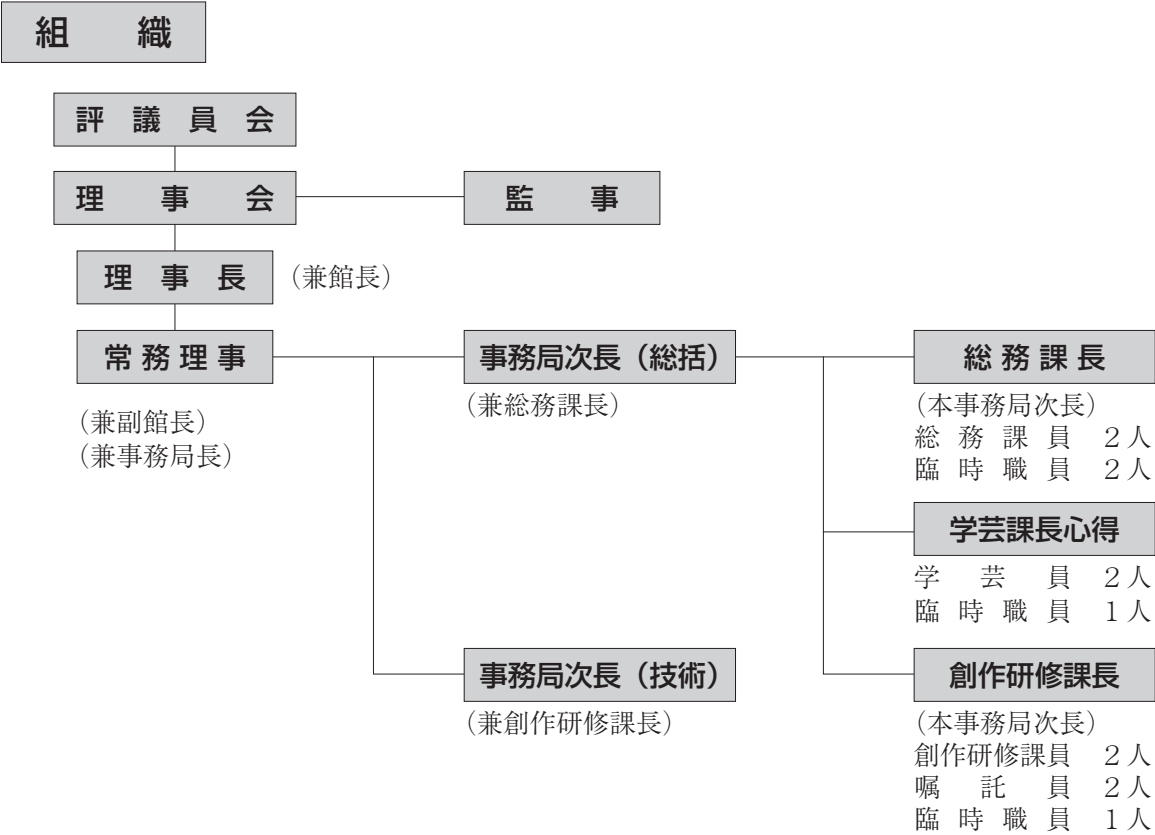
令和元年（2019年）

- 年間入園者数が448,557人となり、入園者の計測を開始した平成15年以降で最大となる

令和2年（2020年）

- 開設30周年記念事業として「新窯の魅力を語る会×新窯ワークショップ」を開催
- 新型コロナウイルス感染症流行による緊急事態宣言の発令に伴い、休園や陶芸館の臨時休館をおこなう

組 織・名 簿



公益財団法人滋賀県陶芸の森役員

公益財団法人滋賀県陶芸の森 評議員

役 職	現 職 名	氏 名
評 議 員	滋 賀 県 商 工 観 光 労 働 部 長	森 中 高 史
評 議 員	甲 賀 市 産 業 経 済 部 長	田 中 康 之
評 議 員	姫路市立美術館副館長 兼 学芸課長	不 動 美 里
評 議 員	岐 阜 県 現 代 陶 芸 美 術 館 顧 問	榎 本 徹
評 議 員	日 本 工 芸 会 理 事	神 農 巖
評 議 員	信 楽 陶 器 工 業 協 同 組 合 理 事 長	大 原 耕 造
評 議 員	信 楽 陶 器 卸 商 業 協 同 組 合 理 事 長	今 井 智 之
評 議 員	甲 賀 市 商 工 会 信 楽 支 部 長	森 幹 雄
評 議 員	株 式 会 社 京 都 新 聞 社 滋 賀 本 社 代 表	藤 田 治 久
評 議 員	文 筆 家 ・ 編 集 者	成実(村松)美賀子

(令和3年3月31日現在)

公益財団法人滋賀県陶芸の森 理事・監事

役 職	現 職 名	氏 名
理 事	滋賀県商工観光労働部モノづくり振興課長	飯 田 朋 子
理 事	滋賀県工業技術総合センター信楽窯業技術試験場長	川 澄 一 司
理 事	甲賀市産業経済部商工労政課長	松 下 泰 也
理 事	公益財団法人秀明文化財団専務理事	石 丸 正 運
理 事	滋賀次世代文化芸術センター代表	斎 藤 俊 信
理 事	信 楽 陶 芸 作 家 協 会 会 長	神 崎 継 春
理 事	京 都 芸 術 大 学 教 授	服 部 滋 樹
理 事 長	滋 賀 県 立 陶 芸 の 森 館 長	松 井 利 夫
常 務 理 事	同 副 館 長	津 田 清 和
監 事	滋 賀 銀 行 信 楽 支 店 長	北 川 琢 也
監 事	中 小 企 業 診 断 士	三 宅 裕 之

(令和3年3月31日現在)

滋賀県立陶芸の森収蔵品収集審査会委員 (任期 令和元年10月15日～令和3年10月14日)

榎本 徹	岐阜県現代陶芸美術館 顧問
洲鎌 佐智子	京都府京都文化博物館 学芸課長補佐・主任学芸員
畑中 章良	MIHO MUSEUM 学芸部長
守屋 雅史	神戸松蔭女子学院大学 教授
不動 美里	姫路市立美術館 副館長兼学芸課長
橘 倫子	今日庵茶道資料館 学芸課長

滋賀県立陶芸の森収蔵品価格評価委員 (令和3年3月末現在)

大長 智広	京都国立近代美術館 研究員
花井 素子	岐阜県現代陶芸美術館 学芸員
藤田 篤実	現代美術 艸居
大槻 倫子	愛知県陶磁美術館 学芸課長
横谷 賢一郎	大津市歴史博物館 学芸員
片山 雅英	片山道具店

滋賀県立陶芸の森ゲスト・アーティスト選考委員

マルテル坂本牧子	兵庫県陶芸美術館学芸員
外館 和子	多摩美術大学教授・工芸研究者
神崎 継春	信楽陶芸作家協会会長
松井 利夫	館長
杉山 道夫	事務局次長（技術）兼創作研修課長
三浦 弘子	学芸課長心得

滋賀県立陶芸の森スタジオ・アーティスト選考委員

津田 清和	事務局長
杉山 道夫	創作研修課長
松波 義実	創作研修課主任主査
三浦 弘子	学芸課長心得

公益財団法人滋賀県陶芸の森職員	(令和3年3月31日現在)
-----------------	---------------

理事長	松井 利夫
-----	-------

(兼館長)	
-------	--

常務理事	津田 清和
------	-------

(兼副館長兼事務局長)	
-------------	--

事務局次長（総括）	住田 光範
-----------	-------

県派遣職員

(兼総務課長)	
---------	--

事務局次長（技術）	杉山 道夫
-----------	-------

(兼創作研修課長)	
-----------	--

【総務課】

課 長	住田 光範
-----	-------

県派遣職員

(本事務局次長)	
----------	--

副 課 長	樋口 久子
-------	-------

主 事	町田 博美
-----	-------

【創作研修課】

課 長	杉山 道夫
-----	-------

(本事務局次長)	
----------	--

主任主査	松波 義実
------	-------

指 導 員	安藤 祐輝
-------	-------

嘱 託 員	田尾 晃
-------	------

嘱 託 員	後藤 武久
-------	-------

【学芸課】

課長心得	三浦 弘子
------	-------

専門学芸員	鈎 真一
-------	------

学 芸 員	裴 洙淨
-------	------

**令和2年度
滋賀県立陶芸の森年報**

The Shigaraki Ceramic Cultural Park
Annual Report 2020

制作／発行 公益財団法人滋賀県陶芸の森

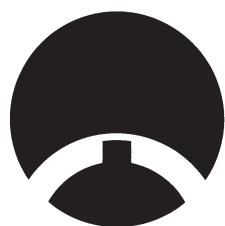
〒529-1804 滋賀県甲賀市信楽町勅旨2188-7

t e l (0748)83-0909

f a x (0748)83-1193

発 行 日 令和3年9月

アインズ株式会社



陶芸の森
The Shigaraki Ceramic
Cultural Park